

日本茶消費者嗜好・購買行動調査 ASEAN（シンガポール・タイ・ベトナム）

浜松貿易情報センター

2026年4月



目次

1. アンケート調査	
I. シンガポール	5
II. タイ	18
III.ベトナム	31
IV. 3か国比較	44
V. サマリ	56
2. 店頭調査（タイ・バンコク）	61

1. アンケート調査

アンケート調査概要

本調査の目的は、ASEAN主要国（タイ、ベトナム、シンガポール）における日本茶（抹茶以外を含む）の認知度、嗜好、飲用習慣および購買行動について、オンラインアンケートを通じて定量的に把握し、各国市場の特徴を包括的に分析することである。

■ 分析範囲

- ・ 日本茶の茶種別認知度および試飲・飲用経験
- ・ 嗜好傾向および主な飲用シーン
- ・ 価格受容性
- ・ 購入チャネルおよび購買行動
- ・ 購入・飲用における障壁
- ・ 国別市場特性の整理・比較

■ 調査方法

オンラインアンケート（パネル調査）

■ 対象国

タイ、ベトナム、シンガポール

■ 対象者条件

性別：男女問わず

■ 年齢

18歳以上（主に20～50代）

■ サンプル数

各国600名（合計1800名）

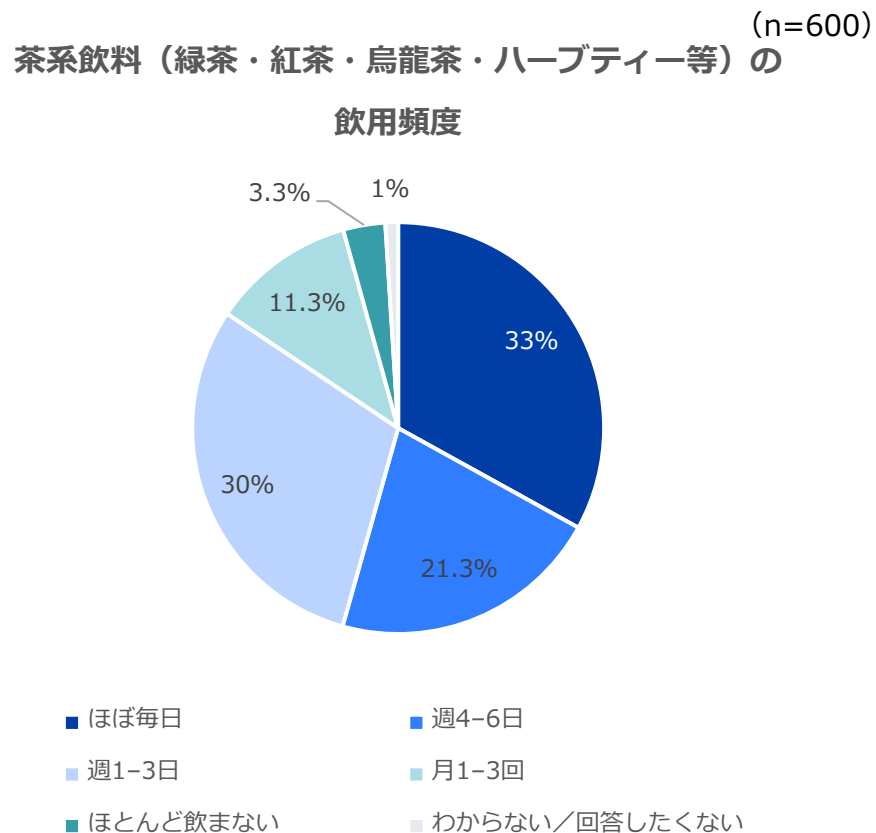
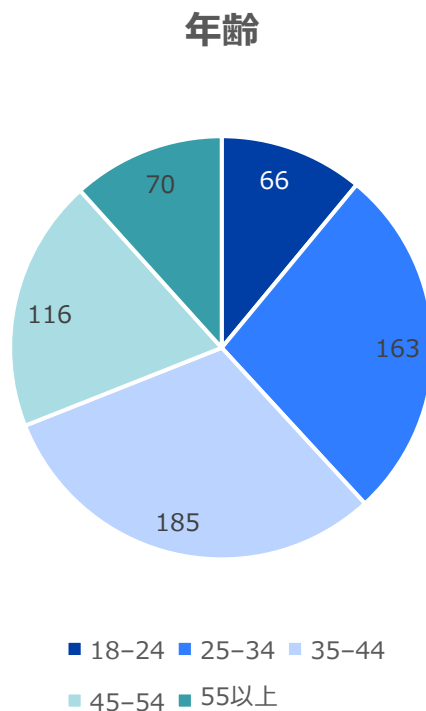
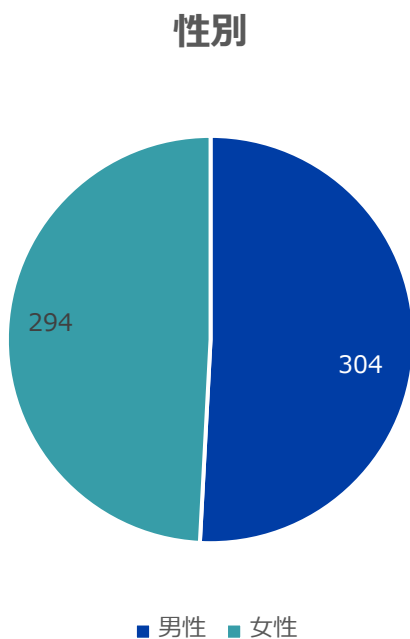
免責事項：

本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）浜松事務所が株式会社クロス・マーケティングに作成委託した調査報告書の内容を取りまとめたものです。本レポートは主として2026年2月時点の情報を基に作成しています。本レポートにて提供される情報等については、正確性、完全性、目的適合性、最新性を保証するものではありませんので、当該情報等の採否は、お客様自身の判断、責任において行ってください。本レポートでの提供情報等に関連して、お客様が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ（および株式会社クロス・マーケティング）はお客様に対し一切の責任を負わないものとします。

I. シンガポール

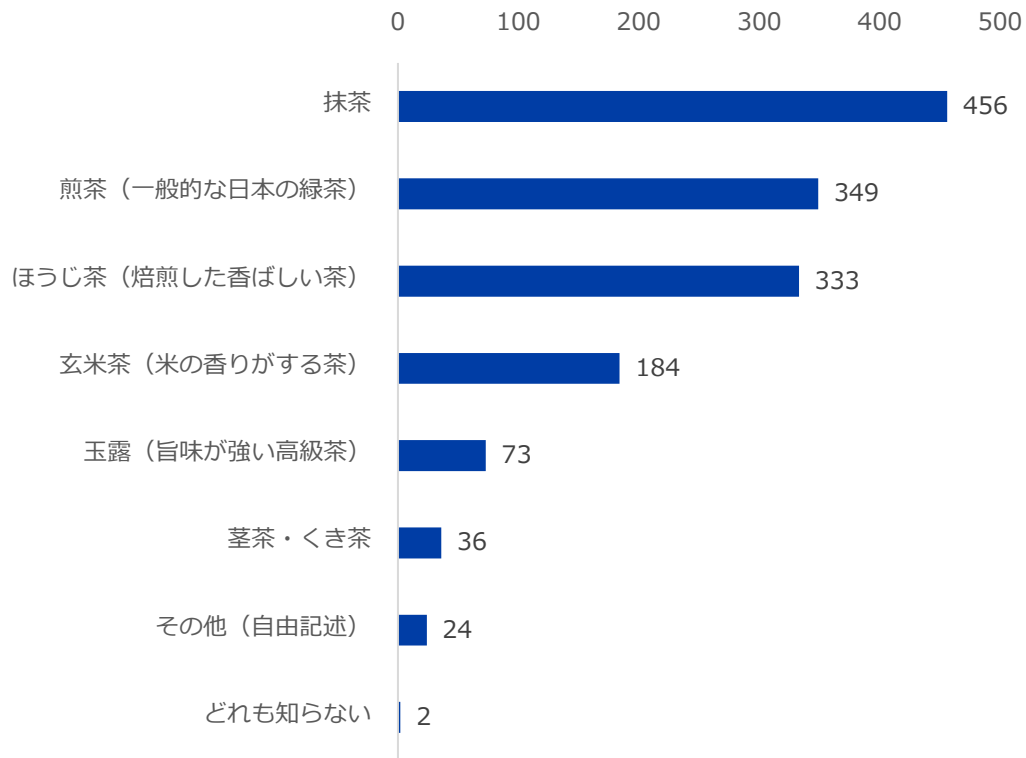
1~3 属性情報

- 回答者の約8割が週1回以上茶系飲料を飲用しており、特に35~44歳を中心とする中堅層がボリュームゾーンを形成するなど、日常飲料としての定着が確認される。



4 日本茶の認知度

- 認知トップは抹茶（76%）だが、クロス集計では女性の抹茶認知（80.6%）が男性（71.4%）を約9pt上回るなど属性差が確認される。



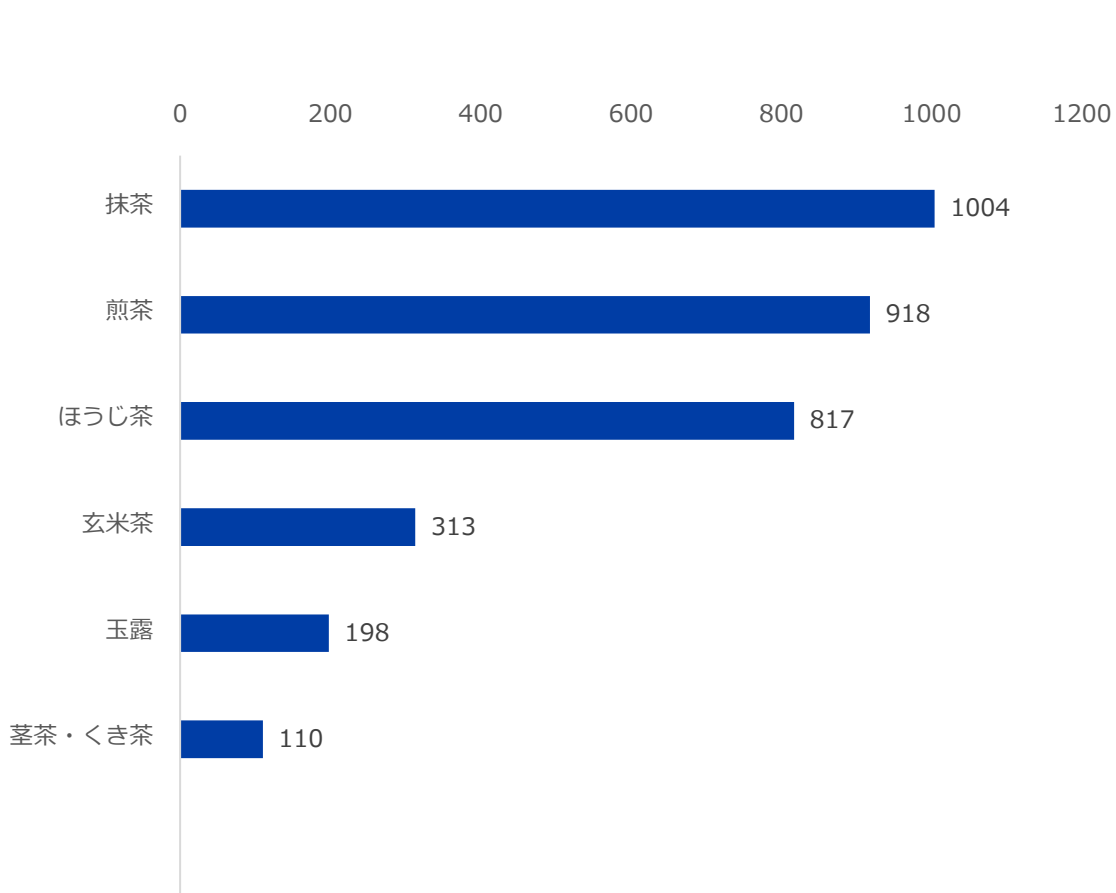
(n=600)

		該当数	煎茶 （一般的な日本の緑茶）	ほうじ茶 （焙煎した香ばしい茶）	玄米茶 （米の香りがする茶）	玉露 （旨味が強い高級茶）	茎茶・くき茶	抹茶	その他 （自由記述）	どれも知らない
全体		600	58.2	55.5	30.7	12.2	6.0	76.0	4.0	0.3
Q1	男性	304	58.2	53.0	24.0	12.8	7.6	71.4	4.9	0.7
	女性	294	58.2	58.2	37.4	11.6	4.4	80.6	3.1	0.0
	その他	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q2	18-24	66	54.5	69.7	25.8	10.6	6.1	80.3	3.0	1.5
	25-34	163	60.7	57.7	39.3	15.3	8.0	76.7	1.2	0.0
	35-44	185	61.1	58.9	31.9	13.0	5.9	74.1	3.8	0.5
	45-54	116	53.4	45.7	27.6	10.3	3.4	78.4	6.9	0.0
	55以上	70	55.7	44.3	17.1	7.1	5.7	71.4	7.1	0.0
Q5-1	煎茶	186	89.2	52.2	30.6	8.6	2.7	67.7	1.6	0.5
	ほうじ茶	109	49.5	85.3	37.6	12.8	8.3	64.2	2.8	0.0
	玄米茶	29	41.4	55.2	62.1	31.0	17.2	72.4	0.0	0.0
	玉露	21	47.6	38.1	38.1	38.1	14.3	47.6	4.8	0.0
	茎茶・くき茶	9	44.4	44.4	11.1	44.4	33.3	55.6	22.2	0.0
	抹茶	214	44.9	49.1	25.7	9.8	5.1	96.3	2.3	0.0
	飲んだ事がない	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0

日本茶について、知っているものをお選びください。（複数回答可）

5 飲用頻度が高い日本茶

- 全体では抹茶（37.3%）と煎茶（32.4%）が二大軸を形成するが、年代別では若年層ほど抹茶偏重、高年層（55歳以上）では煎茶比率が44.1%と最も高く、世代による嗜好分化が明確に確認される。



(n=574)

よく飲むものを1位		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事がない/わからない
全体		574	32.4	19.0	5.1	3.7	1.6	37.3	1.0
Q1	男性	288	34.0	19.4	5.2	4.9	1.7	34.0	0.7
	女性	285	30.9	18.6	4.9	2.1	1.4	40.7	1.4
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	61	18.0	21.3	1.6	1.6	1.6	55.7	0.0
	25-34	159	32.1	20.1	4.4	4.4	1.9	36.5	0.6
	35-44	177	33.9	20.3	6.2	4.5	2.3	31.1	1.7
	45-54	109	31.2	16.5	7.3	3.7	0.0	39.4	1.8
	55以上	68	44.1	14.7	2.9	1.5	1.5	35.3	0.0
Q5	煎茶	186	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ほうじ茶	109	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玄米茶	29	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉露	21	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
-1	抹茶	214	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	飲んだ事がない	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

日本茶の中から、あなたがよく飲むものを1位～3位まで順位付けしてください。／順位加重スコア

5 飲用頻度が高い日本茶

- 全年代において、煎茶・ほうじ茶が浸透しており、日常飲用カテゴリーとして確立されていると推察。

よく飲むものを2位		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事が無い/わからない
全体		574	22.0	30.3	12.4	7.3	3.8	23.2	1.0
Q1	男性	288	21.5	31.3	10.4	8.7	4.2	23.6	0.3
	女性	285	22.1	29.5	14.4	6.0	3.5	22.8	1.8
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	61	24.6	34.4	11.5	3.3	0.0	21.3	4.9
	25-34	159	19.5	34.6	11.3	7.5	6.3	20.1	0.6
	35-44	177	23.2	29.9	12.4	7.3	4.0	22.0	1.1
	45-54	109	22.0	25.7	14.7	10.1	3.7	23.9	0.0
	55以上	68	22.1	25.0	11.8	5.9	1.5	33.8	0.0
Q5-1	煎茶	186	0.0	35.5	12.9	3.2	2.7	44.1	1.6
	ほうじ茶	109	32.1	0.0	17.4	14.7	6.4	28.4	0.9
	玄米茶	29	6.9	24.1	0.0	20.7	6.9	37.9	3.4
	玉露	21	23.8	33.3	14.3	0.0	9.5	19.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	0.0	22.2	33.3	11.1	0.0	33.3	0.0
	抹茶	214	39.3	42.1	9.8	5.6	2.8	0.0	0.5
	飲んだ事が無い	6	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0

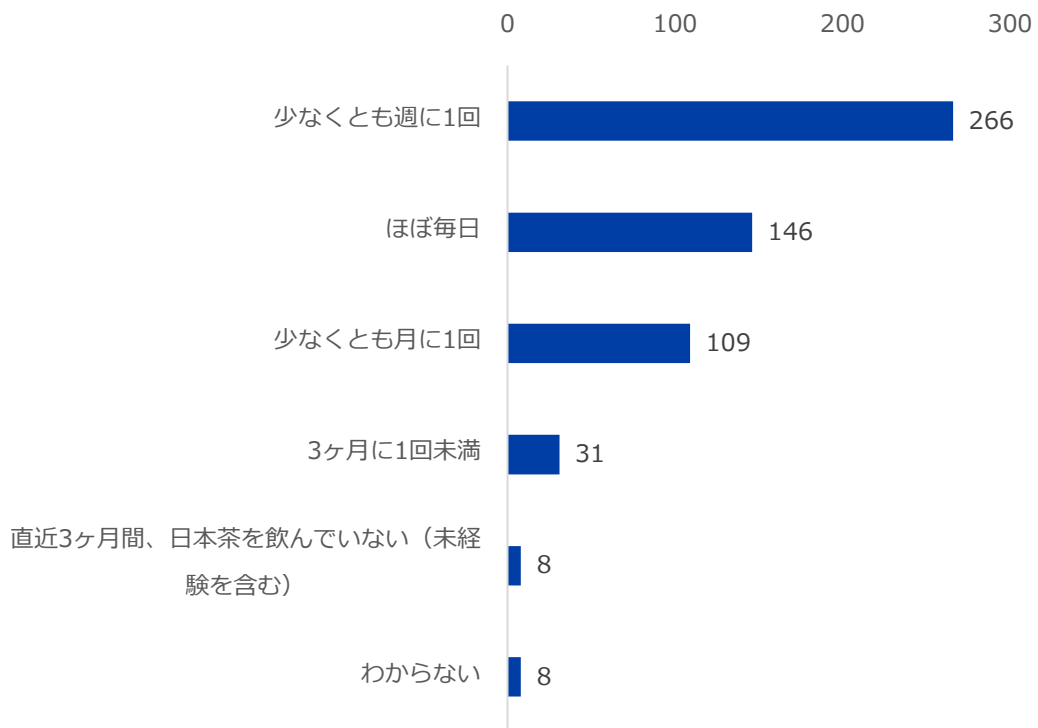
(n=574)

よく飲むものを3位		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事が無い/わからない
全体		574	18.8	24.7	14.6	8.9	6.8	16.7	9.4
Q1	男性	288	18.4	24.3	12.8	10.1	6.3	18.8	9.4
	女性	285	19.3	25.3	16.5	7.7	7.4	14.4	9.5
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q2	18-24	61	24.6	23.0	18.0	4.9	8.2	11.5	9.8
	25-34	159	17.6	22.0	18.9	10.7	5.0	14.5	11.3
	35-44	177	17.5	24.9	13.0	7.9	8.5	22.0	6.2
	45-54	109	22.9	23.9	11.9	8.3	5.5	18.3	9.2
	55以上	68	13.2	33.8	10.3	11.8	7.4	10.3	13.2
Q5-1	煎茶	186	0.0	33.9	16.1	10.2	5.4	23.1	11.3
	ほうじ茶	109	18.3	0.0	18.3	10.1	11.0	36.7	5.5
	玄米茶	29	31.0	34.5	0.0	10.3	6.9	17.2	0.0
	玉露	21	28.6	23.8	0.0	0.0	19.0	28.6	0.0
	茎茶・くき茶	9	33.3	22.2	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
	抹茶	214	31.8	29.0	14.5	7.5	4.7	0.0	12.6
	飲んだ事が無い	6	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0

日本茶の中から、あなたがよく飲むものを1位～3位まで順位付けしてください。／順位加重スコア

6 日本茶の飲用頻度

- シンガポールでは日本茶は既に日常飲料として定着しており、約7割（72.5%）が「週1回以上」飲用する成熟市場である。特に35-54歳では「ほぼ毎日」比率が約3割と高く、中堅・高年層が継続消費を支えている構造が確認される。



(n=568)

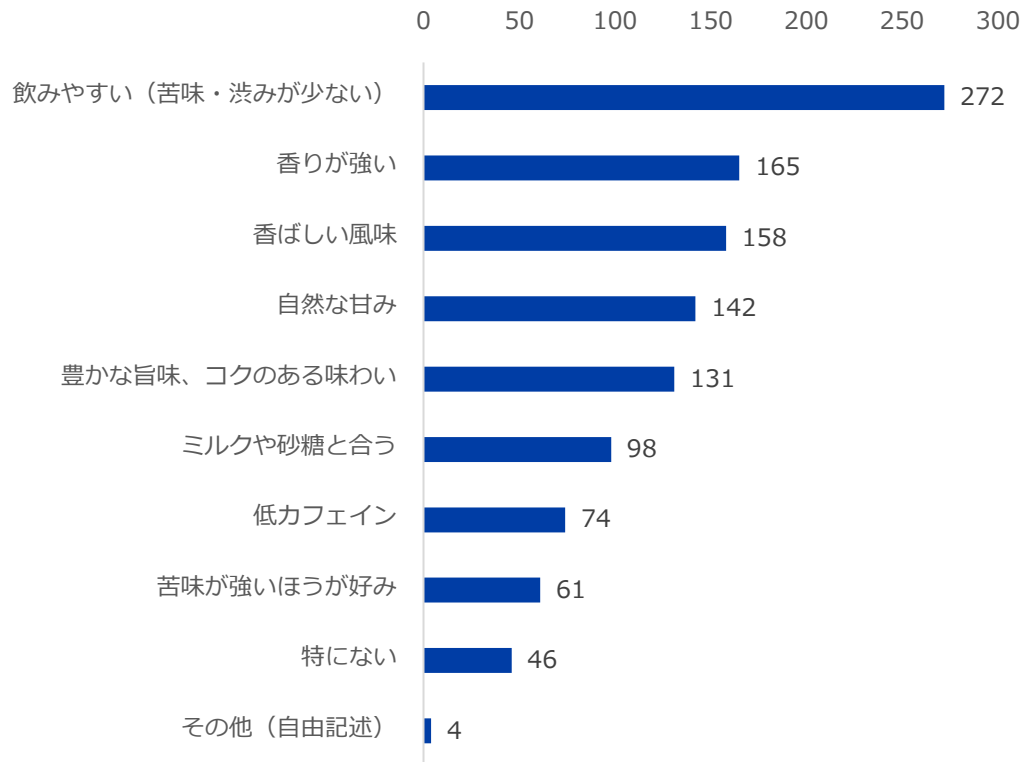
		該当数	ほぼ毎日	少なくとも週に1回	少なくとも月に1回	3ヶ月に1回未満	直近3ヶ月間、日本茶を飲んでいない（未経験を含む）	わからない
全体		568	25.7	46.8	19.2	5.5	1.4	1.4
Q 1	男性	286	28.0	47.2	17.5	4.9	1.4	1.0
	女性	281	23.5	46.3	21.0	6.0	1.4	1.8
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	61	19.7	41.0	31.1	4.9	1.6	1.6
	25-34	158	22.2	46.2	24.1	5.1	0.6	1.9
	35-44	174	29.3	47.7	14.9	5.2	1.1	1.7
	45-54	107	27.1	52.3	11.2	6.5	2.8	0.0
	55以上	68	27.9	42.6	20.6	5.9	1.5	1.5
Q 5 1	煎茶	186	29.0	46.8	17.2	4.8	0.5	1.6
	ほうじ茶	109	18.3	48.6	22.9	6.4	3.7	0.0
	玄米茶	29	34.5	37.9	24.1	3.4	0.0	0.0
	玉露	21	9.5	57.1	23.8	9.5	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	33.3	33.3	22.2	0.0	11.1	0.0
	抹茶	214	26.6	46.7	17.8	5.6	0.9	2.3
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を、直近3か月間でどのくらいの頻度で飲んでいただけますか。（SA）

7 好みの日本茶の特徴

- 最重視されるのは「飲みやすさ」（47.9%）で、次いで「香りが強い」（29.0%）、「香ばしい風味」（27.8%）。一方「苦味が強いはうが好み」は10.7%に留まり、苦味訴求は限定的。年代別では若年層ほど“自然な甘み”“ミルクや砂糖との相性”“香ばしさ”への評価が高く、55歳以上では“飲みやすさ”志向が相対的に強いなど嗜好の世代差が確認される。

(n=568)



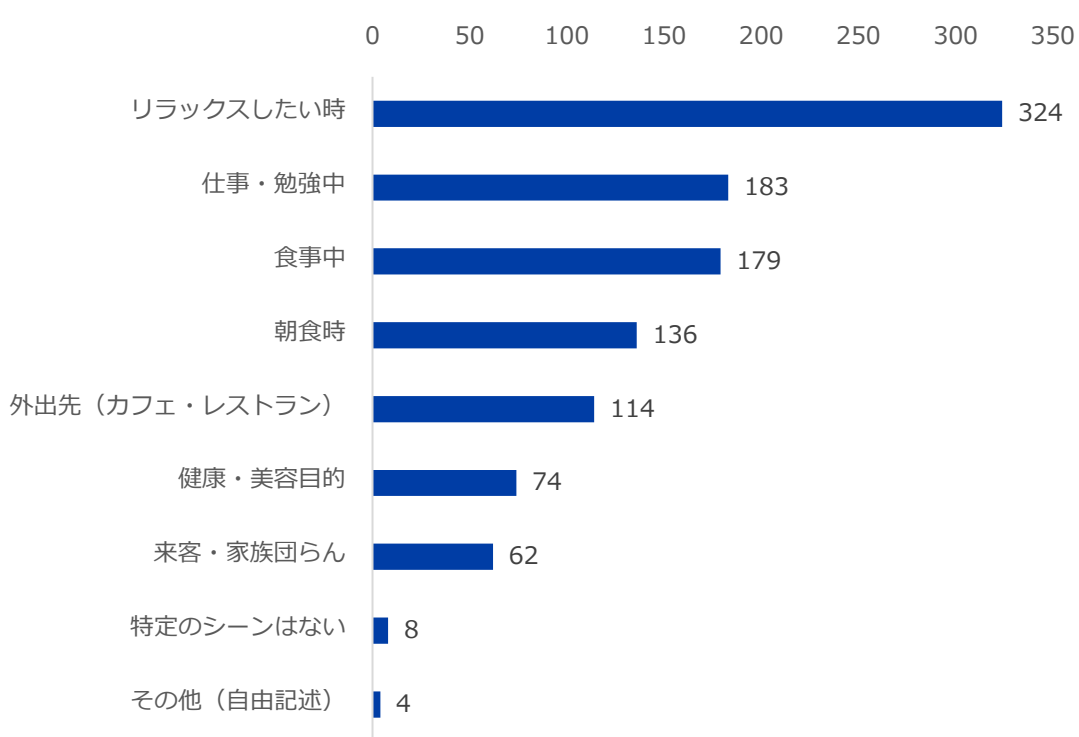
		該当数	香ばしい風味	飲みやすい（苦味・渋みが少ない）	豊かな旨味、コクのある味わい	苦味が強いはうが好み	自然な甘み	香りが強い	ミルクや砂糖と合う	低カフェイン	特にない	その他（自由記述）
全体		568	27.8	47.9	23.1	10.7	25.0	29.0	17.3	13.0	8.1	0.7
Q1	男性	286	28.7	47.9	24.5	13.6	24.8	33.9	13.3	10.5	10.1	0.3
	女性	281	27.0	48.0	21.7	7.8	24.9	24.2	21.4	15.7	6.0	1.1
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	61	34.4	44.3	19.7	4.9	29.5	27.9	32.8	14.8	4.9	3.3
	25-34	158	28.5	48.1	30.4	13.3	27.2	26.6	23.4	10.8	4.4	0.6
	35-44	174	29.3	45.4	20.1	10.3	27.0	33.9	15.5	14.4	6.3	0.0
	45-54	107	23.4	49.5	17.8	13.1	23.4	25.2	8.4	11.2	12.1	0.0
	55以上	68	23.5	54.4	25.0	7.4	13.2	29.4	7.4	16.2	17.6	1.5
Q5-1	煎茶	186	20.4	60.8	17.7	7.5	20.4	28.0	7.5	17.2	9.7	1.1
	ほうじ茶	109	55.0	40.4	24.8	10.1	20.2	27.5	11.9	11.9	5.5	0.0
	玄米茶	29	41.4	51.7	31.0	27.6	27.6	44.8	13.8	3.4	0.0	0.0
	玉露	21	33.3	42.9	28.6	23.8	38.1	33.3	9.5	9.5	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	22.2	55.6	55.6	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	0.0
	抹茶	214	18.2	40.2	23.8	9.8	29.9	29.0	29.4	12.1	9.3	0.9
	飲んだ事がない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その日本茶（1位）をよく飲む理由・好みの茶の特徴として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

8 日本茶の飲用シーン

- 最多は「リラックスしたい時」（57.0%）で、次いで「仕事・勉強中」（32.2%）、「食事中」（31.5%）であった。年代別では45-54歳で「リラックス用途」が最も高く（61.7%）、25-34歳では「仕事・勉強中」が41.1%と突出するなど、ライフステージによる用途差が明確である。

※なお「食事中」は朝食時を除いた自宅での食事（昼・夕食）を想定したシーンであり、本設問は複数回答であるため、各シーンは重なり合って選択されている点に留意が必要である。 (n=568)

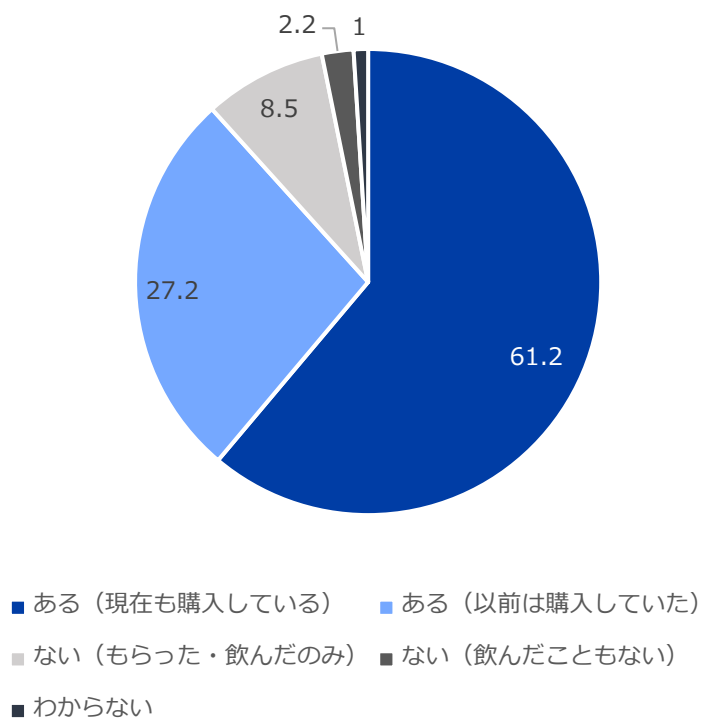


		該当数	朝食時	仕事・勉強中	食事中	リラックスしたい時	来客・家族団らん	外出先（カフェ・レストラン）	健康・美容目的	特定のシーンはない	その他（自由記述）
全体		568	23.9	32.2	31.5	57.0	10.9	20.1	13.0	1.4	0.7
Q 1	男性	286	24.5	36.7	31.5	59.1	13.6	15.7	12.2	2.4	0.7
	女性	281	23.1	27.8	31.7	54.8	8.2	24.6	13.5	0.4	0.7
	その他	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	61	26.2	27.9	21.3	54.1	6.6	27.9	9.8	3.3	0.0
	25-34	158	27.2	41.1	37.3	57.0	9.5	23.4	12.0	0.6	0.6
	35-44	174	25.9	34.5	34.5	55.7	10.9	14.4	12.1	1.7	0.6
	45-54	107	22.4	25.2	24.3	61.7	17.8	22.4	11.2	0.9	0.0
	55以上	68	11.8	20.6	30.9	55.9	7.4	16.2	23.5	1.5	2.9
Q 5 - 1	煎茶	186	22.6	34.9	30.1	57.0	8.1	16.1	12.4	0.5	0.5
	ほうじ茶	109	23.9	27.5	42.2	50.5	11.0	21.1	10.1	1.8	0.0
	玄米茶	29	17.2	41.4	55.2	58.6	31.0	17.2	10.3	3.4	3.4
	玉露	21	28.6	28.6	28.6	71.4	19.0	9.5	19.0	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	33.3	44.4	55.6	33.3	33.3	0.0	33.3	11.1	0.0
	抹茶	214	25.2	30.8	23.4	59.8	8.9	25.2	14.0	1.4	0.9
	飲んだ事がない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その日本茶（1位）を主にどのような場面で飲んでいますか。（複数回答可）

9 日本茶の購入経験

- 現購入者は61.2%、過去購入含めると約9割に達する。一方、18-24歳では現購入率が37.9%と相対的に低く、若年層は“体験中心・購買未定着層”が一定割合存在する構造が確認される。



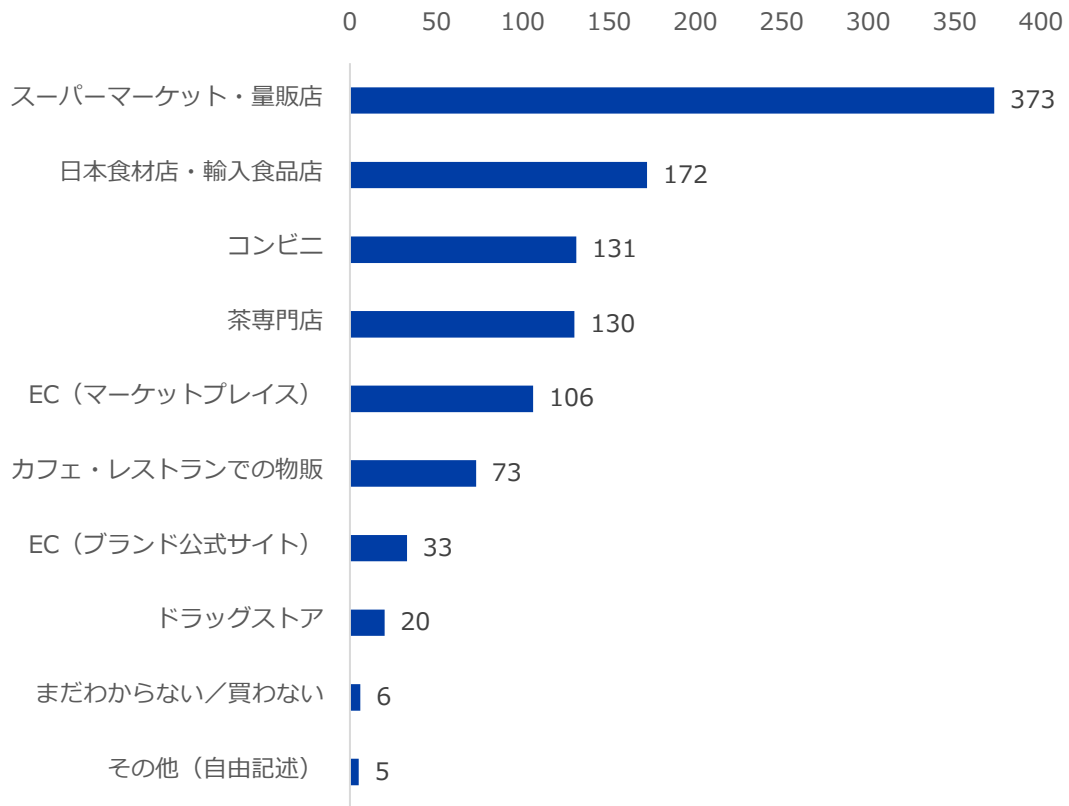
(n=600)

		該当数	ある（現在も購入している）	ある（以前は購入していた）	ない（もらった・飲んだのみ）	ない（飲んだこともない）	わからない
全体		600	61.2	27.2	8.5	2.2	1.0
Q 1	男性	304	65.1	24.3	6.6	2.6	1.3
	女性	294	57.1	29.9	10.5	1.7	0.7
	その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	66	37.9	47.0	12.1	3.0	0.0
	25-34	163	62.0	26.4	10.4	0.0	1.2
	35-44	185	66.5	23.8	5.4	2.2	2.2
	45-54	116	61.2	24.1	10.3	4.3	0.0
	55以上	70	67.1	24.3	5.7	2.9	0.0
Q 5 - 1	煎茶	186	67.2	22.0	9.7	0.5	0.5
	ほうじ茶	109	57.8	30.3	10.1	1.8	0.0
	玄米茶	29	51.7	37.9	10.3	0.0	0.0
	玉露	21	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	44.4	44.4	0.0	11.1	0.0
	抹茶	214	68.2	24.8	6.1	0.0	0.9
	飲んだ事が無い	6	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

10 日本茶の購入場所

- 最多はスーパーマーケット（65.7%）で、次いで日本食材店（30.3%）、コンビニ（23.1%）、茶専門店（22.9%）。年代別では55歳以上でスーパー利用が77.9%と突出、25-34歳では日本食材店（34.2%）やEC（20.3%）利用が相対的に高いなど、世代ごとにチャネル構成が異なる。

(n=568)

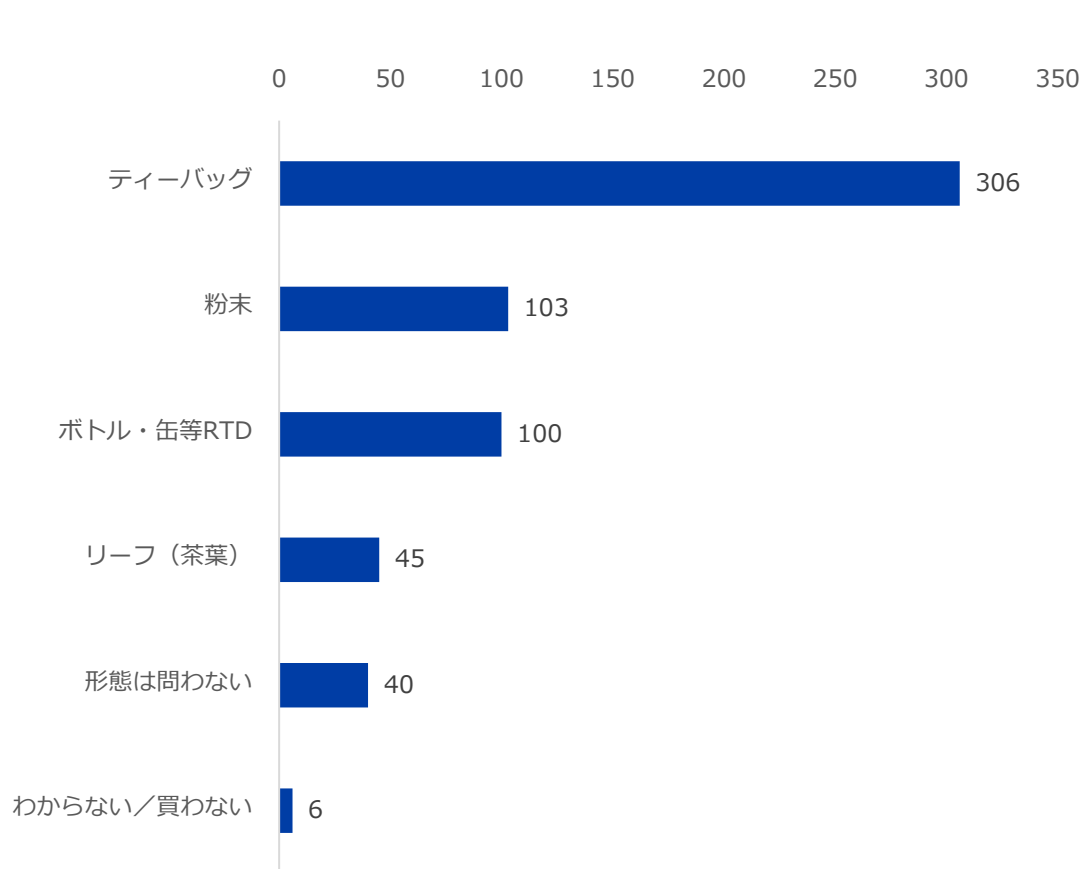


		該当数	スーパーマーケット・量販店	コンビニ	茶専門店	日本食材店・輸入食品店	ドラッグストア	EC（マーケットプレイス）	EC（ブランド公式サイト）	カフェ・レストランでの物販	まだわからない／買わない	その他（自由記述）
全体		568	65.7	23.1	22.9	30.3	3.5	18.7	5.8	12.9	1.1	0.9
Q1	男性	286	70.3	27.3	20.3	27.6	4.2	18.5	5.9	9.1	1.4	0.7
	女性	281	61.2	18.9	25.6	33.1	2.8	18.5	5.7	16.7	0.7	1.1
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	61	62.3	34.4	23.0	27.9	1.6	14.8	4.9	31.1	1.6	0.0
	25-34	158	60.1	26.6	31.6	34.2	7.6	20.3	6.3	12.7	0.6	0.6
	35-44	174	62.6	27.6	22.4	29.9	3.4	20.1	6.9	10.9	1.1	0.6
	45-54	107	72.9	14.0	16.8	29.9	0.0	18.7	3.7	10.3	1.9	0.9
	55以上	68	77.9	7.4	13.2	25.0	1.5	14.7	5.9	5.9	0.0	2.9
Q5-1	煎茶	186	78.5	19.4	22.0	26.9	3.8	17.2	6.5	6.5	0.5	1.1
	ほうじ茶	109	67.9	21.1	22.0	26.6	2.8	15.6	2.8	15.6	1.8	0.0
	玄米茶	29	44.8	37.9	37.9	51.7	10.3	17.2	6.9	3.4	0.0	0.0
	玉露	21	42.9	33.3	19.0	47.6	4.8	33.3	9.5	9.5	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	33.3	44.4	33.3	33.3	33.3	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0
	抹茶	214	59.8	23.4	22.0	30.4	1.4	20.1	5.6	19.2	0.9	1.4
	飲んだ事がない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を購入する場所として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

11 日本茶の希望購入形態

- ティーバッグが過半（51.0%）を占める一方、粉末（17.2%）・RTD（16.7%）が続き、リーフ（7.5%）は限定的。年代別では55歳以上でティーバッグ志向が64.3%と高く、18-24歳ではRTD（30.3%）・粉末（25.8%）比率が相対的に高い。世代間で形態志向が明確に分化している。

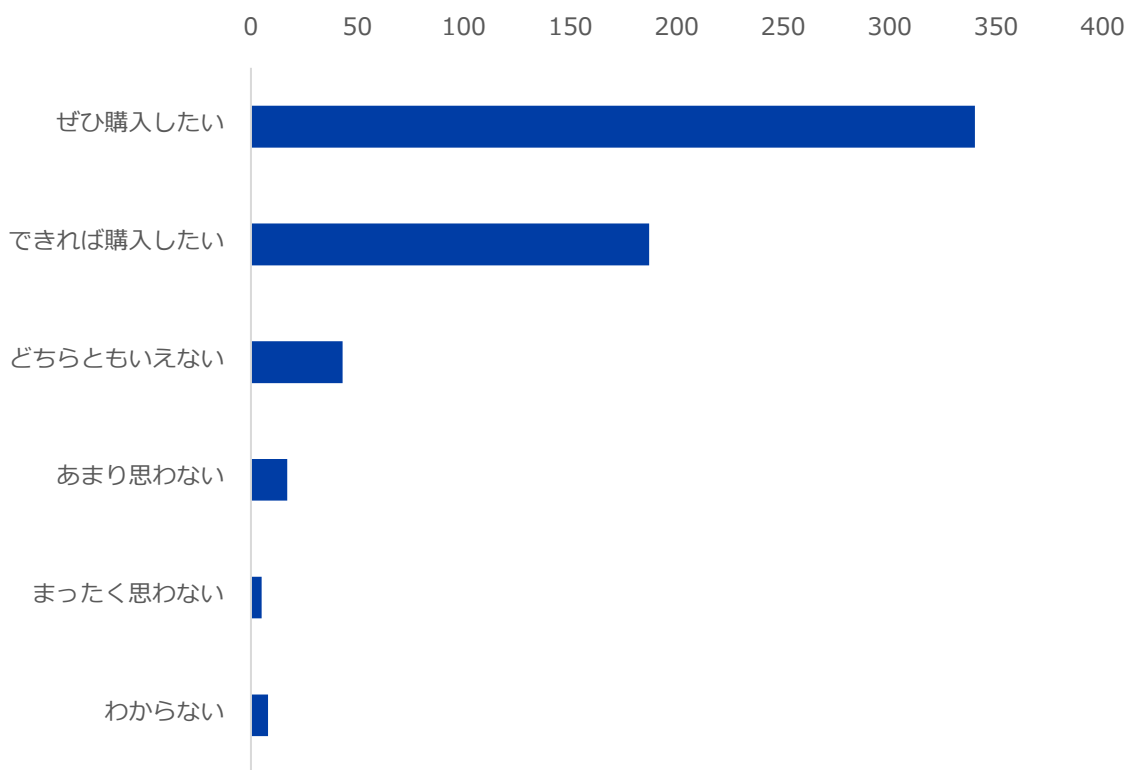


		該当数	ティーバッグ	リーフ（茶葉）	粉末	ボトル・缶等RTD	形態は問わない	わからない／買わない
全体		600	51.0	7.5	17.2	16.7	6.7	1.0
Q 1	男性	304	51.3	6.6	16.8	18.4	5.6	1.3
	女性	294	50.7	8.5	17.7	15.0	7.5	0.7
	その他	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
Q 2	18-24	66	30.3	3.0	25.8	30.3	9.1	1.5
	25-34	163	46.6	9.2	19.0	19.6	4.9	0.6
	35-44	185	56.8	5.9	14.1	14.1	8.6	0.5
	45-54	116	51.7	8.6	17.2	13.8	6.0	2.6
	55以上	70	64.3	10.0	12.9	8.6	4.3	0.0
Q 5 - 1	煎茶	186	64.5	7.5	7.5	15.1	5.4	0.0
	ほうじ茶	109	56.0	8.3	11.9	17.4	5.5	0.9
	玄米茶	29	44.8	31.0	17.2	3.4	3.4	0.0
	玉露	21	57.1	9.5	14.3	14.3	4.8	0.0
	茎茶・くき茶	9	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0
	抹茶	214	41.1	3.7	29.9	19.2	5.6	0.5
	飲んだ事が無い	6	66.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0

12 日本茶の購入意向

- 「ぜひ購入したい」が56.7%と過半を占め、特に35-44歳では61.6%、抹茶ユーザーでは62.6%と高水準。一方、18-24歳では「ぜひ」比率が48.5%に留まり、若年層はやや慎重姿勢が見られる。

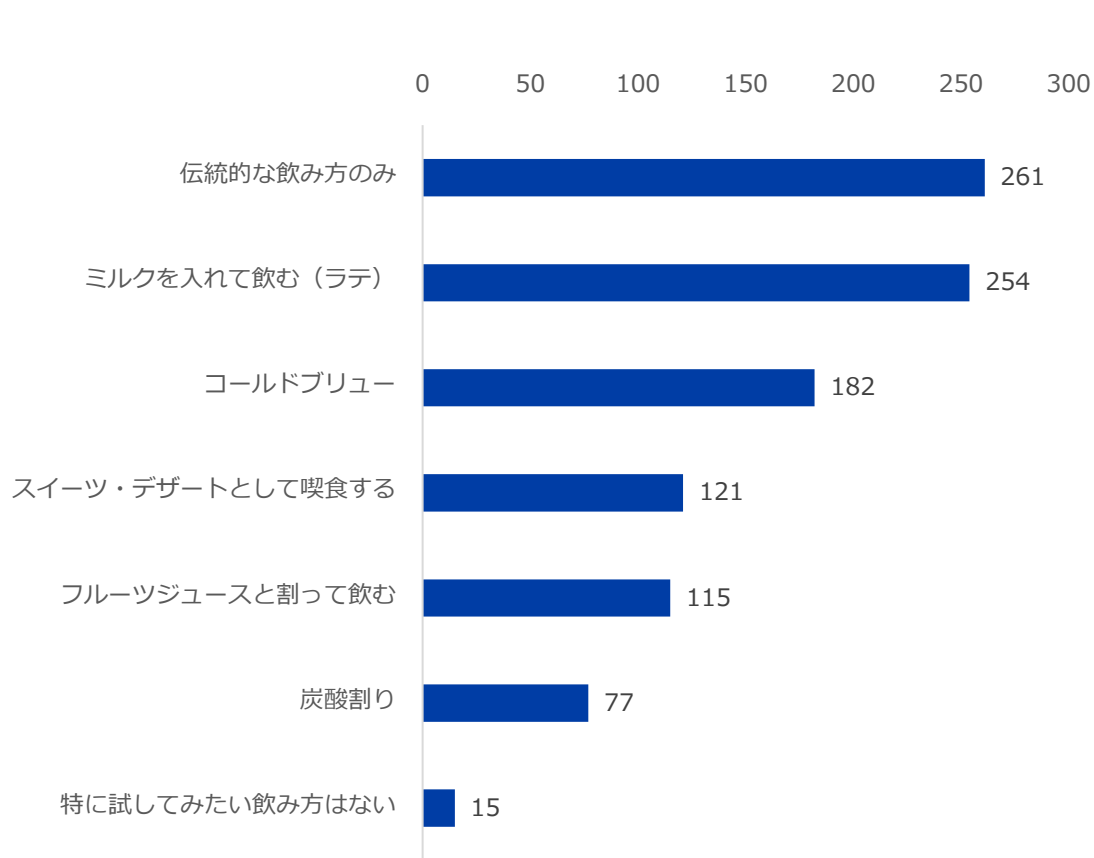
(n=600)



		該当数	ぜひ購入したい	できれば購入したい	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	わからない
全体		600	56.7	31.2	7.2	2.8	0.8	1.3
Q 1	男性	304	56.9	29.9	7.2	3.3	1.3	1.3
	女性	294	56.5	32.3	7.1	2.4	0.3	1.4
	その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	66	48.5	33.3	15.2	1.5	0.0	1.5
	25-34	163	54.0	39.3	4.3	1.2	0.0	1.2
	35-44	185	61.6	24.3	5.9	5.9	1.1	1.1
	45-54	116	58.6	26.7	8.6	1.7	2.6	1.7
	55以上	70	54.3	35.7	7.1	1.4	0.0	1.4
Q 5 - 1	煎茶	186	61.8	29.6	5.9	2.2	0.0	0.5
	ほうじ茶	109	56.9	38.5	2.8	0.0	0.9	0.9
	玄米茶	29	55.2	27.6	6.9	6.9	3.4	0.0
	玉露	21	38.1	47.6	9.5	4.8	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	9	44.4	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0
	抹茶	214	62.6	29.9	5.1	0.9	0.9	0.5
	飲んだ事がない	6	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0

13 試してみたい日本茶の飲み方

- 若年層ほどアレンジ志向が強く、18-24歳では「ラテ」66.7%、「スイーツとして」39.4%と高水準。一方、55歳以上では「伝統的な飲み方のみ」75.7%と突出しており、世代間で飲用スタイル志向が大きく分化している。



		該当数	ミルクを入れて飲む (ラテ)	コールドブリュー	炭酸割り	フルーツジュースと割って飲む	スイーツ・デザートとして喫食する	伝統的な飲み方のみ	特に試してみたい飲み方はない
全体		600	42.3	30.3	12.8	19.2	20.2	43.5	2.5
Q 1	男性	304	36.2	32.9	13.2	20.4	18.1	46.4	3.0
	女性	294	48.6	27.6	12.2	17.7	22.1	40.1	2.0
	その他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0
Q 2	18-24	66	66.7	37.9	15.2	24.2	39.4	25.8	0.0
	25-34	163	54.6	37.4	22.1	27.0	27.0	31.3	4.3
	35-44	185	42.2	30.8	13.0	19.5	17.8	40.5	1.6
	45-54	116	26.7	25.9	3.4	11.2	12.9	56.0	2.6
	55以上	70	17.1	12.9	4.3	8.6	4.3	75.7	2.9
Q 5 - 1	煎茶	186	35.5	26.9	11.3	18.3	12.9	52.2	3.2
	ほうじ茶	109	36.7	33.0	13.8	20.2	19.3	45.9	0.9
	玄米茶	29	34.5	37.9	24.1	17.2	27.6	48.3	0.0
	玉露	21	28.6	33.3	38.1	28.6	28.6	23.8	0.0
	茎茶・くき茶	9	33.3	22.2	33.3	22.2	44.4	22.2	11.1
	抹茶	214	55.1	31.8	8.9	18.7	23.4	38.8	0.5
	飲んだ事がない	6	33.3	50.0	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0

日本茶の飲み方として、今後試してみたいと思うものをお選びください。(複数回答可)

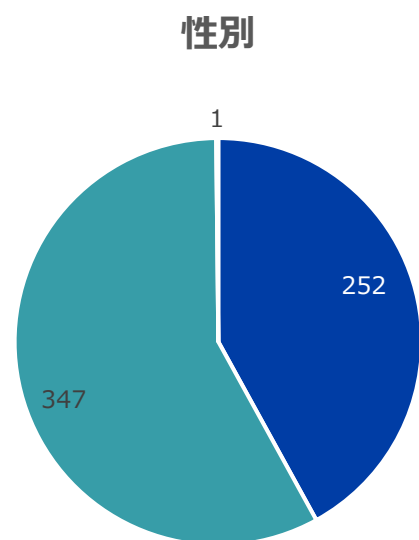
Ⅱ. タイ

1~3 属性情報

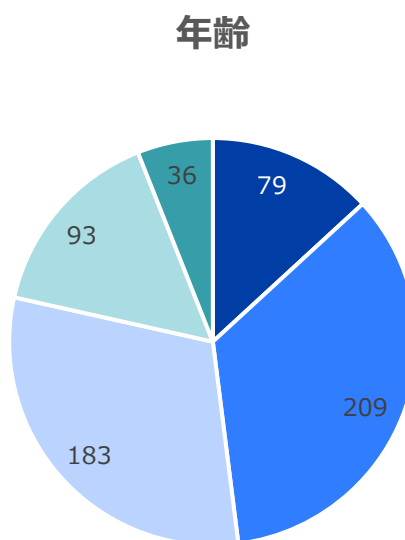
- 回答者は女性比率が高く（約58%）、年齢は25-34歳が最多。茶系飲料は「ほぼ毎日」「週4-6日」で約6割を占め、日常的飲用習慣が既に形成されている。

(n=600)

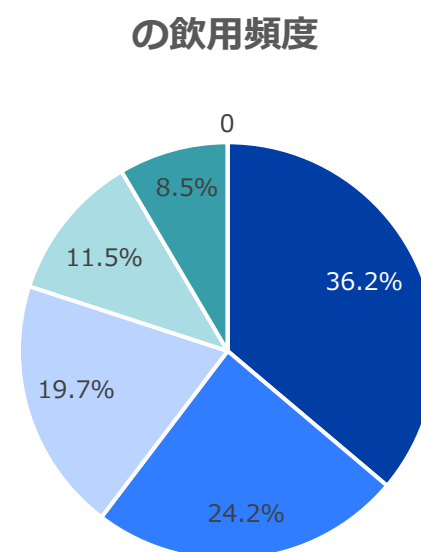
茶系飲料（緑茶・紅茶・烏龍茶・ハーブティー等）



■ 男性 ■ 女性 ■ その他



■ 18-24 ■ 25-34 ■ 35-44 ■ 45-54 ■ 55以上



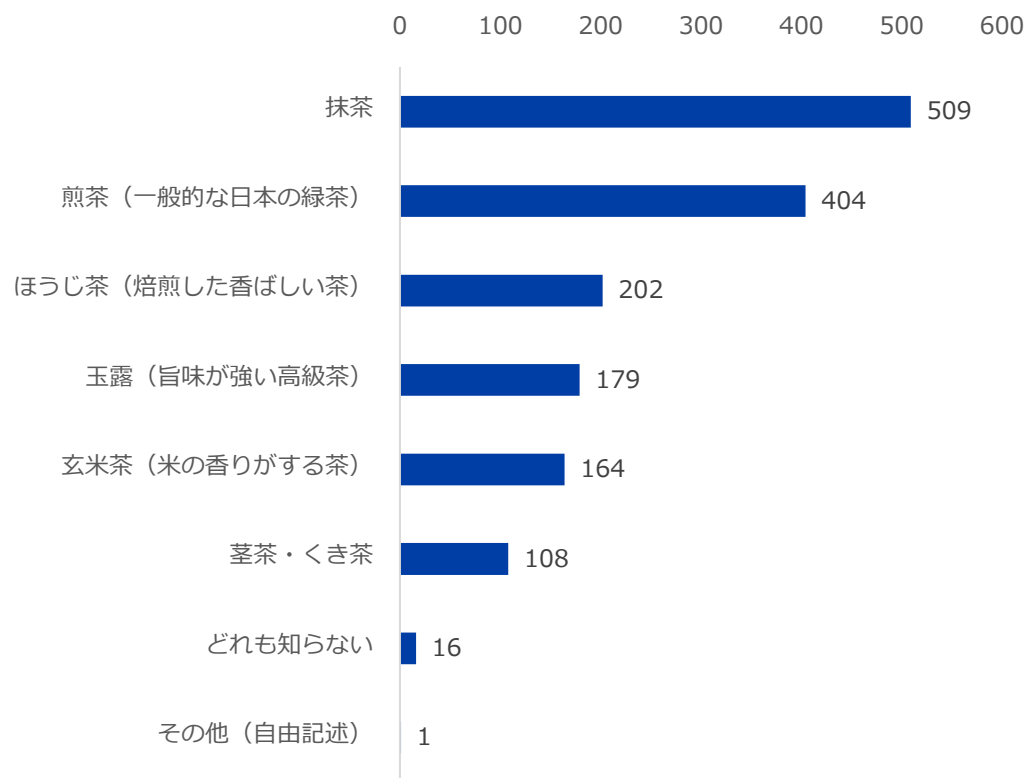
■ ほぼ毎日
■ 週1-3日
■ ほとんど飲まない

■ 週4-6日
■ 月1-3回
■ わからない/回答したくない

4 日本茶の認知度

- 抹茶（84.8%）が突出し、次いで煎茶（67.3%）。一方、ほうじ茶（33.7%）、玄米茶（27.3%）、玉露（29.8%）は3割前後に留まり、カテゴリー間で大きな認知格差が存在する。

(n=600)

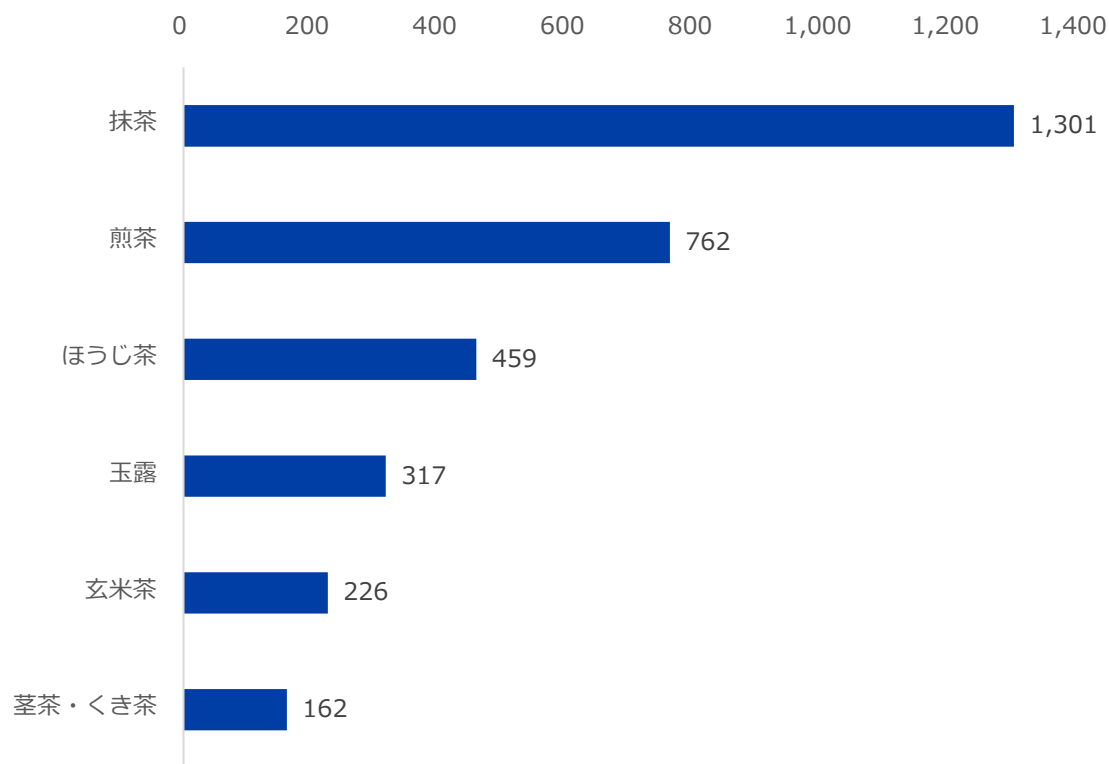


		該当数	煎茶 （一般的な日本の緑茶）	ほうじ茶 （焙煎した香ばしい茶）	玄米茶 （米の香りがする茶）	玉露 （旨味が強い高級茶）	茎茶・くき茶	抹茶	どれも知らない	その他 （自由記述）
全体		600	67.3	33.7	27.3	29.8	18.0	84.8	2.7	0.2
Q1	男性	252	70.2	29.0	25.0	29.8	17.1	81.3	3.2	0.0
	女性	347	65.4	37.2	29.1	30.0	18.7	87.3	2.3	0.3
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q2	18-24	79	60.8	24.1	13.9	20.3	11.4	77.2	5.1	0.0
	25-34	209	70.3	37.8	31.1	37.3	21.5	87.1	0.5	0.0
	35-44	183	67.8	39.9	29.5	28.4	21.3	88.0	1.6	0.5
	45-54	93	62.4	24.7	24.7	23.7	9.7	78.5	6.5	0.0
	55以上	36	75.0	22.2	30.6	30.6	16.7	88.9	5.6	0.0
Q5-1	煎茶	91	92.3	27.5	31.9	37.4	19.8	72.5	0.0	0.0
	ほうじ茶	38	63.2	68.4	28.9	31.6	26.3	76.3	0.0	0.0
	玄米茶	17	70.6	47.1	41.2	29.4	11.8	64.7	0.0	0.0
	玉露	26	46.2	38.5	26.9	76.9	26.9	76.9	3.8	0.0
	茎茶・くき茶	10	40.0	50.0	20.0	50.0	50.0	70.0	0.0	0.0
	抹茶	360	68.9	33.6	28.3	28.1	18.1	93.6	0.6	0.0
	飲んだ事がない	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	14.3

日本茶について、知っているものをお選びください。（複数回答可）

5 飲用頻度が高い日本茶

- 抹茶は全年代で6～7割を占めるが、特に18-24歳（69.0%）、25-34歳（62.7%）で高水準。18～24歳が抹茶とほうじ茶に偏りが見られる一方で、それ以外の世代では抹茶以外にも煎茶や玉露などへの嗜好も見て取れる。



(n=549)

		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事が無い/わからない
よく飲むものを1位									
全体		549	16.6	6.9	3.1	4.7	1.8	65.6	1.3
Q1	男性	226	20.8	8.0	4.0	7.5	2.7	56.6	0.4
	女性	323	13.6	6.2	2.5	2.8	1.2	71.8	1.9
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	71	8.5	12.7	2.8	1.4	0.0	69.0	5.6
	25-34	201	19.4	7.0	3.0	5.0	2.5	62.7	0.5
	35-44	165	15.8	6.7	2.4	6.1	2.4	66.1	0.6
	45-54	83	16.9	2.4	6.0	3.6	1.2	68.7	1.2
	55以上	29	20.7	6.9	0.0	6.9	0.0	65.5	0.0
Q5-1	煎茶	91	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ほうじ茶	38	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玄米茶	17	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉露	26	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	抹茶	360	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	飲んだ事が無い	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

日本茶の中から、あなたがよく飲むものを1位～3位まで順位付けしてください。／順位加重スコア

5 飲用頻度が高い日本茶

- 2位選択では煎茶（33.7%）が最多で、続いてほうじ茶（22.6%）となった。年代別に見ると、抹茶を最も飲むとした55歳以上では、次によく飲むものとして煎茶を選ぶ割合が55.2%と他世代より高い。一方、18-34歳では煎茶よりもほうじ茶を次に飲むものとして選ぶ割合が相対的に高いことがわかる。

(n=549)

よく飲むものを2位		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事が無い/わからない
			煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	
全体		549	33.7	22.6	7.8	13.5	6.6	15.1	0.7
Q1	男性	226	38.9	15.9	5.8	12.4	8.0	18.1	0.9
	女性	323	30.0	27.2	9.3	14.2	5.6	13.0	0.6
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	71	25.4	26.8	4.2	19.7	14.1	9.9	0.0
	25-34	201	27.9	28.9	10.4	12.4	6.0	13.4	1.0
	35-44	165	34.5	19.4	10.3	12.1	4.8	17.6	1.2
	45-54	83	45.8	15.7	1.2	13.3	7.2	16.9	0.0
	55以上	29	55.2	6.9	3.4	13.8	0.0	20.7	0.0
Q5-1	煎茶	91	0.0	20.9	6.6	16.5	4.4	51.6	0.0
	ほうじ茶	38	13.2	0.0	15.8	15.8	5.3	50.0	0.0
	玄米茶	17	47.1	5.9	0.0	0.0	11.8	35.3	0.0
	玉露	26	30.8	11.5	7.7	0.0	11.5	34.6	3.8
	茎茶・くき茶	10	30.0	30.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	抹茶	360	44.7	26.9	7.2	14.2	6.1	0.0	0.8
	飲んだ事が無い	7	0.0	14.3	0.0	28.6	42.9	14.3	0.0

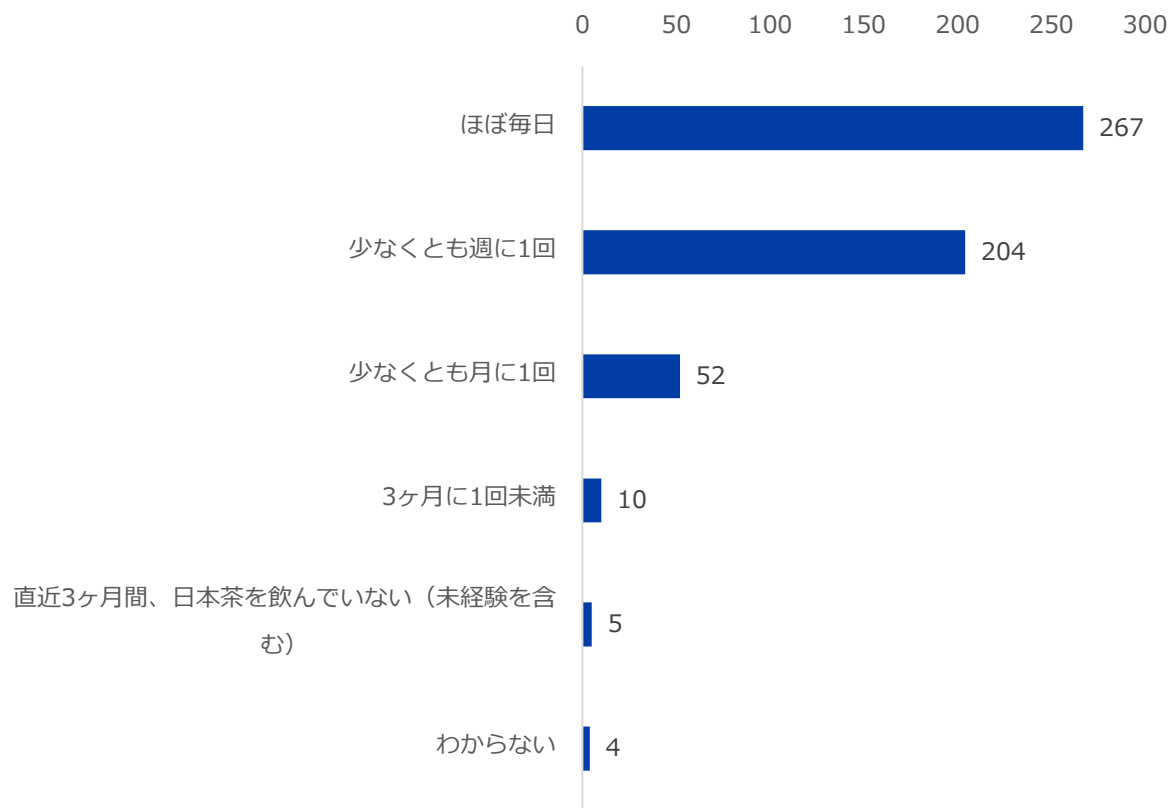
よく飲むものを3位		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事が無い/わからない
			煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	
全体		549	21.7	17.7	16.2	16.6	10.9	10.0	6.9
Q1	男性	226	14.6	18.6	19.5	18.6	12.8	11.1	4.9
	女性	323	26.6	17.0	13.9	15.2	9.6	9.3	8.4
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	71	25.4	9.9	9.9	12.7	21.1	14.1	7.0
	25-34	201	23.4	14.9	19.9	15.9	11.4	10.0	4.5
	35-44	165	21.2	20.0	15.2	18.8	7.9	9.1	7.9
	45-54	83	18.1	20.5	16.9	19.3	8.4	8.4	8.4
	55以上	29	13.8	34.5	10.3	10.3	6.9	10.3	13.8
Q5-1	煎茶	91	0.0	17.6	18.7	25.3	4.4	27.5	6.6
	ほうじ茶	38	23.7	0.0	13.2	13.2	23.7	23.7	2.6
	玄米茶	17	17.6	17.6	0.0	23.5	11.8	29.4	0.0
	玉露	26	26.9	7.7	7.7	0.0	11.5	34.6	11.5
	茎茶・くき茶	10	30.0	10.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	抹茶	360	26.9	20.6	17.5	15.8	11.4	0.0	7.8
	飲んだ事が無い	7	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	71.4	0.0

日本茶の中から、あなたがよく飲むものを1位～3位まで順位付けしてください。／順位加重スコア

6 日本茶の飲用頻度

- 年代別に見ると、25-34歳では「ほぼ毎日」飲用が54.0%と最も高く、35-44歳でも52.4%と過半を占めており、25歳以上では日本茶が明確に日常飲料として習慣化している。一方、18-24歳では「ほぼ毎日」は37.3%にとどまり、「週1回」（41.8%）が最多であることから、最若年層ではややライトな飲用構造が見られる。

(n=542)



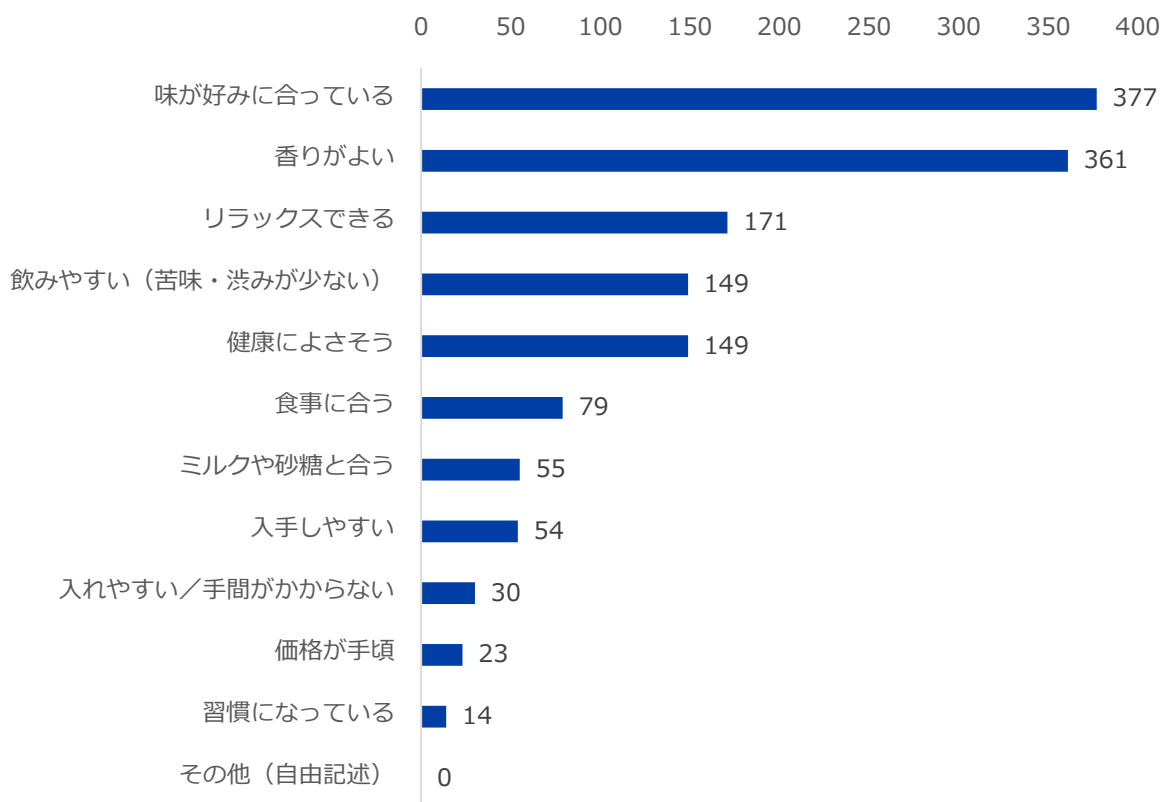
		該当数	ほぼ毎日	少なくとも週に1回	少なくとも月に1回	3ヶ月に1回未満	直近3ヶ月間、日本茶を飲んでいない (未経験を含む)	わからない
全体		542	49.3	37.6	9.6	1.8	0.9	0.7
Q 1	男性	225	52.9	36.4	8.9	0.4	0.0	1.3
	女性	317	46.7	38.5	10.1	2.8	1.6	0.3
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	67	37.3	41.8	14.9	3.0	1.5	1.5
	25-34	200	54.0	36.0	7.0	1.5	1.0	0.5
	35-44	164	52.4	33.5	11.6	1.8	0.6	0.0
	45-54	82	42.7	46.3	8.5	1.2	1.2	0.0
	55以上	29	44.8	37.9	6.9	3.4	0.0	6.9
Q 5 - 1	煎茶	91	50.5	39.6	5.5	2.2	1.1	1.1
	ほうじ茶	38	42.1	44.7	5.3	2.6	2.6	2.6
	玄米茶	17	64.7	17.6	17.6	0.0	0.0	0.0
	玉露	26	50.0	30.8	15.4	0.0	0.0	3.8
	茎茶・くき茶	10	70.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	抹茶	360	48.3	38.6	10.3	1.7	0.8	0.3
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を、直近3か月間でどのくらいの頻度で飲んでいますか。（SA）

7 好みの日本茶の特徴

- 全年代で「味」「香り」が上位を占める一方、若年層（18-34歳）では「飲みやすさ」、中高年層（35歳以上）では「健康価値」の重視傾向が見られる。

(n=542)

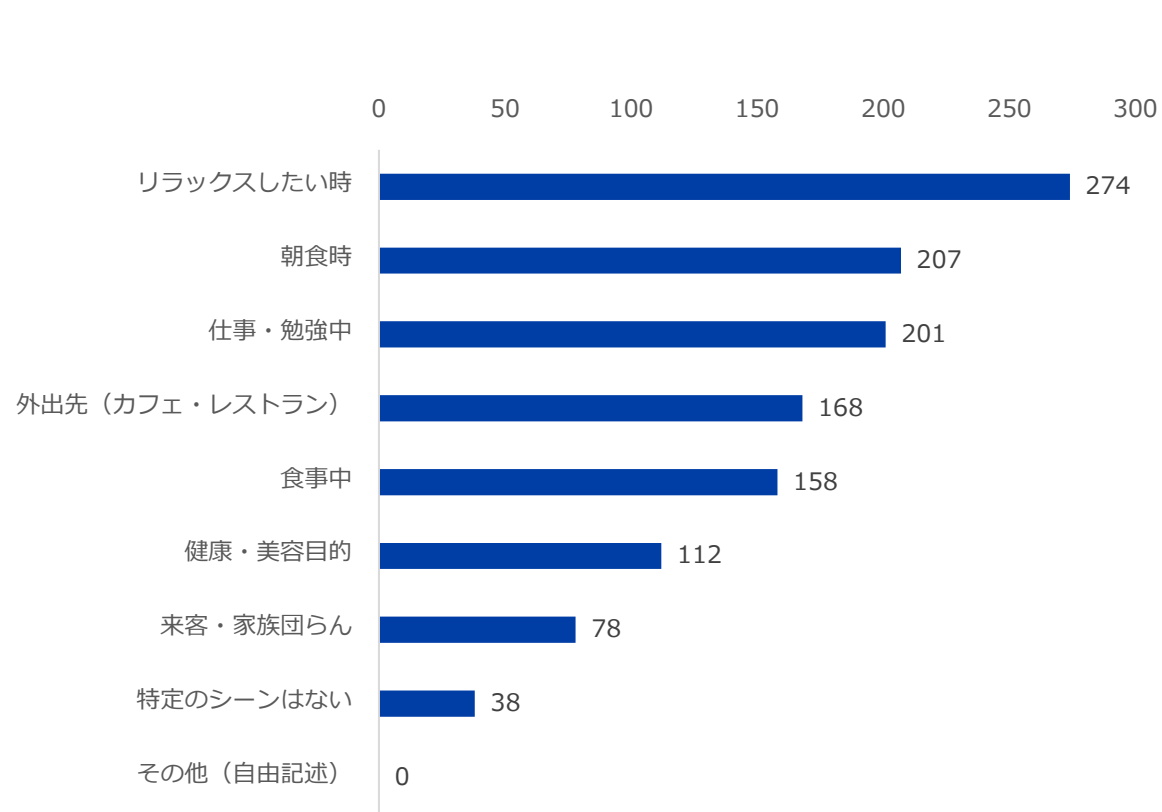


		該当数	味が好みに合っている	香りがよい	飲みやすい（苦味・渋みが少ない）	食事に合う	ミルクや砂糖と合う	リラックスできる	健康によさそう	価格が手頃	入手しやすい	入れやすい／手間がかからない	習慣になっている	その他（自由記述）
全体		542	69.6	66.6	27.5	14.6	10.1	31.5	27.5	4.2	10.0	5.5	2.6	0.0
Q1	男性	225	68.9	61.8	20.0	16.0	8.0	35.1	28.9	4.9	12.0	5.3	2.7	0.0
	女性	317	70.0	70.0	32.8	13.6	11.7	29.0	26.5	3.8	8.5	5.7	2.5	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	67	74.6	55.2	35.8	7.5	17.9	23.9	11.9	1.5	6.0	6.0	1.5	0.0
	25-34	200	72.0	69.5	31.5	20.5	13.0	27.5	19.5	4.5	9.5	7.5	4.0	0.0
	35-44	164	64.6	67.1	22.6	13.4	5.5	37.8	35.4	3.7	9.8	4.3	2.4	0.0
	45-54	82	67.1	65.9	25.6	11.0	6.1	36.6	37.8	7.3	14.6	3.7	1.2	0.0
	55以上	29	75.9	72.4	13.8	6.9	10.3	27.6	44.8	3.4	10.3	3.4	0.0	0.0
Q5-1	煎茶	91	74.7	60.4	30.8	13.2	7.7	46.2	22.0	3.3	11.0	6.6	2.2	0.0
	ほうじ茶	38	50.0	76.3	36.8	18.4	21.1	18.4	21.1	0.0	10.5	0.0	2.6	0.0
	玄米茶	17	64.7	58.8	29.4	17.6	5.9	17.6	5.9	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0
	玉露	26	76.9	76.9	26.9	23.1	7.7	15.4	19.2	3.8	7.7	0.0	3.8	0.0
	茎茶・くき茶	10	60.0	50.0	20.0	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	抹茶	360	70.3	67.2	25.8	13.3	10.0	31.7	31.4	5.0	9.7	6.4	2.5	0.0
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その日本茶（1位）をよく飲む理由・好みの茶の特徴として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

8 日本茶の飲用シーン

- 年代別に見ると、55歳以上では「リラックス時」が69.0%と突出しており、年齢が上がるほど情緒価値の比重が高まる。一方、18-24歳では「仕事・勉強中」（41.8%）が最も高く、若年層では集中・作業用途としての飲用が目立つ。

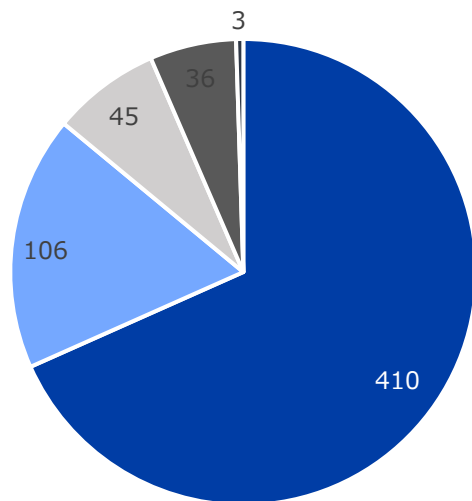


		該当数	朝食時	仕事・勉強中	食事中	リラックスしたい時	来客・家族団らん	外出先（カフェ・レストラン）	健康・美容目的	特定のシーンはない	その他（自由記述）
全体		542	38.2	37.1	29.2	50.6	14.4	31.0	20.7	7.0	0.0
Q 1	男性	225	40.0	33.8	32.9	58.7	16.4	23.6	19.1	6.7	0.0
	女性	317	36.9	39.4	26.5	44.8	12.9	36.3	21.8	7.3	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	67	35.8	41.8	17.9	38.8	16.4	25.4	14.9	3.0	0.0
	25-34	200	39.5	41.0	34.0	47.0	10.0	32.5	20.0	9.5	0.0
	35-44	164	40.9	34.8	28.7	54.3	17.1	33.5	20.1	2.4	0.0
	45-54	82	35.4	35.4	29.3	54.9	15.9	30.5	29.3	6.1	0.0
	55以上	29	27.6	17.2	24.1	69.0	20.7	20.7	17.2	27.6	0.0
Q 5 - 1	煎茶	91	46.2	39.6	24.2	56.0	23.1	19.8	16.5	5.5	0.0
	ほうじ茶	38	21.1	44.7	44.7	39.5	15.8	21.1	13.2	7.9	0.0
	玄米茶	17	29.4	41.2	23.5	29.4	11.8	29.4	17.6	5.9	0.0
	玉露	26	57.7	26.9	30.8	46.2	23.1	26.9	19.2	7.7	0.0
	茎茶・くき茶	10	50.0	60.0	30.0	20.0	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0
	抹茶	360	36.7	35.6	28.9	52.5	11.9	35.0	23.1	7.5	0.0
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その日本茶（1位）を主にどのような場面で飲んでいますか。（複数回答可）

9 日本茶の購入経験

- タイでは約7割（68.3%）が現在日本茶を自ら購入しており、飲用市場にとどまらず“購買市場としても成熟段階”にある。年代別では、25-34歳が75.6%と最も高く、次いで45-54歳（67.7%）、35-44歳（67.2%）と続く。特に25-34歳は飲用頻度も高く、購買・消費の両面で中心層となっている。



- ある（現在も購入している）
- ある（以前は購入していた）
- ない（もらった・飲んだのみ）
- ない（飲んだこともない）
- わからない

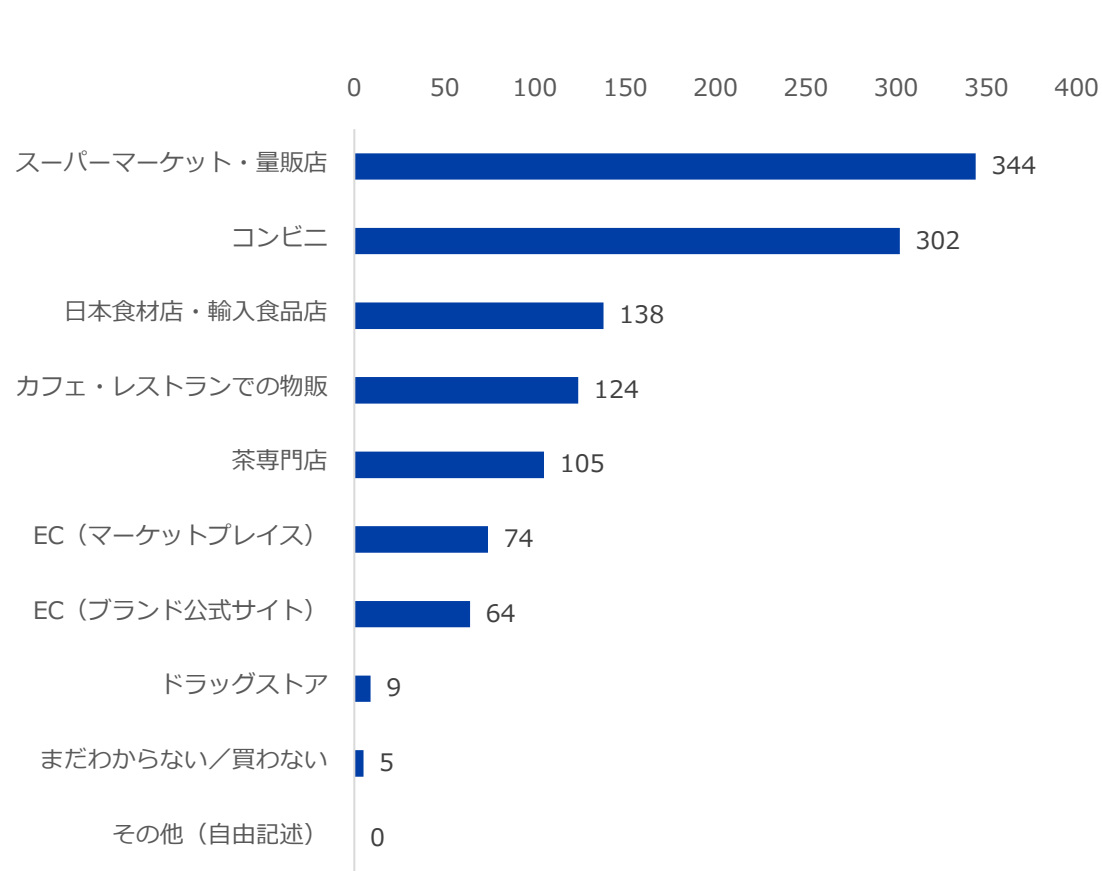
(n=600)

		該当数	ある（現在も購入している）	ある（以前は購入していた）	ない（もらった・飲んだのみ）	ない（飲んだこともない）	わからない
全体		600	68.3	17.7	7.5	6.0	0.5
Q 1	男性	252	73.0	14.7	5.2	6.3	0.8
	女性	347	65.1	19.9	8.9	5.8	0.3
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	79	54.4	21.5	12.7	10.1	1.3
	25-34	209	75.6	17.7	3.8	2.9	0.0
	35-44	183	67.2	18.0	8.2	6.6	0.0
	45-54	93	67.7	18.3	8.6	5.4	0.0
	55以上	36	63.9	5.6	11.1	13.9	5.6
Q 5 - 1	煎茶	91	75.8	16.5	5.5	1.1	1.1
	ほうじ茶	38	63.2	31.6	2.6	2.6	0.0
	玄米茶	17	52.9	23.5	5.9	11.8	5.9
	玉露	26	84.6	11.5	3.8	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	10	80.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	抹茶	360	76.1	16.1	6.7	0.8	0.3
	飲んだ事が無い	7	0.0	14.3	28.6	57.1	0.0

日本茶を自分用に購入したことはありますか。（SA）

10 日本茶の購入場所

- タイにおける日本茶の主な購入チャネルは「スーパーマーケット・量販店」（63.5%）および「コンビニ」（55.7%）であり、マス流通が中核チャネルとなっている。年代別では、25-34歳でスーパー（66.5%）・コンビニ（59.5%）が最も高く、若年～中堅層がマスチャネルの主力購買層である。



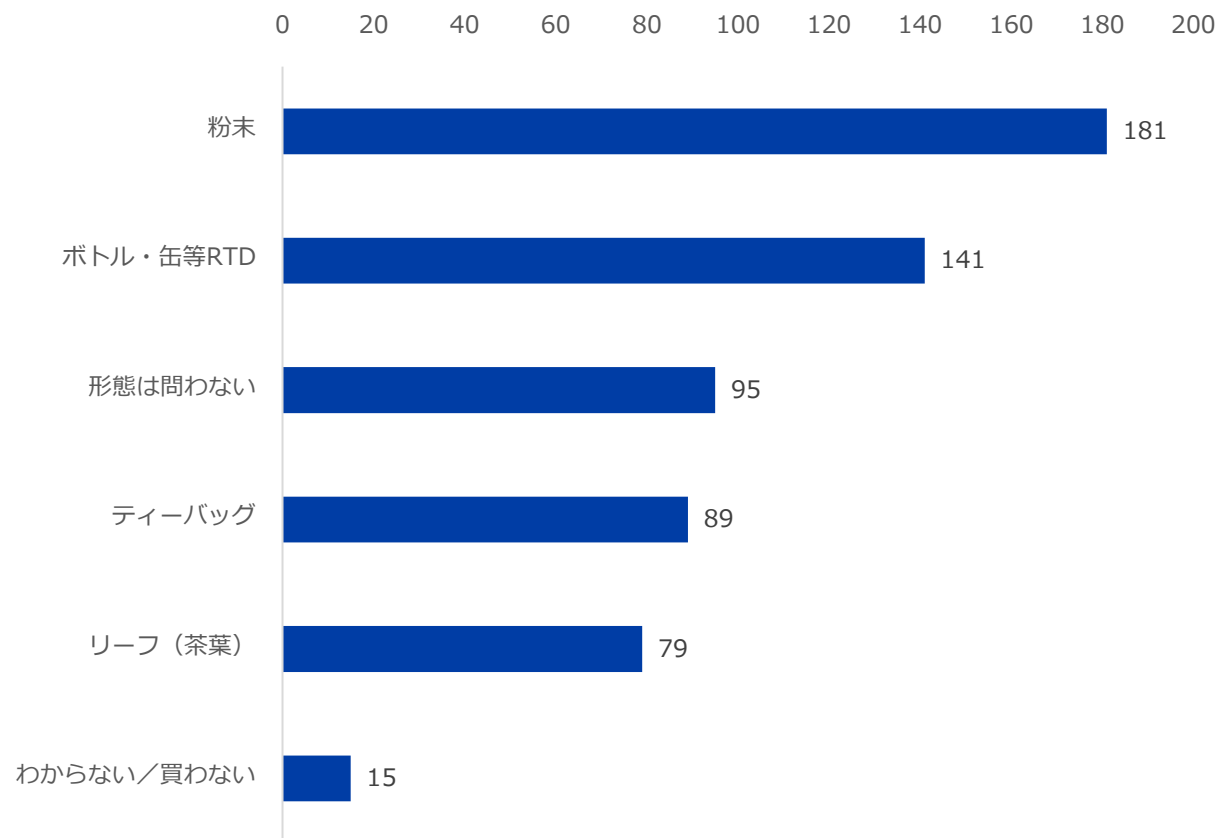
(n=542)

		該当数	スーパーマーケット・量販店	コンビニ	茶専門店	日本食料店・輸入食品店	ドラッグストア	EC（マーケットプレイス）	EC（ブランド公式サイト）	カフェ・レストランでの物販	まだわからない／買わない	その他（自由記述）
全体		542	63.5	55.7	19.4	25.5	1.7	13.7	11.8	22.9	0.9	0.0
Q1	男性	225	64.0	60.0	20.4	22.2	2.7	13.8	10.7	24.0	0.4	0.0
	女性	317	63.1	52.7	18.6	27.8	0.9	13.6	12.6	22.1	1.3	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	67	56.7	56.7	26.9	19.4	1.5	6.0	4.5	20.9	1.5	0.0
	25-34	200	66.5	59.5	17.0	30.0	2.5	11.5	13.0	16.0	0.0	0.0
	35-44	164	62.8	57.9	22.6	25.0	0.6	18.3	13.4	26.2	0.6	0.0
	45-54	82	64.6	45.1	14.6	26.8	2.4	11.0	13.4	34.1	1.2	0.0
	55以上	29	58.6	44.8	13.8	6.9	0.0	27.6	6.9	24.1	6.9	0.0
Q5-1	煎茶	91	54.9	60.4	13.2	29.7	3.3	9.9	9.9	15.4	1.1	0.0
	ほうじ茶	38	63.2	57.9	21.1	13.2	2.6	21.1	13.2	15.8	2.6	0.0
	玄米茶	17	76.5	52.9	11.8	23.5	0.0	11.8	17.6	11.8	0.0	0.0
	玉露	26	76.9	57.7	23.1	19.2	3.8	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	10	50.0	40.0	10.0	30.0	0.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	抹茶	360	64.4	54.7	21.1	26.1	1.1	14.2	11.7	26.7	0.8	0.0
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を購入する場所として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

11 日本茶の希望購入形態

- 性別では、女性は粉末志向が36.0%と高く、男性（21.8%）を大きく上回る。男性はRTD（32.9%）の比率が高く、即飲ニーズが強い。



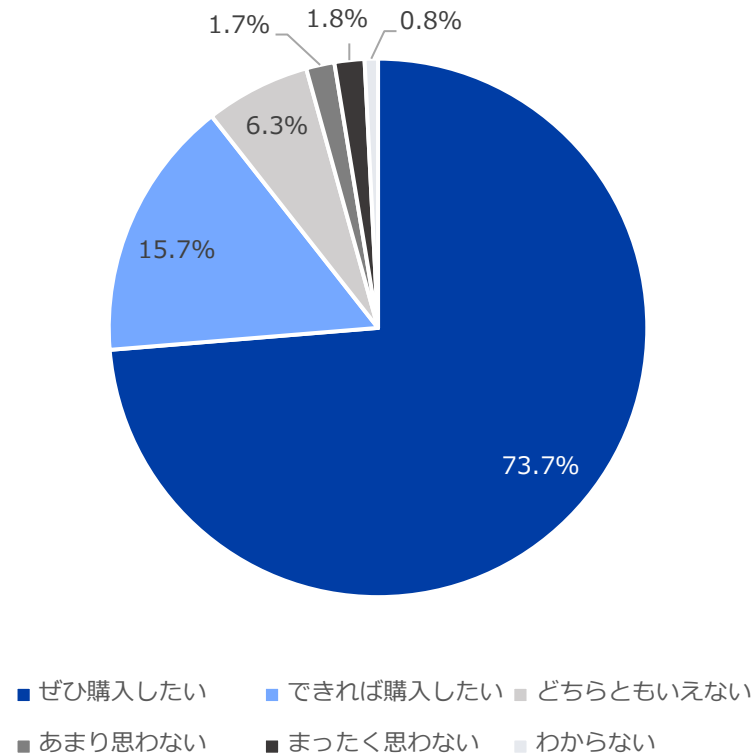
(n=600)

		該当数	ティーバッグ	リーフ（茶葉）	粉末	ボトル・缶等RTD	形態は問わない	わからない／買わない
全体		600	14.8	13.2	30.2	23.5	15.8	2.5
Q 1	男性	252	20.2	11.1	21.8	32.9	11.9	2.0
	女性	347	11.0	14.7	36.0	16.7	18.7	2.9
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	79	19.0	11.4	31.6	17.7	15.2	5.1
	25-34	209	13.9	14.4	31.6	22.5	16.7	1.0
	35-44	183	15.3	14.2	30.1	24.6	13.1	2.7
	45-54	93	14.0	10.8	28.0	29.0	16.1	2.2
	55以上	36	11.1	11.1	25.0	22.2	25.0	5.6
Q 5 - 1	煎茶	91	22.0	11.0	19.8	33.0	14.3	0.0
	ほうじ茶	38	15.8	15.8	36.8	21.1	10.5	0.0
	玄米茶	17	11.8	23.5	29.4	23.5	11.8	0.0
	玉露	26	15.4	19.2	15.4	38.5	11.5	0.0
	茎茶・くき茶	10	30.0	40.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	抹茶	360	14.4	11.7	37.8	19.4	16.4	0.3
	飲んだ事が無い	7	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	42.9

日本茶を購入する場合、最も好ましい形態をお選びください。（SA）

12 日本茶の購入意向

- タイでは「ぜひ購入したい」73.7%、「できれば購入したい」15.7%と、約9割が購入に前向き。極めて強い需要がうかがえる。購入意向は全年代で高水準だが、特に25-34歳（ぜひ78.0%）が最も強い。



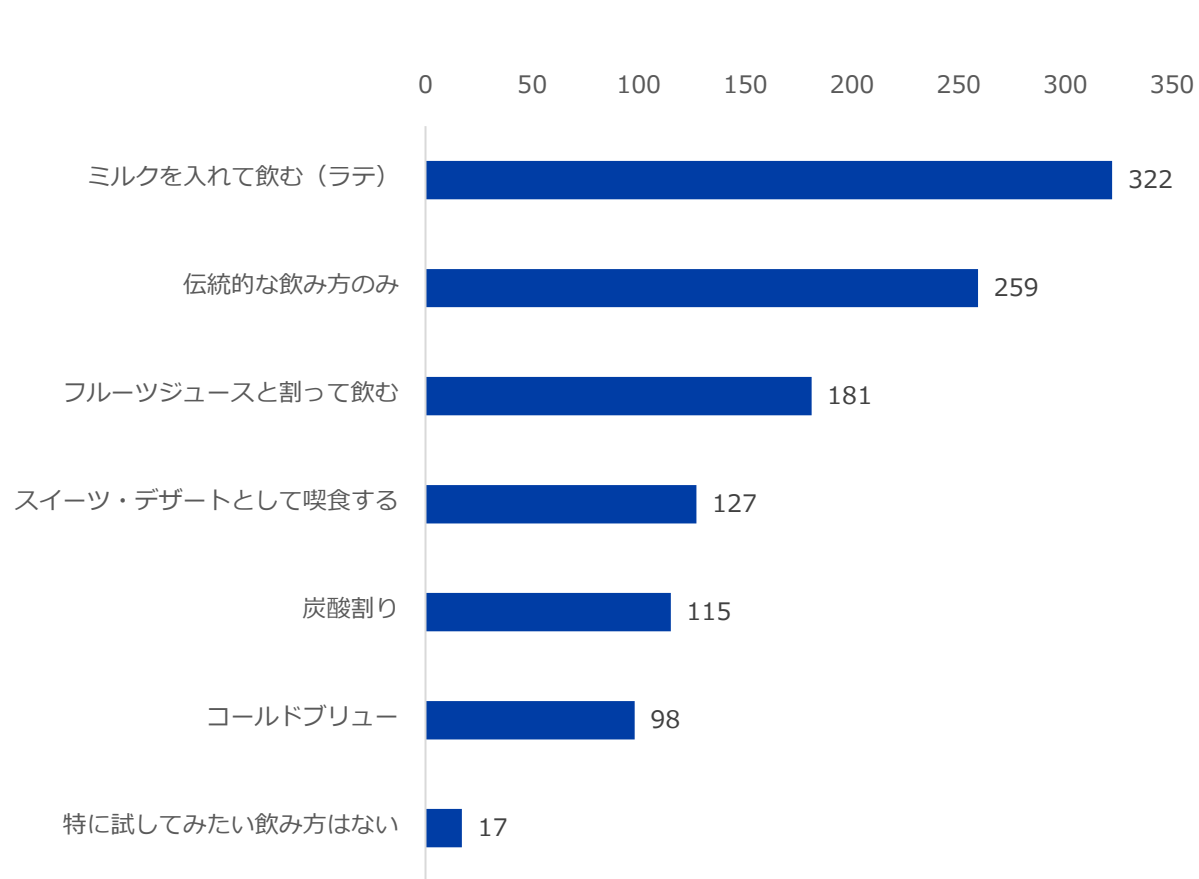
(n=600)

		該当数	ぜひ購入したい	できれば購入したい	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	わからない
全体		600	73.7	15.7	6.3	1.7	1.8	0.8
Q 1	男性	252	74.6	15.5	5.2	1.6	2.4	0.8
	女性	347	73.2	15.9	6.9	1.7	1.4	0.9
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	79	70.9	10.1	12.7	1.3	2.5	2.5
	25-34	209	78.0	18.2	3.8	0.0	0.0	0.0
	35-44	183	71.6	16.9	6.0	2.2	2.7	0.5
	45-54	93	71.0	15.1	5.4	5.4	2.2	1.1
	55以上	36	72.2	8.3	11.1	0.0	5.6	2.8
Q 5 - 1	煎茶	91	82.4	13.2	4.4	0.0	0.0	0.0
	ほうじ茶	38	55.3	31.6	10.5	2.6	0.0	0.0
	玄米茶	17	64.7	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0
	玉露	26	88.5	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	10	80.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	抹茶	360	82.5	13.1	2.2	1.7	0.0	0.6
	飲んだ事がない	7	0.0	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3

今後6か月以内に、日本茶を購入・飲用したいと思いますか。(SA)

13 試してみたい日本茶の飲み方

- 全体では「ミルクを入れて飲む（ラテ）」(53.7%)と最多で、特に女性及び18～34歳で志向が強い。また、全体では「フルーツジュースと割って飲む」(30.2%)も多いため、タイではアレンジ型の飲み方への関心が高い。一方で男性や中高年層の「伝統的な飲み方のみ」の比率が相対的に高く、世代によって志向が明確に分かれている。



		該当数	ミルクを入れて飲む（ラテ）	コールドブリュー	炭酸割り	フルーツジュースと割って飲む	スイーツ・デザートとして喫食する	伝統的な飲み方のみ	特に試してみたい飲み方はない
全体		600	53.7	16.3	19.2	30.2	21.2	43.2	2.8
Q 1	男性	252	47.6	15.9	19.0	28.2	20.6	48.0	2.0
	女性	347	58.2	16.7	19.3	31.7	21.6	39.8	3.2
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q 2	18-24	79	57.0	12.7	13.9	21.5	21.5	32.9	3.8
	25-34	209	60.3	19.6	26.3	32.5	23.9	37.8	1.4
	35-44	183	49.7	15.8	19.7	33.9	20.2	49.7	2.7
	45-54	93	48.4	16.1	10.8	28.0	20.4	45.2	4.3
	55以上	36	41.7	8.3	8.3	22.2	11.1	58.3	5.6
Q 5 - 1	煎茶	91	51.6	20.9	26.4	34.1	25.3	40.7	2.2
	ほうじ茶	38	52.6	28.9	23.7	34.2	21.1	28.9	0.0
	玄米茶	17	58.8	41.2	29.4	47.1	11.8	35.3	0.0
	玉露	26	30.8	19.2	26.9	38.5	11.5	57.7	0.0
	茎茶・くき茶	10	50.0	30.0	40.0	40.0	10.0	40.0	0.0
	抹茶	360	60.0	14.7	16.7	29.4	23.3	45.6	0.6
	飲んだ事が無い	7	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0	28.6	14.3

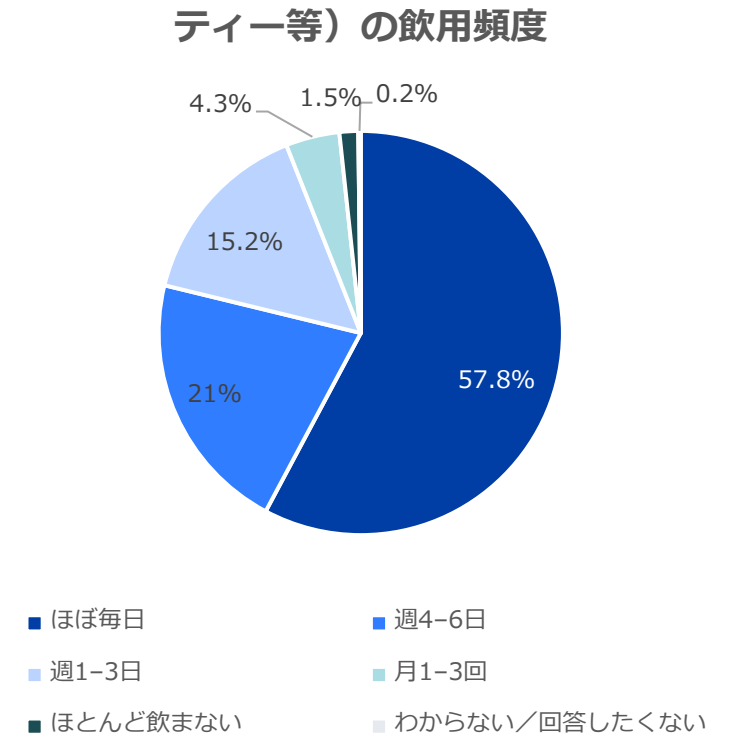
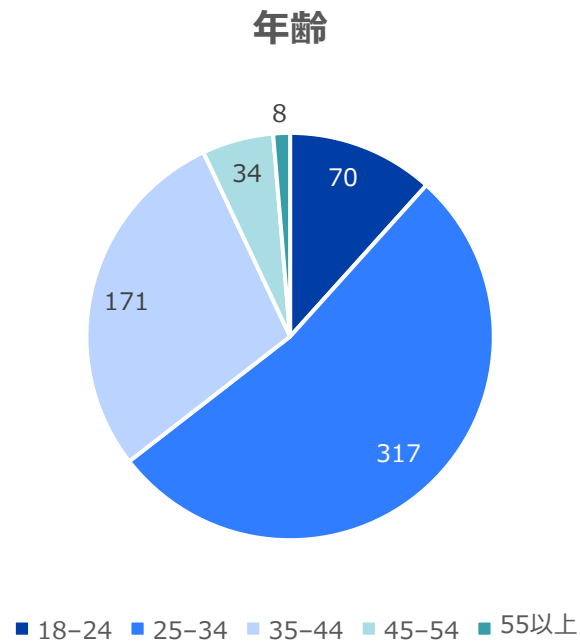
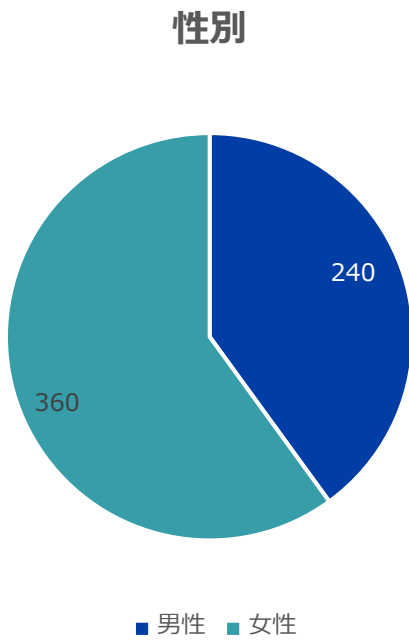
日本茶の飲み方として、今後試してみたいと思うものをお選びください。（複数回答可）

Ⅲ. ベトナム

1~3 属性情報

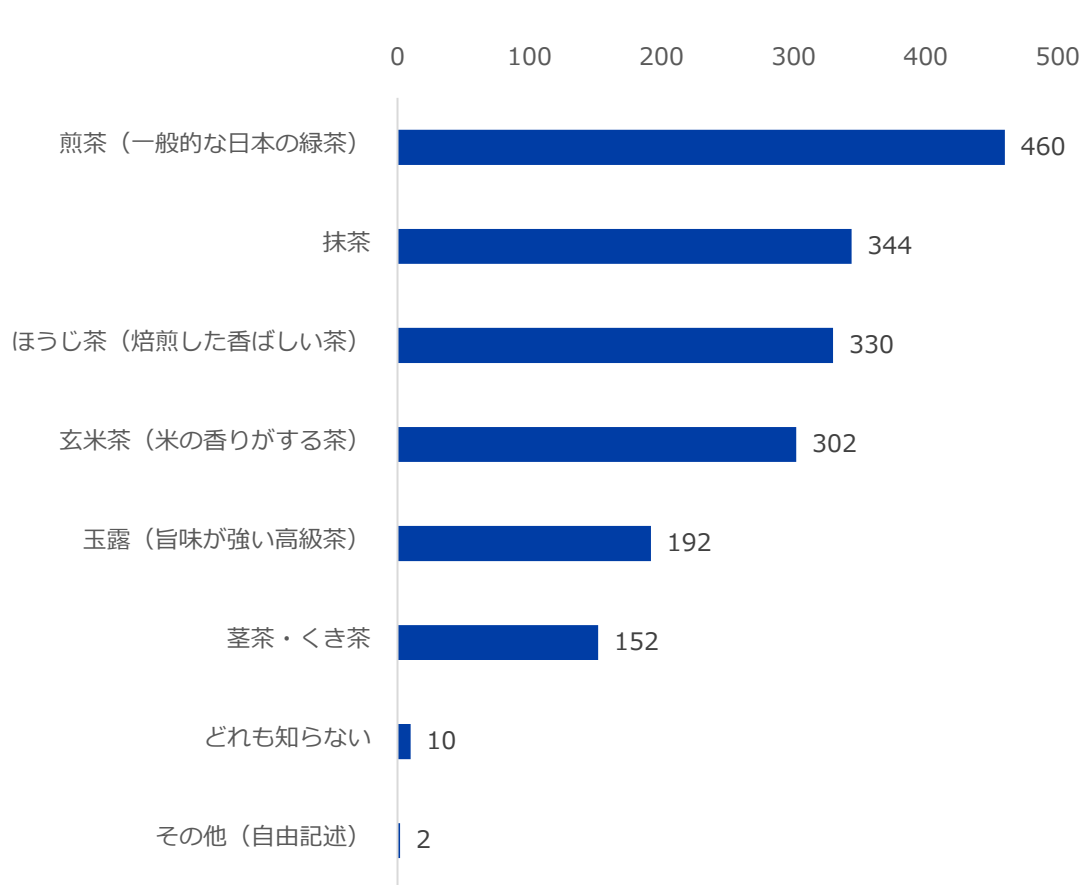
- 茶系飲料の飲用頻度は「ほぼ毎日」約58%、「週4-6日」約21%で、約8割が週4日以上飲用しており、茶が日常的飲料として深く定着していることが確認できる。

茶系飲料（緑茶・紅茶・烏龍茶・ハーブティー等）の飲用頻度 (n=600)



4 日本茶の認知度

- ベトナムにおける日本茶の認知度は「煎茶」が最も高く、次いで「抹茶」「ほうじ茶」「玄米茶」と続き、主要カテゴリーの認知は全体的に高水準にある。特に女性および25-44歳層で各茶種の認知率が高く、若年層では抹茶の認知が相対的に強いなど、属性別に関心の偏りがみられる。



(n=600)

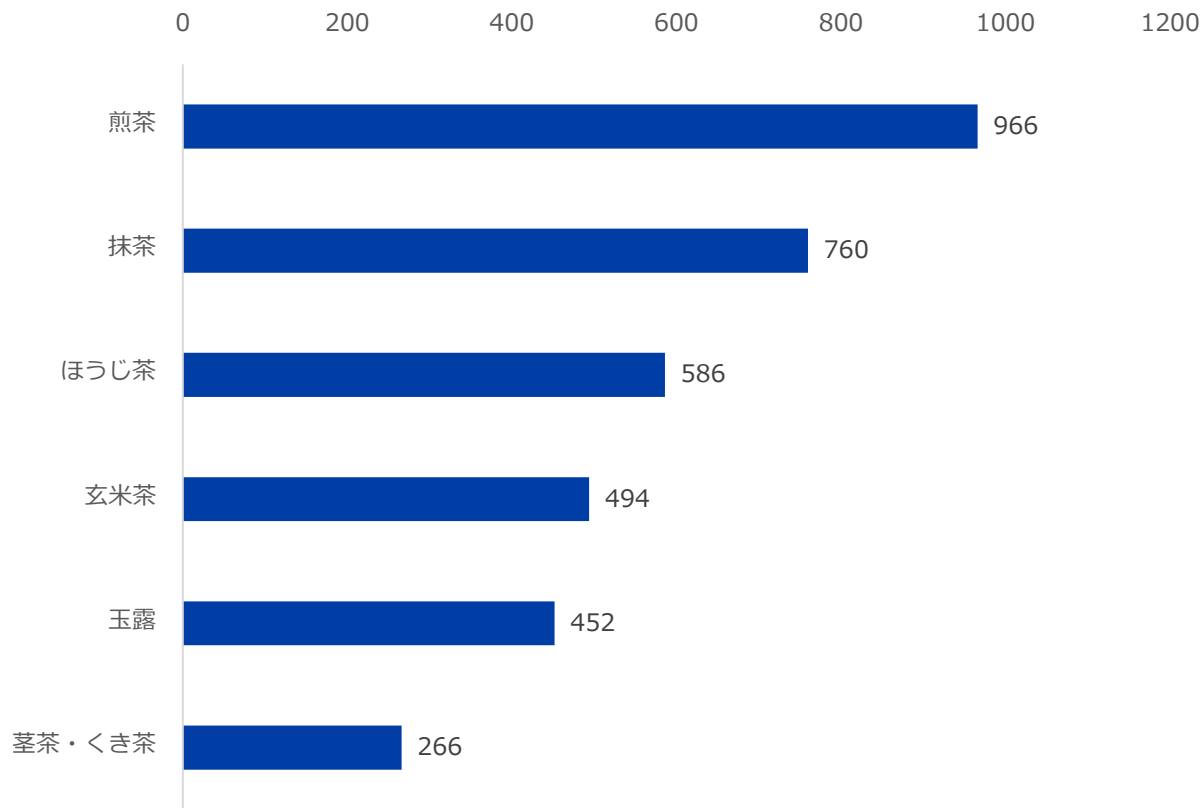
		該当数	煎茶 (一般的な日本の緑茶)	ほうじ茶 (焙煎した香ばしい茶)	玄米茶 (米の香りがする茶)	玉露 (旨味が強い高級茶)	茎茶・くき茶	抹茶	どれも知らない	その他 (自由記述)
全体		600	76.7	55.0	50.3	32.0	25.3	57.3	1.7	0.3
Q1	男性	240	65.8	31.3	32.1	31.3	25.8	73.3	2.9	0.8
	女性	360	83.9	70.8	62.5	32.5	25.0	46.7	0.8	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	70	58.6	27.1	21.4	15.7	12.9	77.1	1.4	1.4
	25-34	317	80.4	65.0	57.1	35.6	29.0	56.2	0.9	0.0
	35-44	171	76.6	52.6	50.9	29.8	21.1	52.0	3.5	0.6
	45-54	34	76.5	41.2	47.1	44.1	32.4	52.9	0.0	0.0
	55以上	8	87.5	12.5	37.5	25.0	50.0	62.5	0.0	0.0
Q5-1	煎茶	214	89.7	61.2	59.8	25.7	19.2	37.9	1.4	0.0
	ほうじ茶	82	81.7	74.4	48.8	25.6	24.4	37.8	1.2	1.2
	玄米茶	53	77.4	56.6	66.0	45.3	37.7	49.1	1.9	0.0
	玉露	49	73.5	61.2	59.2	73.5	44.9	61.2	0.0	2.0
	茎茶・くき茶	24	75.0	58.3	62.5	54.2	50.0	45.8	0.0	0.0
	抹茶	167	61.7	37.7	32.3	25.1	22.2	96.4	0.6	0.0
	飲んだ事がない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

日本茶について、知っているものをお選びください。(複数回答可)

5 飲用頻度が高い日本茶

- 最多は煎茶（36.3%）で、次いで抹茶（28.3%）、ほうじ茶（13.9%）が続き、伝統系茶種が飲用の中心となっている。女性では抹茶（21.2%）より煎茶（38.4%）の比率が高く、若年層では抹茶志向（18-24歳：52.2%）が相対的に強いなど、世代間で嗜好差がみられる。

(n=590)



よく飲むものを1位		該当数	茶種						上記の日本茶は飲んだ事がない/わからない
			煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	
全体		590	36.3	13.9	9.0	8.3	4.1	28.3	0.2
Q 1	男性	231	32.9	9.5	4.3	9.5	3.9	39.4	0.4
	女性	359	38.4	16.7	12.0	7.5	4.2	21.2	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	67	20.9	7.5	7.5	11.9	0.0	52.2	0.0
	25-34	313	39.3	13.7	7.0	7.7	5.1	27.2	0.0
	35-44	168	31.0	17.9	14.9	8.9	3.0	23.8	0.6
	45-54	34	64.7	5.9	0.0	5.9	8.8	14.7	0.0
	55以上	8	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
Q 5 - 1	煎茶	214	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ほうじ茶	82	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玄米茶	53	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉露	49	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	24	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	抹茶	167	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	飲んだ事がない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

日本茶の中から、あなたがよく飲むものを1位～3位まで順位付けしてください。／順位加重スコア

5 飲用頻度が高い日本茶

- 18-24歳では抹茶、45歳以上では煎茶・玉露の比率が相対的に高いなど、世代別の嗜好分化が確認できる。

(n=590)

よく飲むものを2位		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事がない/わからない
全体		590	20.8	22.2	19.5	13.7	9.2	14.4	0.2
Q1	男性	231	27.3	17.7	11.7	14.3	8.2	20.3	0.4
	女性	359	16.7	25.1	24.5	13.4	9.7	10.6	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	67	37.3	16.4	13.4	3.0	6.0	23.9	0.0
	25-34	313	17.9	22.7	26.2	11.5	8.9	12.5	0.3
	35-44	168	20.8	23.8	12.5	19.0	8.9	14.9	0.0
	45-54	34	14.7	23.5	8.8	29.4	11.8	11.8	0.0
	55以上	8	25.0	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0
Q5-1	煎茶	214	0.0	24.8	33.2	15.9	5.6	20.6	0.0
	ほうじ茶	82	18.3	0.0	22.0	30.5	14.6	14.6	0.0
	玄米茶	53	20.8	30.2	0.0	11.3	20.8	17.0	0.0
	玉露	49	20.4	30.6	12.2	0.0	12.2	24.5	0.0
	茎茶・くき茶	24	12.5	20.8	12.5	20.8	0.0	33.3	0.0
	抹茶	167	49.7	25.1	10.2	6.6	7.8	0.0	0.6
	飲んだ事がない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

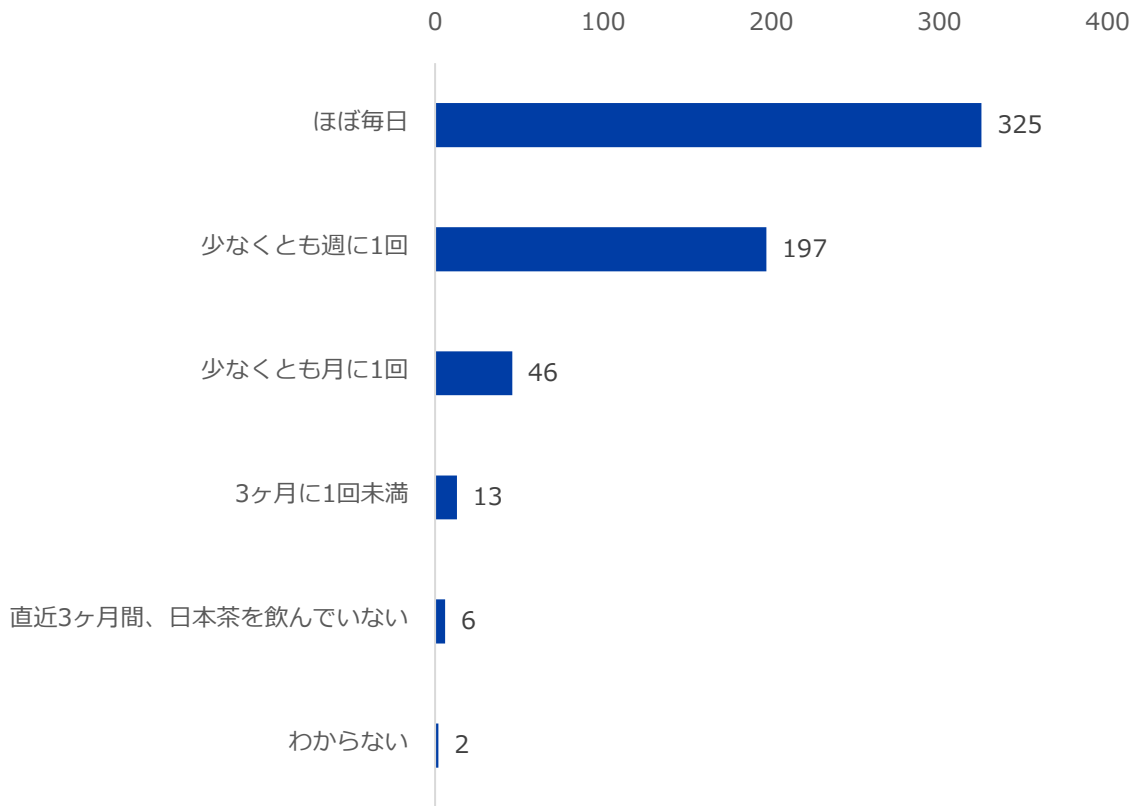
よく飲むものを3位		該当数	煎茶	ほうじ茶	玄米茶	玉露	茎茶・くき茶	抹茶	上記の日本茶は飲んだ事がない/わからない
全体		590	13.2	13.2	17.8	24.2	14.6	15.1	1.9
Q1	男性	231	15.2	18.2	18.6	15.2	17.7	10.8	4.3
	女性	359	12.0	10.0	17.3	30.1	12.5	17.8	0.3
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	67	23.9	26.9	14.9	9.0	14.9	6.0	4.5
	25-34	313	13.4	9.9	16.6	31.0	14.7	13.4	1.0
	35-44	168	8.3	14.9	19.6	18.5	15.5	20.8	2.4
	45-54	34	11.8	11.8	29.4	20.6	5.9	20.6	0.0
	55以上	8	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5
Q5-1	煎茶	214	0.0	8.9	19.2	40.2	16.4	14.0	1.4
	ほうじ茶	82	18.3	0.0	17.1	13.4	18.3	31.7	1.2
	玄米茶	53	20.8	11.3	0.0	18.9	18.9	30.2	0.0
	玉露	49	20.4	22.4	14.3	0.0	20.4	22.4	0.0
	茎茶・くき茶	24	25.0	12.5	20.8	16.7	0.0	25.0	0.0
	抹茶	167	21.6	23.4	22.8	19.2	9.0	0.0	4.2
	飲んだ事がない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

日本茶の中から、あなたがよく飲むものを1位~3位まで順位付けしてください。/順位加重スコア

6 日本茶の飲用頻度

- ベトナムでは「ほぼ毎日」が55.2%と過半を占め、高頻度飲用が定着している市場構造が確認できる。女性（68.0%）および25-34歳（67.4%）で「ほぼ毎日」比率が特に高い一方、45歳以上では「週1回」層が厚く、年代により飲用リズムに差がみられる。

(n=589)

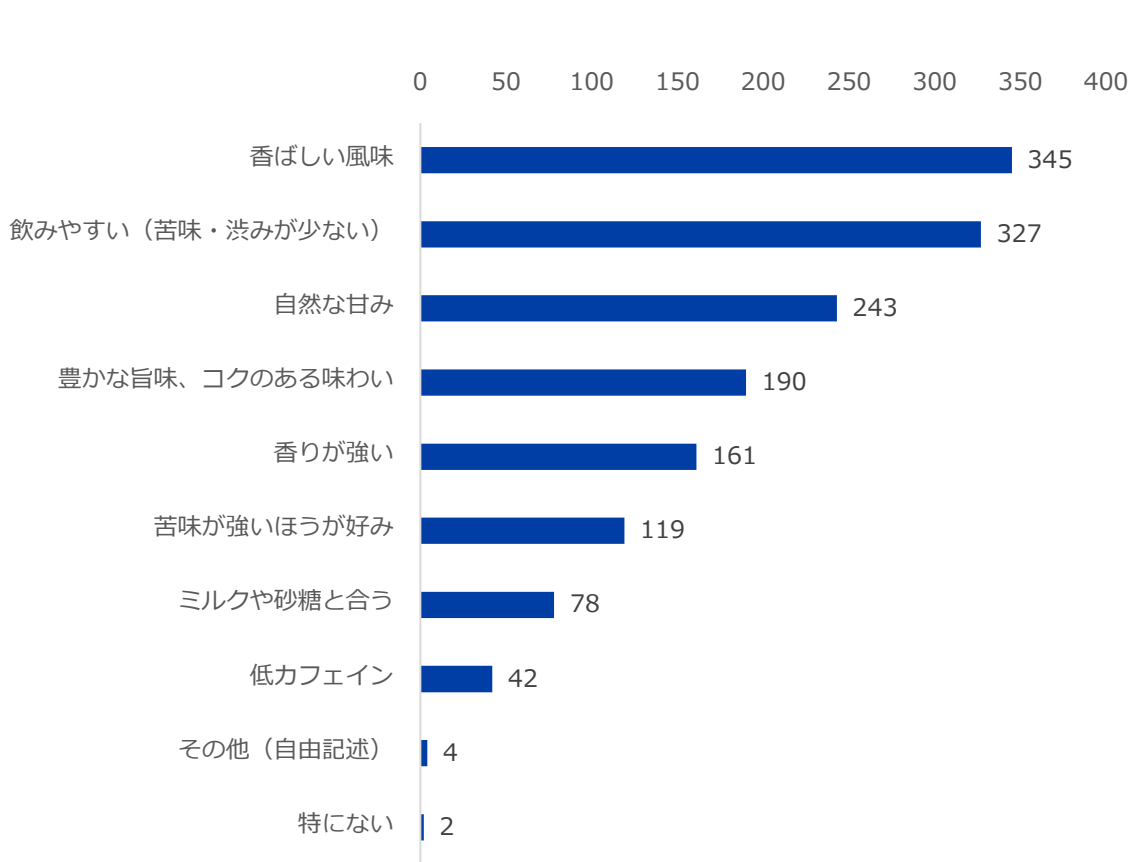


		該当数	ほぼ毎日	少なくとも週に1回	少なくとも月に1回	3ヶ月に1回未満	直近3ヶ月間、日本茶を飲んでいない（未経験を含む）	わからない
全体		589	55.2	33.4	7.8	2.2	1.0	0.3
Q 1	男性	230	35.2	46.5	13.0	3.0	1.3	0.9
	女性	359	68.0	25.1	4.5	1.7	0.8	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	67	22.4	49.3	22.4	3.0	1.5	1.5
	25-34	313	67.4	25.6	4.8	1.6	0.6	0.0
	35-44	167	55.7	32.3	8.4	1.8	1.8	0.0
	45-54	34	14.7	70.6	5.9	5.9	0.0	2.9
	55以上	8	12.5	75.0	0.0	12.5	0.0	0.0
Q 5 - 1	煎茶	214	66.4	27.1	4.2	1.9	0.5	0.0
	ほうじ茶	82	59.8	31.7	4.9	0.0	2.4	1.2
	玄米茶	53	66.0	28.3	3.8	1.9	0.0	0.0
	玉露	49	57.1	32.7	8.2	0.0	2.0	0.0
	茎茶・くき茶	24	58.3	29.2	8.3	0.0	0.0	4.2
	抹茶	167	34.1	44.9	15.0	4.8	1.2	0.0
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を、直近3か月間でどのくらいの頻度で飲んでいただけますか。（SA）

7 好みの日本茶の特徴

- ベトナムでは、日本茶に対して「香ばしい風味」「飲みやすさ（苦味・渋みが少ない）」「自然な甘み」が中核的な評価軸となっており、全体として“マイルドかつ香りを楽しむ”志向が強い。特に女性には「香ばしい風味」への評価が高かった。抹茶では「飲みやすさ」「自然な甘み」への支持が目立つ。



(n=589)

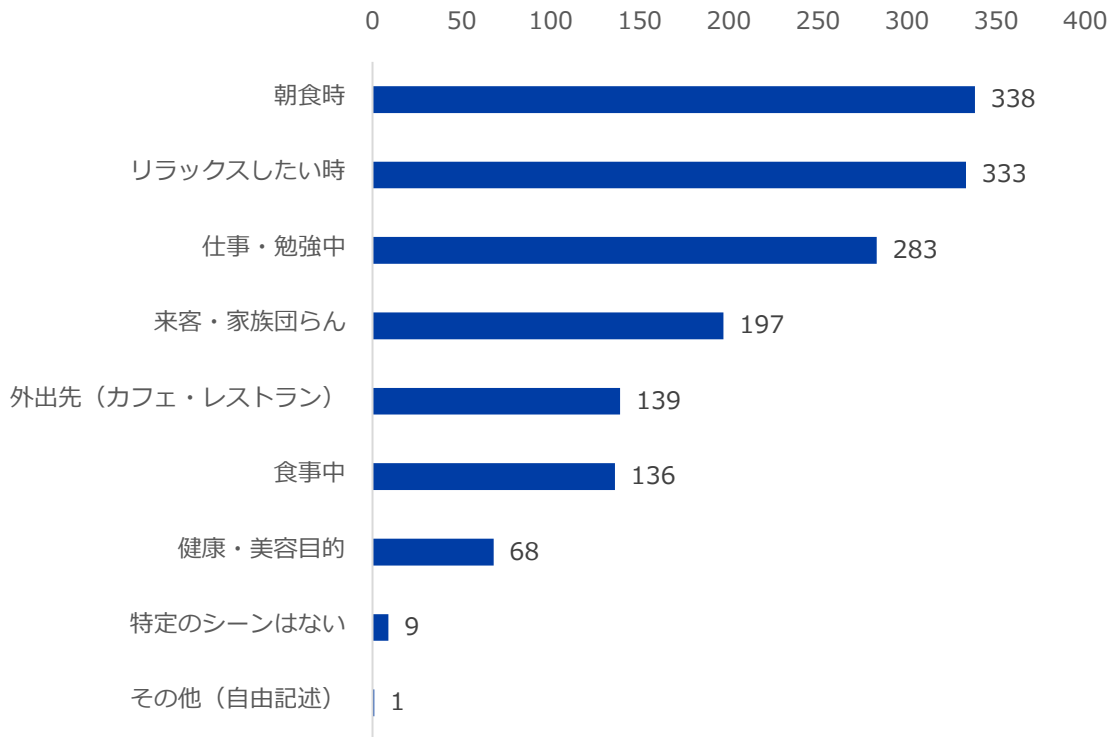
		該当数	香ばしい風味	飲みやすい (苦味・渋みが少ない)	豊かな旨味、コクのある味わい	苦味が強いほうが好み	自然な甘み	香りが強い	ミルクや砂糖と合う	低カフェイン	特にない	その他 (自由記述)
全体		589	58.6	55.5	32.3	20.2	41.3	27.3	13.2	7.1	0.3	0.7
Q1	男性	230	42.2	57.0	28.3	10.4	41.7	39.1	17.0	10.4	0.4	0.9
	女性	359	69.1	54.6	34.8	26.5	40.9	19.8	10.9	5.0	0.3	0.6
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	67	37.3	47.8	22.4	4.5	43.3	35.8	26.9	6.0	3.0	1.5
	25-34	313	63.6	48.9	33.2	28.4	44.7	24.9	13.4	5.4	0.0	0.3
	35-44	167	57.5	70.1	32.9	13.8	34.7	29.9	9.6	12.0	0.0	1.2
	45-54	34	64.7	55.9	41.2	8.8	32.4	20.6	2.9	0.0	0.0	0.0
	55以上	8	37.5	75.0	25.0	12.5	62.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0
Q5-1	煎茶	214	70.1	49.5	32.2	27.6	47.2	20.1	5.1	5.6	0.0	0.5
	ほうじ茶	82	74.4	63.4	32.9	14.6	19.5	19.5	4.9	4.9	0.0	1.2
	玄米茶	53	73.6	69.8	35.8	22.6	30.2	17.0	9.4	7.5	0.0	0.0
	玉露	49	63.3	42.9	46.9	26.5	32.7	28.6	8.2	8.2	2.0	0.0
	茎茶・くき茶	24	70.8	45.8	58.3	29.2	41.7	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0
	抹茶	167	28.1	59.9	22.8	9.6	50.3	46.1	32.3	9.0	0.6	1.2
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その日本茶（1位）をよく飲む理由・好みの茶の特徴として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

8 日本茶の飲用シーン

- ベトナムでは、日本茶は「朝食時」「リラックスしたい時」「仕事・勉強中」が主要な飲用シーンであり、日常生活の中での定常的な飲用習慣が形成されている。特に女性および25-44歳層で朝食・リラックス需要が高く、抹茶はリラックス用途、煎茶は朝食用途での支持が相対的に強いなど、茶種別に飲用シーンの役割分化がみられる。

(n=542)



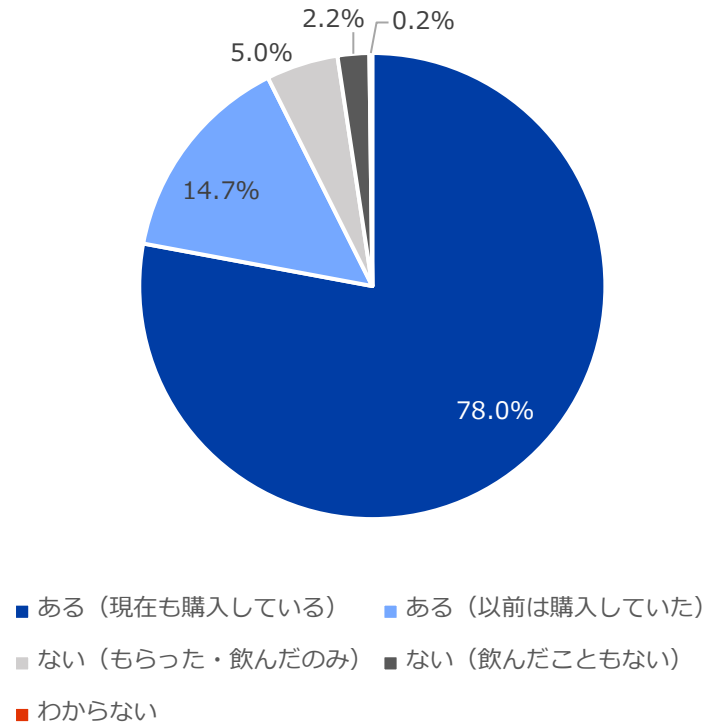
		該当数	朝食時	仕事・勉強中	食事中	リラックスしたい時	来客・家族団らん	外出先（カフェ・レストラン）	健康・美容目的	特定のシーンはない	その他（自由記述）
全体		589	57.4	48.0	23.1	56.5	33.4	23.6	11.5	1.5	0.2
Q 1	男性	230	43.5	44.3	17.4	64.3	33.0	29.6	13.0	1.3	0.4
	女性	359	66.3	50.4	26.7	51.5	33.7	19.8	10.6	1.7	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	67	32.8	50.7	19.4	59.7	16.4	19.4	6.0	0.0	0.0
	25-34	313	63.3	42.8	23.6	60.4	40.3	25.2	12.5	1.3	0.0
	35-44	167	56.3	61.1	26.9	49.7	28.7	21.6	12.0	3.0	0.6
	45-54	34	64.7	26.5	11.8	44.1	23.5	26.5	5.9	0.0	0.0
	55以上	8	25.0	50.0	0.0	75.0	50.0	25.0	37.5	0.0	0.0
Q 5 - 1	煎茶	214	73.4	32.7	17.3	55.1	45.8	15.9	7.5	0.9	0.0
	ほうじ茶	82	62.2	57.3	31.7	34.1	15.9	14.6	8.5	3.7	0.0
	玄米茶	53	56.6	73.6	37.7	39.6	26.4	17.0	11.3	0.0	0.0
	玉露	49	61.2	51.0	38.8	59.2	32.7	20.4	12.2	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	24	70.8	45.8	41.7	54.2	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0
	抹茶	167	31.7	54.5	14.4	74.3	28.7	40.7	19.8	2.4	0.6
	飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

その日本茶（1位）を主にどのような場面で飲んでいきますか。（複数回答可）

9 日本茶の購入経験

- 日本茶の現在購入率は78.0%、累計購入経験率は92.7%と高く、市場浸透は既に進んでいる。女性・中高年層で購入率が特に高い一方、18-24歳や男性では「過去購入」比率が相対的に高く、継続購買に課題がみられる。全体として、日本茶は既存の茶飲用層を中心に定着している構造がうかがえる。

(n=600)



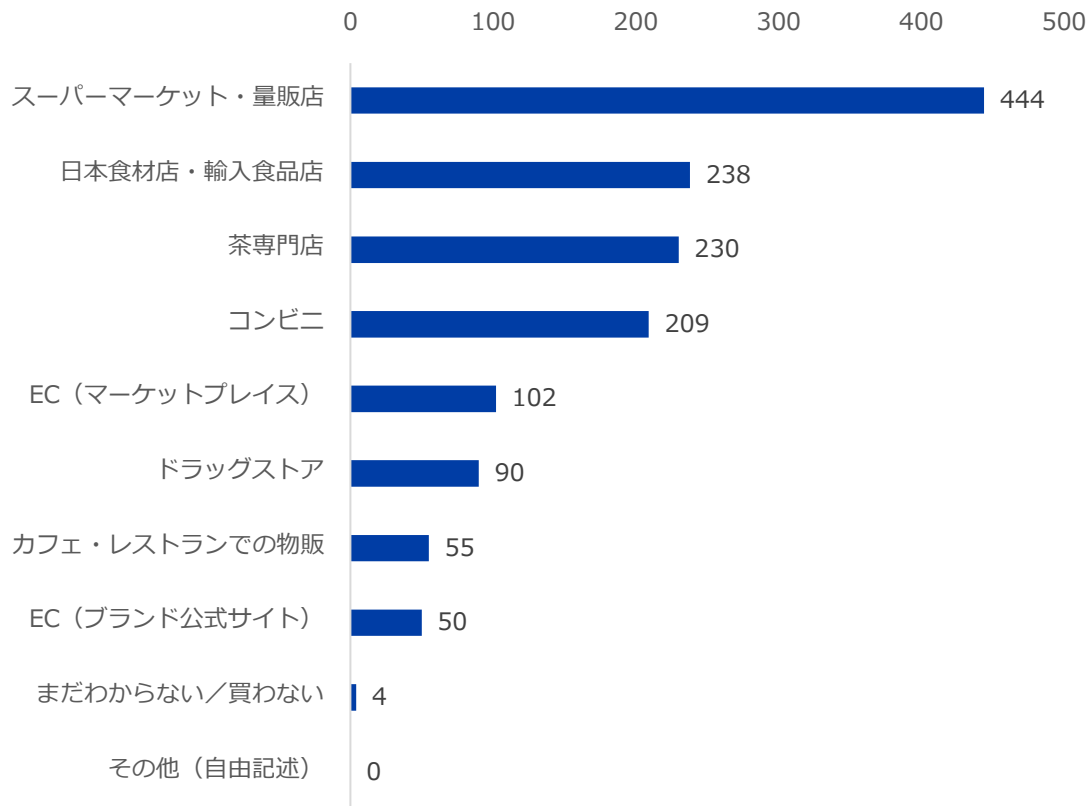
		該当数	ある（現在も購入している）	ある（以前は購入していた）	ない（もらった・飲んだのみ）	ない（飲んだこともない）	わからない
全体		600	78.0	14.7	5.0	2.2	0.2
Q 1	男性	240	67.1	21.7	6.7	4.2	0.4
	女性	360	85.3	10.0	3.9	0.8	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	70	52.9	34.3	10.0	2.9	0.0
	25-34	317	83.3	12.0	3.2	1.3	0.3
	35-44	171	77.2	14.0	5.3	3.5	0.0
	45-54	34	82.4	5.9	8.8	2.9	0.0
	55以上	8	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0
Q 5 - 1	煎茶	214	89.3	7.0	3.7	0.0	0.0
	ほうじ茶	82	74.4	18.3	6.1	1.2	0.0
	玄米茶	53	75.5	17.0	7.5	0.0	0.0
	玉露	49	73.5	20.4	6.1	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	24	62.5	29.2	0.0	8.3	0.0
	抹茶	167	74.9	18.0	4.8	2.4	0.0
	飲んだ事が無い	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

日本茶を自分用に購入したことはありますか。（SA）

10 日本茶の購入場所

- 最多はスーパーマーケット・量販店（75.4%）で、次いで日本食材店（40.4%）、茶専門店（39.0%）、コンビニ（35.5%）が続く、主にオンライン小売が購買の中心となっている。年代別の25-34歳では日本食材店（47.0%）やドラッグストア（24.9%）利用が他の年齢層と比べて相対的に高く、世代ごとにチャネル構成に差がみられる。

(n=589)



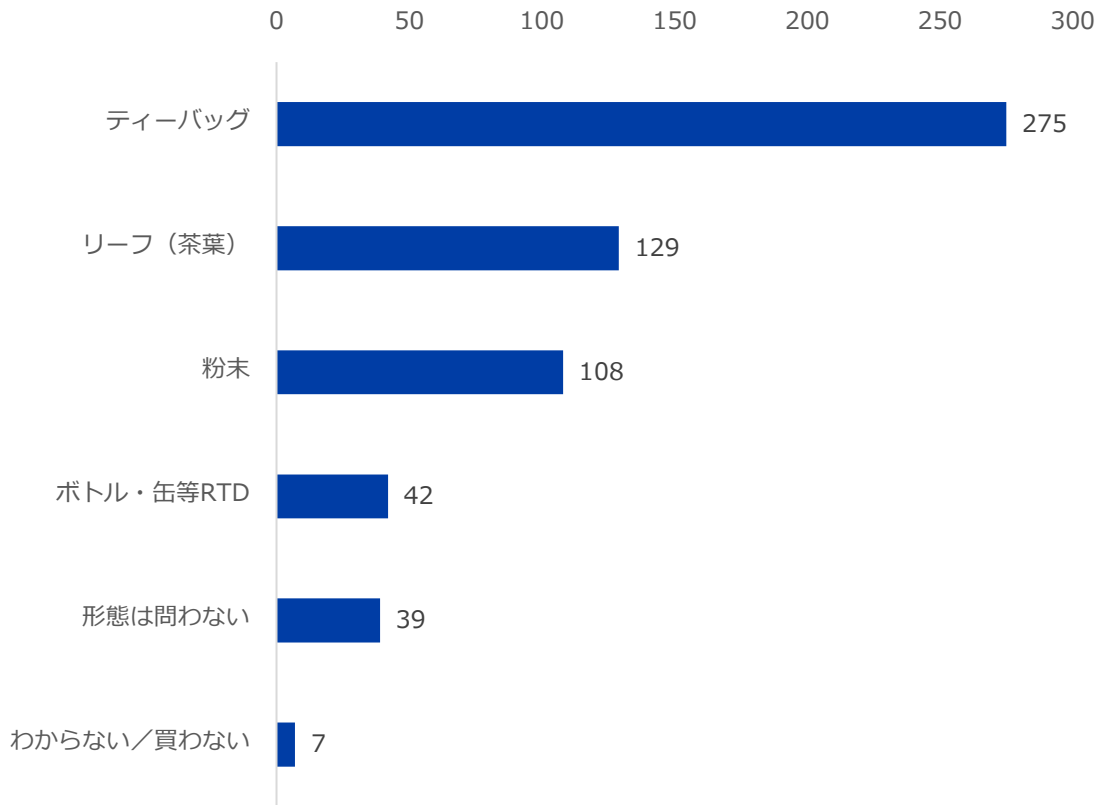
		該当数	スーパーマーケット・量販店	コンビニ	茶専門店	日本食材店・輸入食品店	ドラッグストア	EC（マーケットプレイス）	EC（ブランド公式サイト）	カフェ・レストランでの物販	まだわからない／買わない	その他（自由記述）
全体		589	75.4	35.5	39.0	40.4	15.3	17.3	8.5	9.3	0.7	0.0
Q1	男性	230	66.5	39.1	40.9	33.0	5.7	19.1	10.0	11.3	0.9	0.0
	女性	359	81.1	33.1	37.9	45.1	21.4	16.2	7.5	8.1	0.6	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q2	18-24	67	62.7	37.3	41.8	34.3	1.5	13.4	3.0	6.0	0.0	0.0
	25-34	313	79.9	30.0	37.1	47.0	24.9	18.8	9.3	10.5	0.0	0.0
	35-44	167	71.3	47.3	46.1	34.1	6.6	18.0	9.0	8.4	2.4	0.0
	45-54	34	82.4	23.5	14.7	23.5	0.0	11.8	8.8	5.9	0.0	0.0
	55以上	8	62.5	37.5	50.0	37.5	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0
Q5-1	煎茶	214	80.8	25.7	36.9	43.0	26.6	18.2	5.1	4.2	0.5	0.0
	ほうじ茶	82	76.8	53.7	35.4	28.0	11.0	6.1	7.3	9.8	2.4	0.0
	玄米茶	53	71.7	47.2	56.6	45.3	17.0	11.3	7.5	3.8	0.0	0.0
	玉露	49	77.6	28.6	49.0	53.1	10.2	10.2	10.2	0.0	0.0	0.0
	茎茶・くき茶	24	87.5	54.2	37.5	41.7	25.0	12.5	12.5	4.2	0.0	0.0
	抹茶	167	66.5	34.7	35.3	37.7	2.4	26.3	12.6	21.0	0.6	0.0
飲んだ事が無い	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を購入する場所として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

11 日本茶の希望購入形態

- 最多はティーバッグ（45.8%）で、簡便性志向が市場の主流となっている。若年層では粉末（25.7%）やRTD（17.1%）の比率が他の世代に比べて相対的に高い一方、45-54歳ではリーフ（55.9%）が突出し、世代間で「利便性志向」と「本格志向」に明確な分化がみられる。

(n=600)



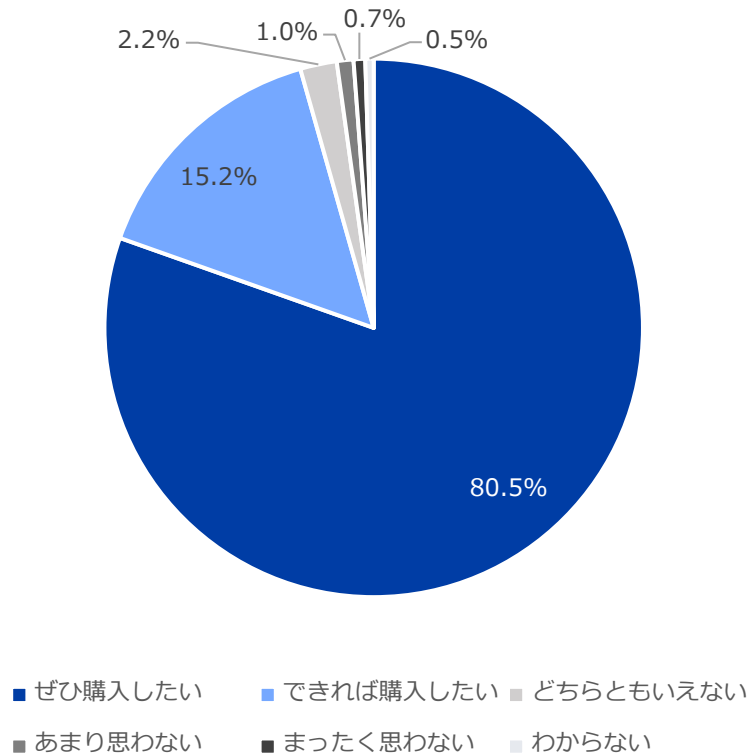
		該当数	ティーバッグ	リーフ (茶葉)	粉末	ボトル・缶等RTD	形態は問わない	わからない/買わない
全体		600	45.8	21.5	18.0	7.0	6.5	1.2
Q 1	男性	240	38.3	22.1	20.0	10.0	6.7	2.9
	女性	360	50.8	21.1	16.7	5.0	6.4	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	70	31.4	17.1	25.7	17.1	7.1	1.4
	25-34	317	54.6	15.5	18.3	5.0	6.0	0.6
	35-44	171	38.0	28.1	17.5	6.4	8.2	1.8
	45-54	34	23.5	55.9	5.9	8.8	2.9	2.9
	55以上	8	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 5 - 1	煎茶	214	62.6	19.6	8.4	3.7	5.6	0.0
	ほうじ茶	82	50.0	29.3	9.8	6.1	4.9	0.0
	玄米茶	53	43.4	28.3	13.2	9.4	5.7	0.0
	玉露	49	28.6	42.9	20.4	2.0	6.1	0.0
	茎茶・くき茶	24	37.5	41.7	8.3	4.2	4.2	4.2
	抹茶	167	31.1	9.0	37.7	12.6	9.0	0.6
	飲んだ事がない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

日本茶を購入する場合、最も好ましい形態をお選びください。(SA)

12 日本茶の購入意向

- 「ぜひ購入したい」が80.5%と圧倒的多数を占め、「できれば購入したい」（15.2%）を含めると購入意向は95.7%に達し、将来需要は極めて高水準である。女性（87.2%）や25-34歳（86.8%）で特に積極的な意向が強い一方、18-24歳や55歳以上では「できれば」の比率が相対的に高く、強い購買意向への転換余地が残されている。

(n=600)



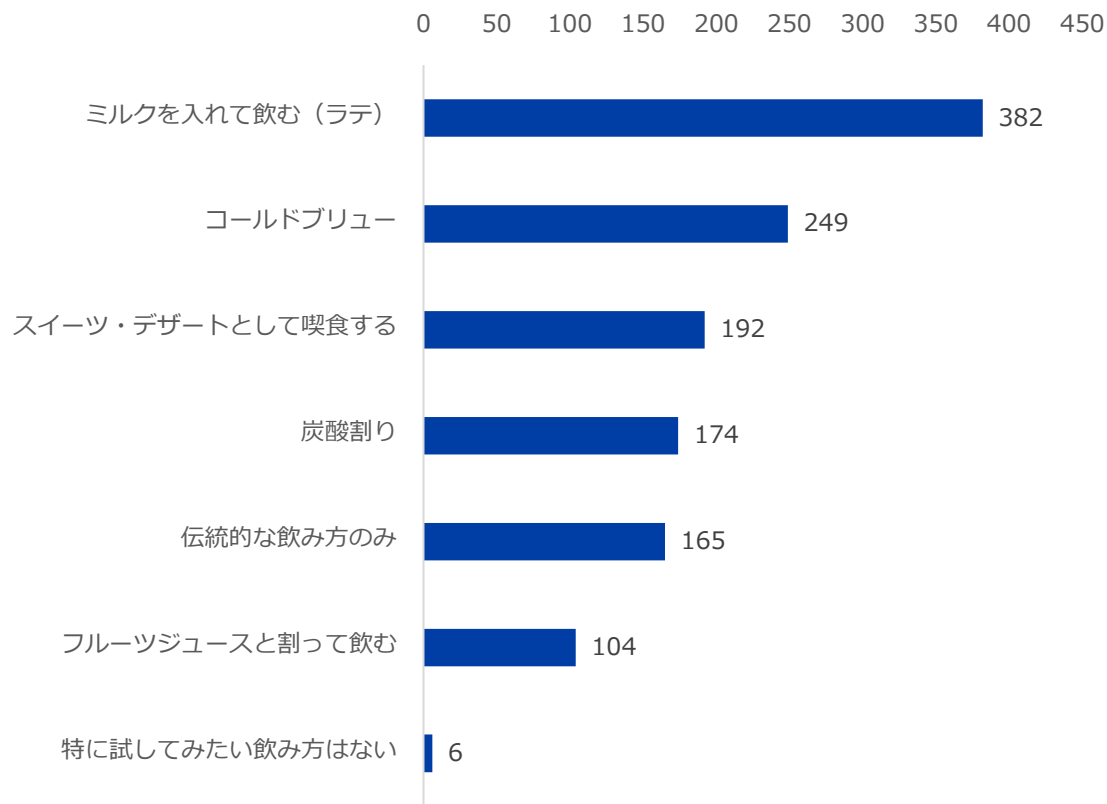
		該当数	ぜひ購入したい	できれば購入したい	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	わからない
全体		600	80.5	15.2	2.2	1.0	0.7	0.5
Q 1	男性	240	70.4	21.7	3.8	1.7	1.3	1.3
	女性	360	87.2	10.8	1.1	0.6	0.3	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	70	61.4	34.3	1.4	0.0	2.9	0.0
	25-34	317	86.8	10.1	1.3	0.9	0.0	0.9
	35-44	171	79.5	14.0	4.1	1.2	1.2	0.0
	45-54	34	70.6	23.5	2.9	2.9	0.0	0.0
	55以上	8	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 5 - 1	煎茶	214	86.9	10.7	1.9	0.5	0.0	0.0
	ほうじ茶	82	79.3	17.1	2.4	1.2	0.0	0.0
	玄米茶	53	83.0	13.2	0.0	3.8	0.0	0.0
	玉露	49	79.6	18.4	2.0	0.0	0.0	0.0
	茎茶・uki茶	24	79.2	8.3	4.2	4.2	4.2	0.0
	抹茶	167	76.6	20.4	1.2	0.6	0.6	0.6
	飲んだ事がない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

今後6か月以内に、日本茶を購入・飲用したいと思いますか。(SA)

13 試してみたい日本茶の飲み方

- 最多は「ミルクを入れて飲む（ラテ）」（63.7%）で、次いでコールドブリュー（41.5%）、スイーツ・デザートとして（32.0%）が続き、日本茶の“アレンジ需要”が強い。特に女性（ラテ74.2%、炭酸割39.7%）や若年層で多様な飲み方志向が高い一方、55歳以上では「伝統的な飲み方のみ」（62.5%）が突出し、世代間で革新志向と伝統志向の明確な分化がみられる。

(n=600)



		該当数	ミルクを入れて飲む（ラテ）	コールドブリュー	炭酸割り	フルーツジュースと割って飲む	スイーツ・デザートとして喫食する	伝統的な飲み方のみ	特に試してみたい飲み方はない
全体		600	63.7	41.5	29.0	17.3	32.0	27.5	1.0
Q 1	男性	240	47.9	28.8	12.9	19.6	28.3	35.4	2.5
	女性	360	74.2	50.0	39.7	15.8	34.4	22.2	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q 2	18-24	70	71.4	31.4	4.3	14.3	32.9	20.0	1.4
	25-34	317	71.9	38.5	38.5	19.2	38.2	23.3	0.9
	35-44	171	56.7	57.3	27.5	17.5	25.1	27.5	1.2
	45-54	34	14.7	14.7	5.9	8.8	8.8	73.5	0.0
	55以上	8	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	62.5	0.0
Q 5 - 1	煎茶	214	63.6	34.6	41.1	9.8	32.7	29.9	0.0
	ほうじ茶	82	70.7	64.6	26.8	11.0	22.0	15.9	0.0
	玄米茶	53	66.0	62.3	41.5	28.3	20.8	22.6	0.0
	玉露	49	57.1	40.8	30.6	26.5	26.5	36.7	0.0
	茎茶・くき茶	24	66.7	45.8	29.2	41.7	29.2	20.8	0.0
	抹茶	167	64.1	34.1	12.0	21.0	43.1	29.9	1.2
	飲んだ事がない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

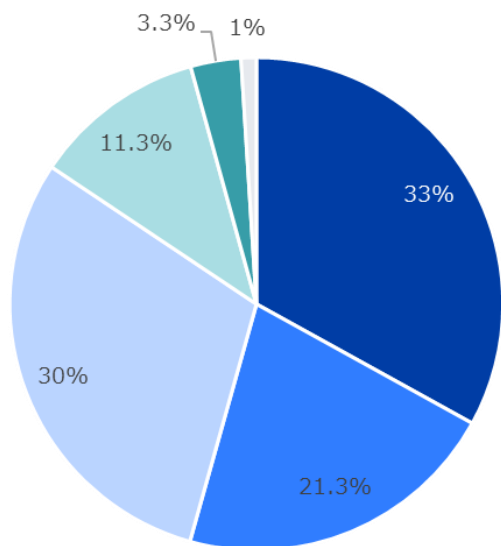
日本茶の飲み方として、今後試してみたいと思うものをお選びください。（複数回答可）

IV. 3か国比較

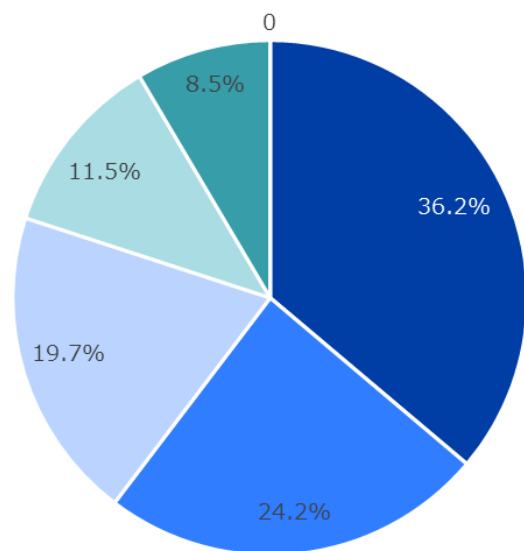
1~3 茶系飲料（緑茶・紅茶・烏龍茶・ハーブティー等）の飲用頻度

- 3か国ともに茶系飲料は広く定着しているが、特にベトナムでは「ほぼ毎日」が約6割に達し、他国と比較しても日常的な飲用習慣が極めて強いことが確認できる。

シンガポール

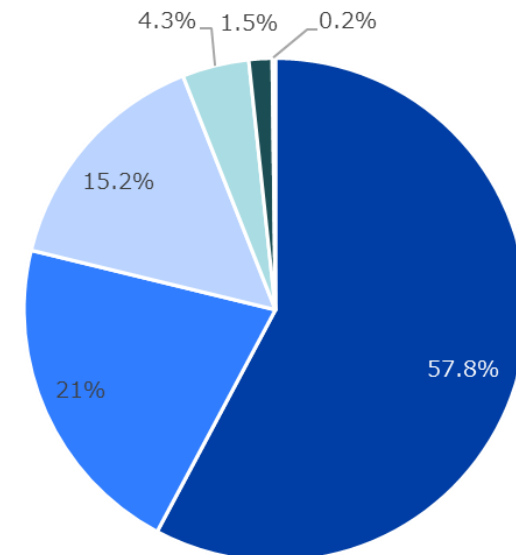


タイ



ベトナム

(n=600)



- ほぼ毎日
- 週4-6日
- 週1-3日
- 月1-3回
- ほとんど飲まない
- わからない/回答したくない

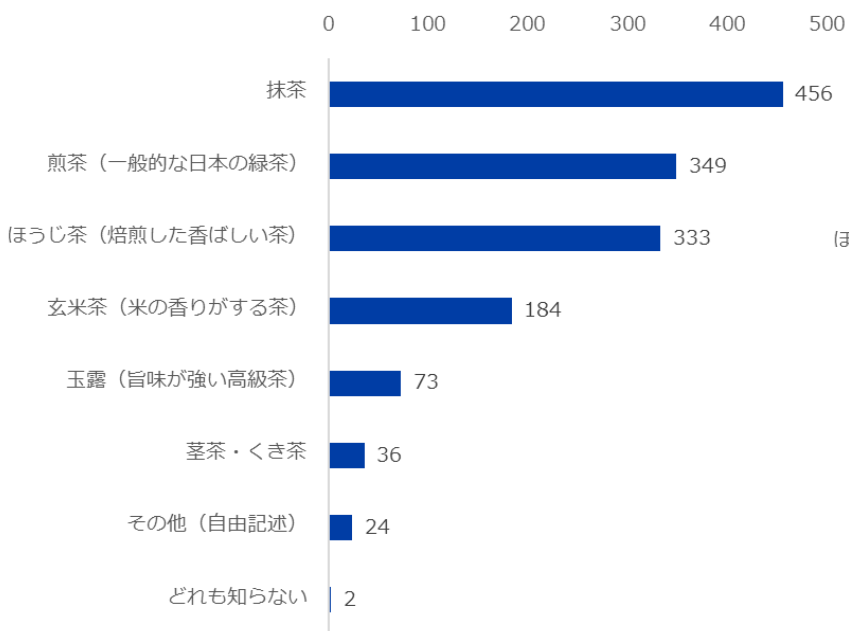
- ほぼ毎日
- 週4-6日
- 週1-3日
- 月1-3回
- ほとんど飲まない
- わからない/回答したくない

- ほぼ毎日
- 週4-6日
- 週1-3日
- 月1-3回
- ほとんど飲まない
- わからない/回答したくない

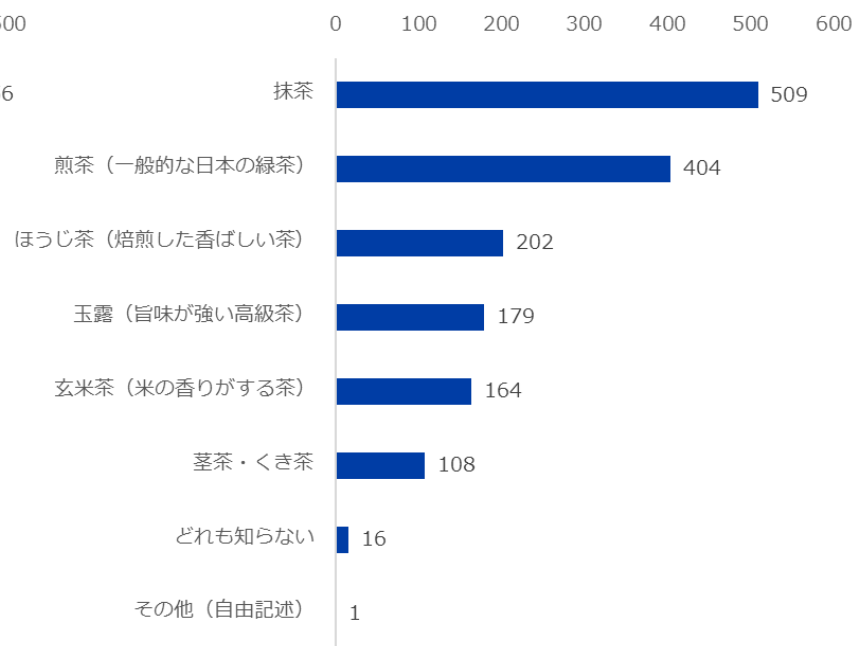
4 日本茶の認知度

- 認知トップはシンガポール・タイの「抹茶」に対し、ベトナムは「煎茶」と傾向が分かれる。特にベトナムは玄米茶なども含め全体的に認知度が高く、幅広い茶種が浸透している。

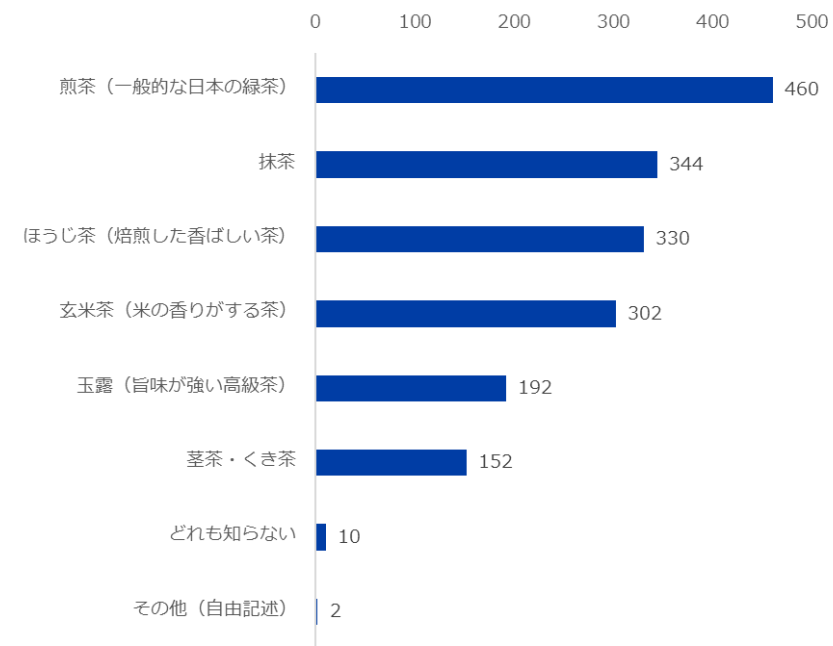
シンガポール



タイ



ベトナム

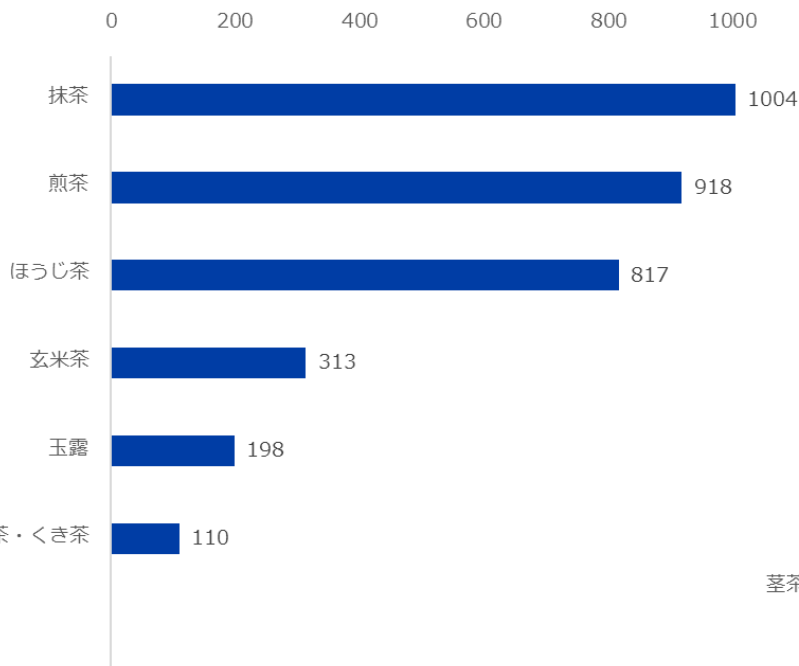


日本茶について、知っているものをお選びください。（複数回答可）

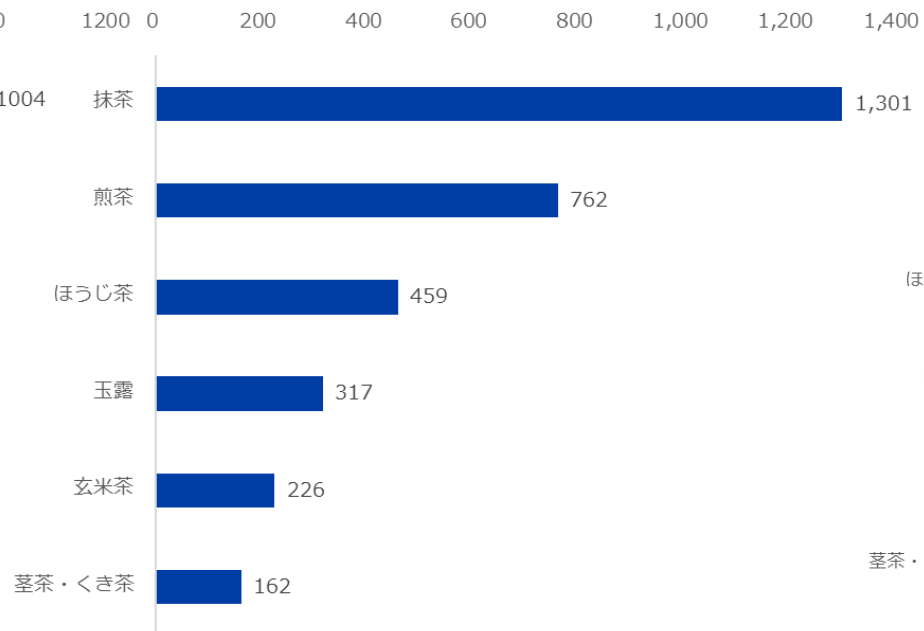
5 飲用頻度が高い日本茶

- タイにおける「抹茶」の圧倒的一強、シンガポールにおける「抹茶・煎茶」の拮抗、そしてベトナムにおける「煎茶」選好と、各国の飲用スタイルに明確な違いが表れている。

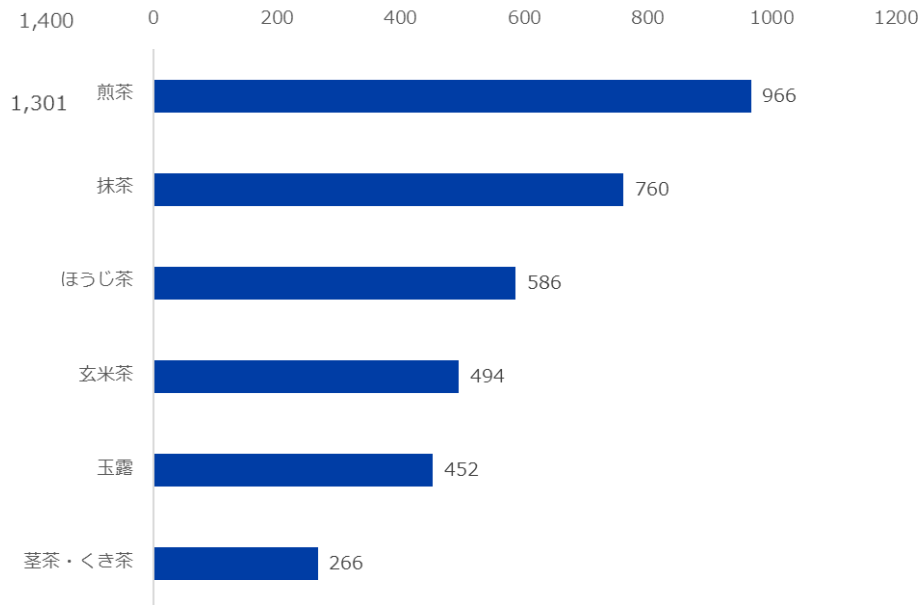
シンガポール



タイ



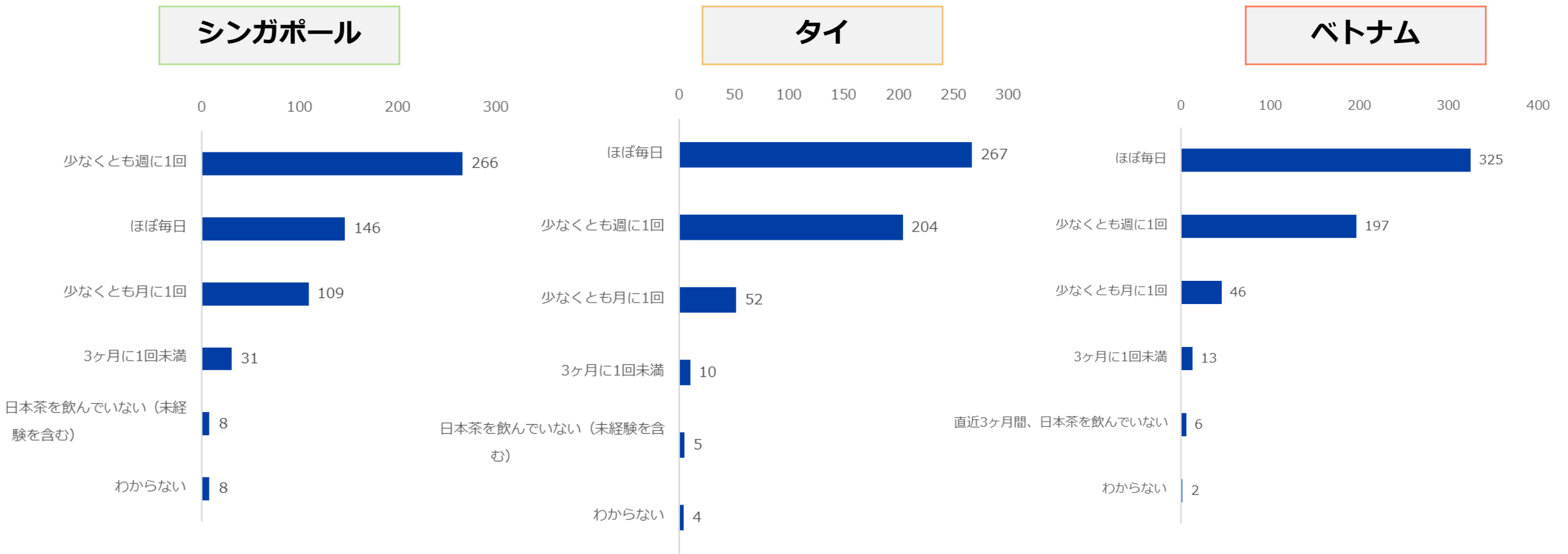
ベトナム



日本茶の中から、あなたがよく飲むものを1位～3位まで順位付けしてください。／順位加重スコア

6 日本茶の飲用頻度

- ベトナム・タイでは「ほぼ毎日」が最も多く、日本茶が日常的な飲料として深く浸透している一方、シンガポールでは「週1回以上」が主流であり、飲用習慣の定着度に濃淡が見られる。

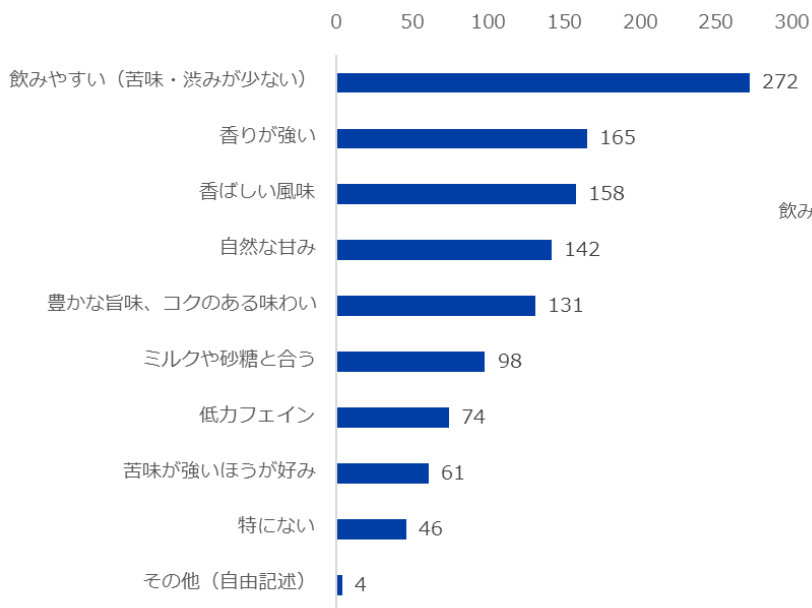


あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を、直近3か月間でどのくらいの頻度で飲んでいますか。（SA）

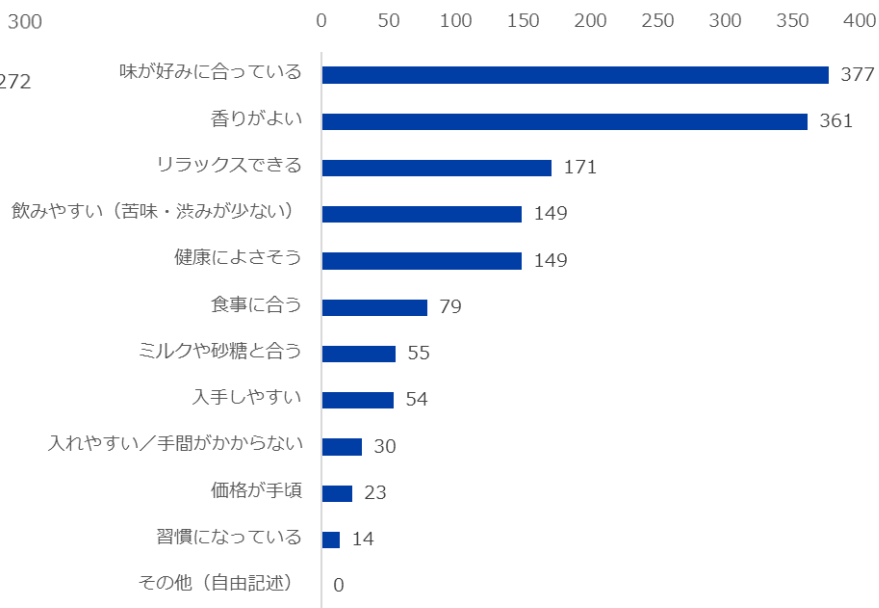
7 | 好みの日本茶の特徴

- 日本茶に求める特徴として、ベトナムでは「香ばしい風味」、シンガポールでは「飲みやすさ（低苦渋味）」、タイでは「香り・味の好み」が最重視されており、各国で異なる味覚のツボ（嗜好性）が存在する。

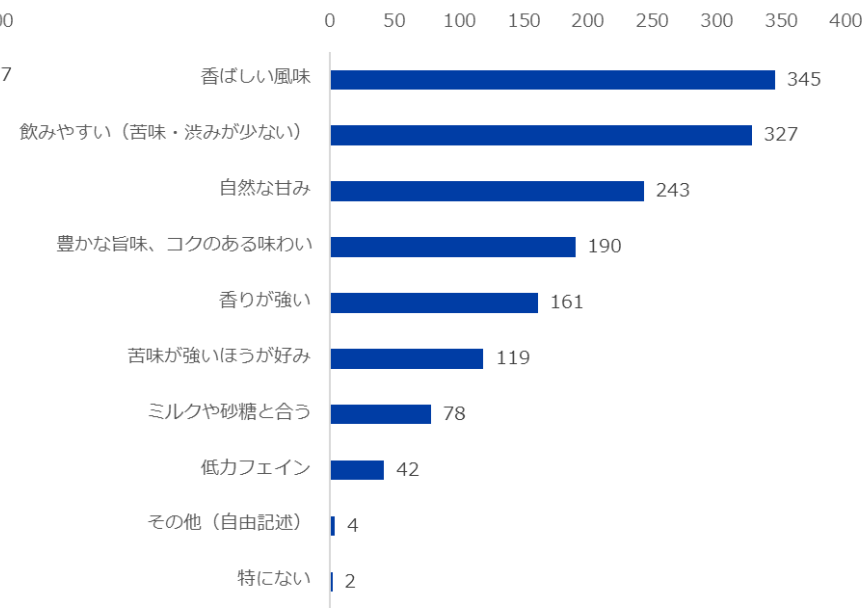
シンガポール



タイ



ベトナム



その日本茶（1位）をよく飲む理由・好みの茶の特徴として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

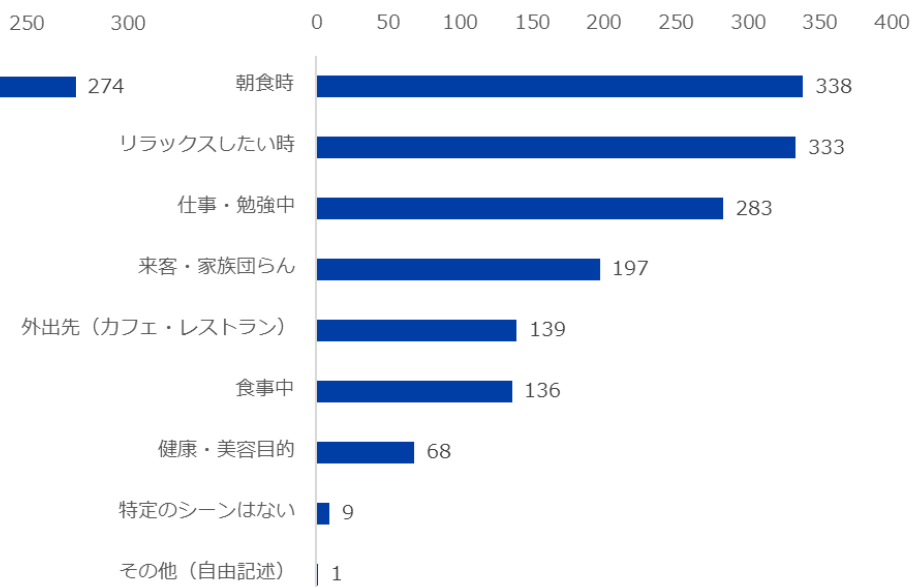
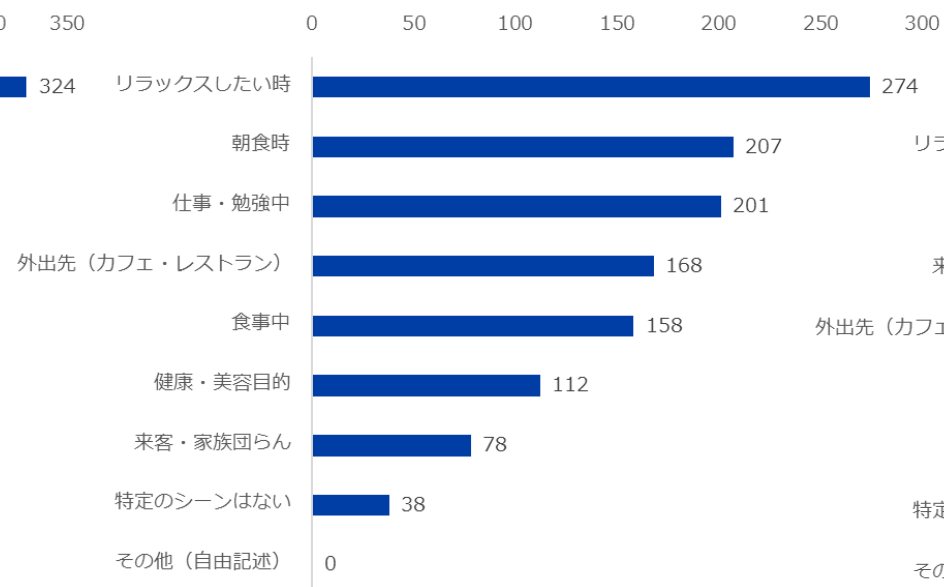
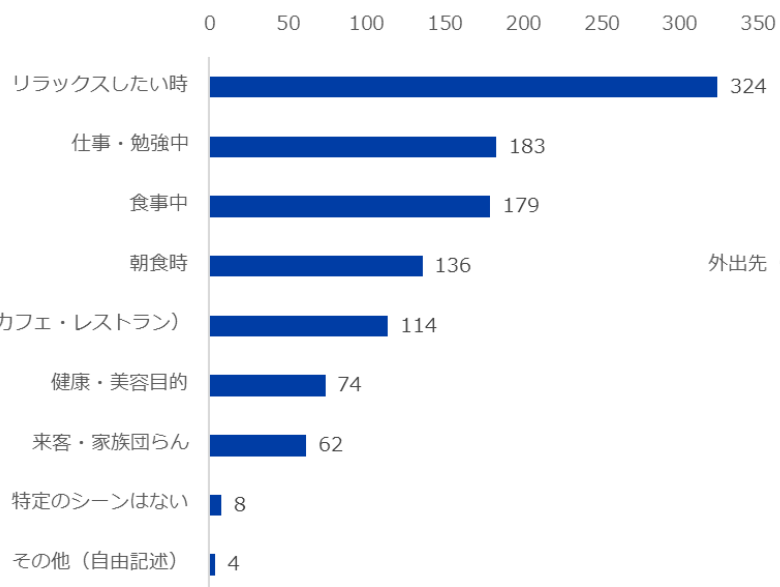
8 日本茶の飲用シーン

- シンガポール・タイでは「リラックスしたい時」が主な飲用シーンであるのに対し、ベトナムでは「朝食時」の飲用が最も多く、朝の定番飲料としての地位を確立している。

シンガポール

タイ

ベトナム

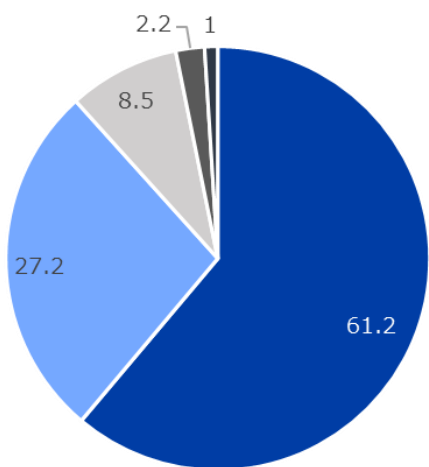


その日本茶（1位）を主にどのような場面で飲んでいますか。（複数回答可）

9 日本茶の購入経験

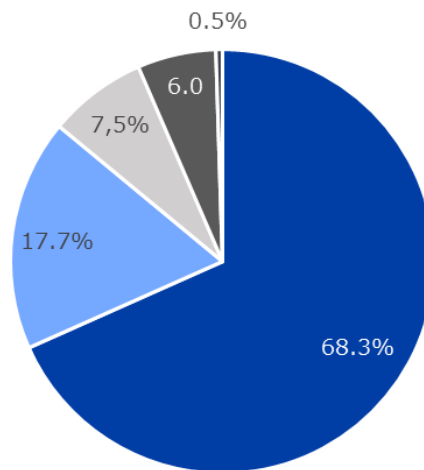
- 3か国ともに高い購入経験率を誇るが、特にベトナムでは約8割が「現在も購入している」と回答し、継続的な消費が最も定着している市場といえる。

シンガポール



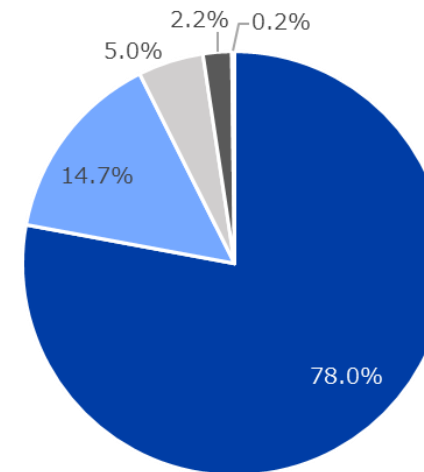
- ある（現在も購入している）
- ある（以前は購入していた）
- ない（もらった・飲んだのみ）
- ない（飲んだこともない）
- わからない

タイ



- ある（現在も購入している）
- ある（以前は購入していた）
- ない（もらった・飲んだのみ）
- ない（飲んだこともない）
- わからない

ベトナム

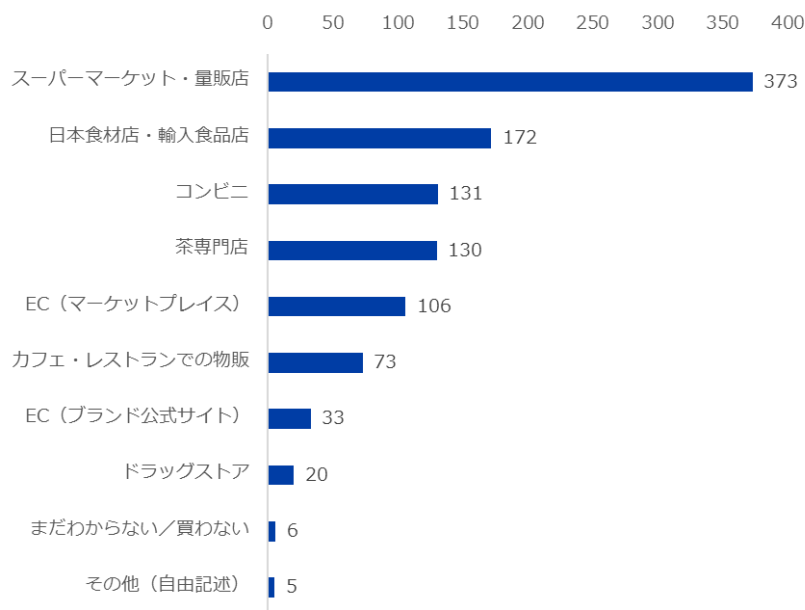


- ある（現在も購入している）
- ある（以前は購入していた）
- ない（もらった・飲んだのみ）
- ない（飲んだこともない）
- わからない

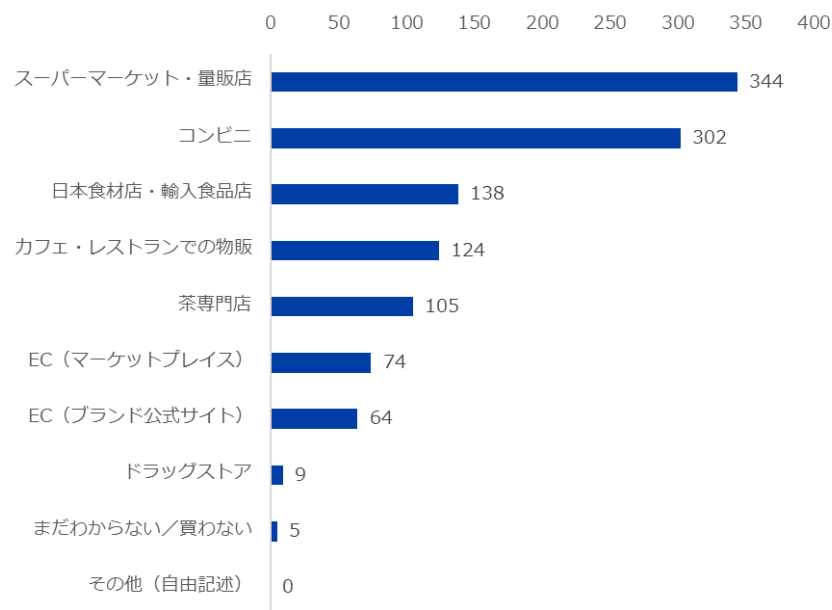
10 日本茶の購入場所

- 主要な購入先は全地域で「スーパーマーケット」だが、タイでは「コンビニエンスストア」、ベトナムでは「茶専門店」の利用率が相対的に高く、各国特有の購買行動が見られる。

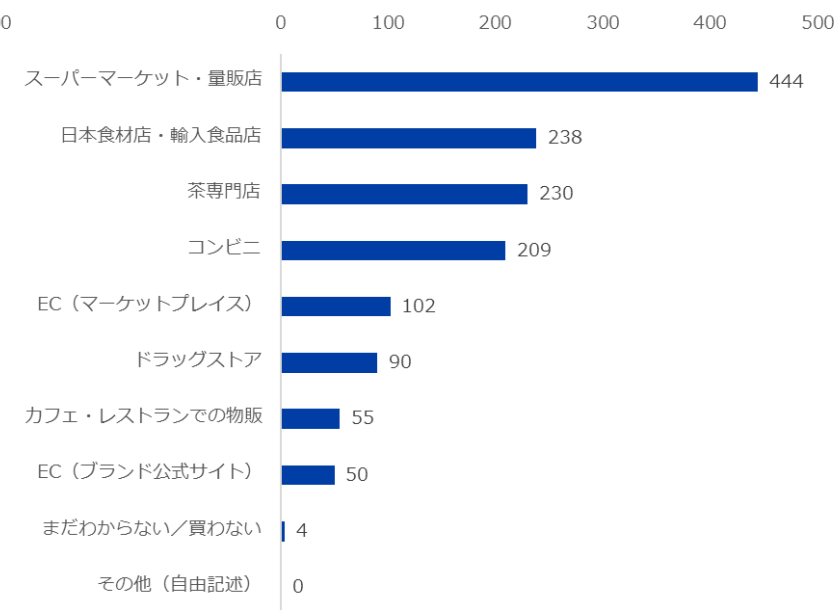
シンガポール



タイ



ベトナム

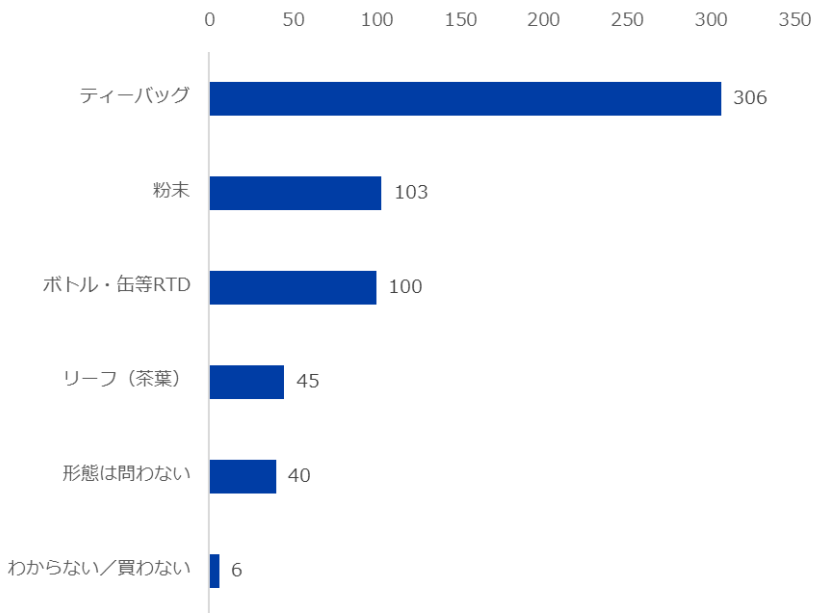


あなたが最もよく飲むと回答した日本茶（1位）を購入する場所として当てはまるものをお選びください。（最大3つまで）

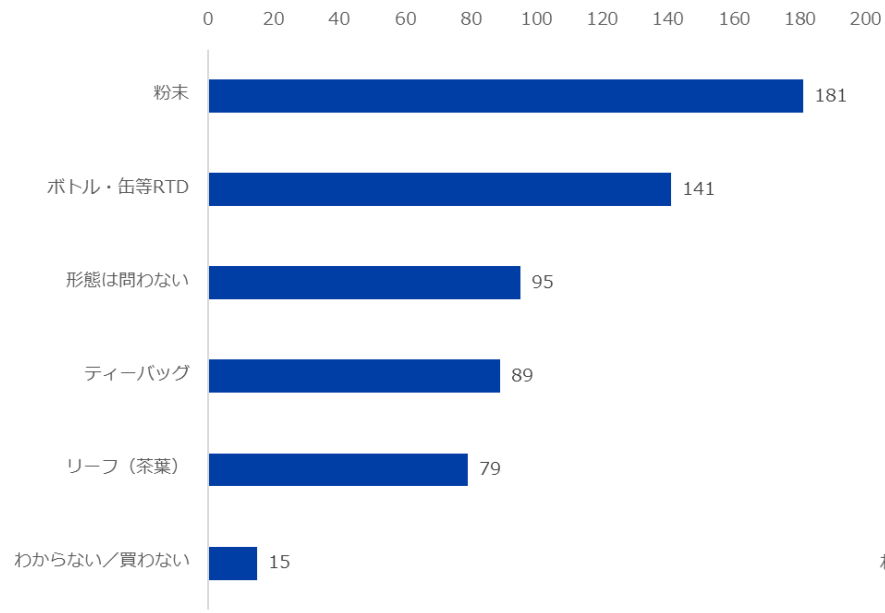
11 日本茶の希望購入形態

- シンガポール・ベトナムは「ティーバッグ」中心で利便性を重視。ベトナムではリーフ志向も目立つ。タイは「粉末」「RTD」志向が高く、国ごとに主流の購入形態が明確に異なる。タイは購入形態の分散傾向がみられる。

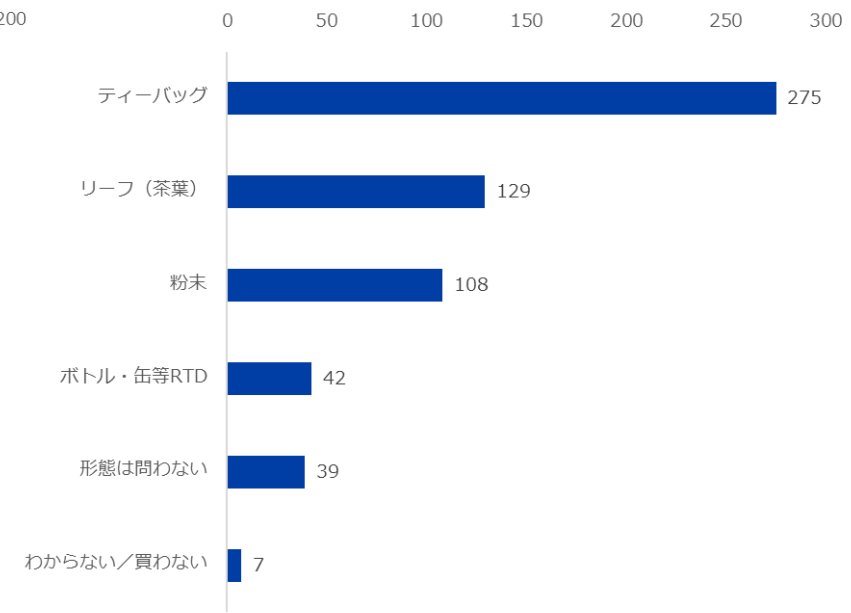
シンガポール



タイ



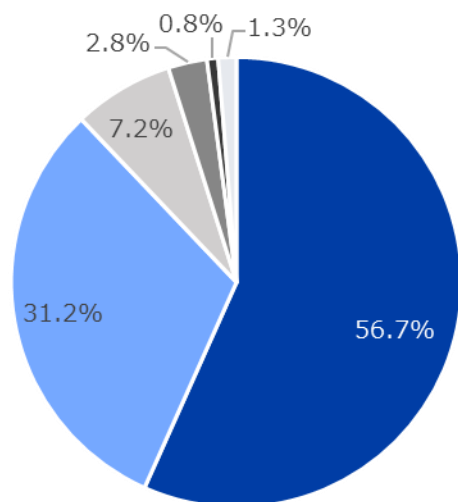
ベトナム



12 日本茶の購入意向

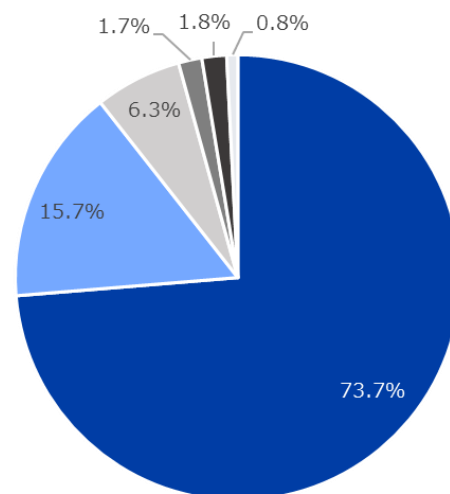
- 3か国とも購入意向は高水準だが、特にベトナム（80.5%）とタイ（73.7%）で「ぜひ購入したい」が突出して高い。シンガポールは「ぜひ」56.7%に加え「できれば」も31.2%と、強い関心層の厚みが特徴である。

シンガポール



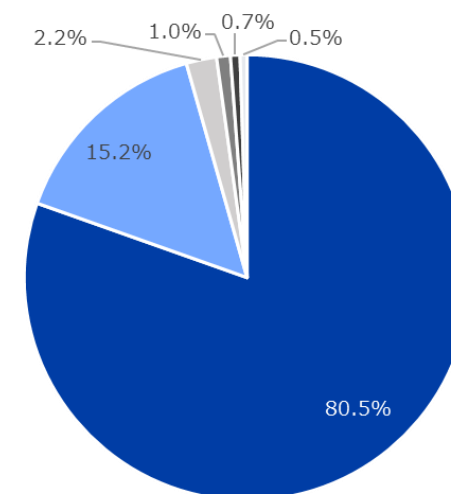
■ ぜひ購入したい ■ できれば購入したい ■ どちらともいえない
■ あまり思わない ■ まったく思わない ■ わからない

タイ



■ ぜひ購入したい ■ できれば購入したい ■ どちらともいえない
■ あまり思わない ■ まったく思わない ■ わからない

ベトナム



■ ぜひ購入したい ■ できれば購入したい ■ どちらともいえない
■ あまり思わない ■ まったく思わない ■ わからない

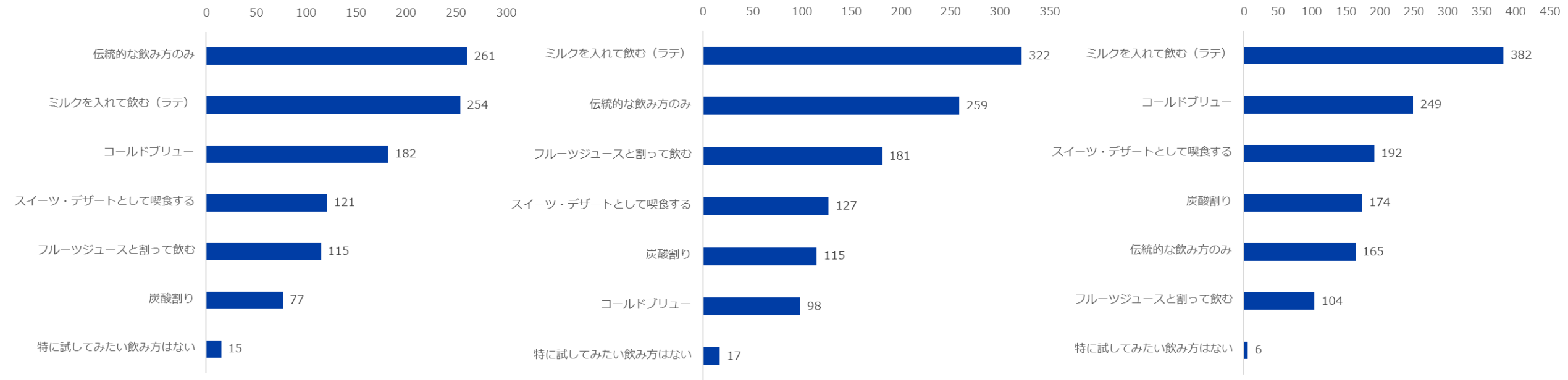
13 試してみたい日本茶の飲み方

- アレンジ需要は3か国共通で高く、特にタイ・ベトナムでは「ミルクを入れて飲む（ラテ）」が最多となり、現地化・甘味系アレンジへの関心が強い。甘味・乳製品・冷飲との親和性が高く、ローカル嗜好に寄せたレシピ提案・業務用展開が有望か。シンガポールは「伝統的な飲み方」志向が比較的高く品質・製法訴求も効果的。但し、成熟市場として本格志向とアレンジ志向が併存している。

シンガポール

タイ

ベトナム



日本茶の飲み方として、今後試してみたいと思うものをお選びください。（複数回答可）

V. サマリ

統合サマリー

1. 「飲み方・利用シーン」を起点とした商品設計が重要

本調査結果から、ASEAN主要国において日本茶は、単なる嗜好飲料としてではなく、ラテやコールドブリュー、スイーツ等へのアレンジを前提とした利用素材として受容される傾向が強いことが確認された。このため、茶種そのものの訴求に加え、具体的な飲み方・使い方を提示する商品設計・販促が有効と考えられる。

2. 国別の市場特性を踏まえた展開方法の明確化

国別に見ると、消費者の志向には明確な差異がみられた。シンガポールでは、伝統的な飲み方志向とアレンジ志向が併存しており、品質・製法訴求とカフェ等を想定したアレンジ提案の両立が求められる。一方、タイおよびベトナムでは、ミルクや甘味との親和性が高く、現地嗜好を踏まえたアレンジ提案や業務用展開が有効と示唆される。

3. 世代差を前提とした価値訴求・商品形態の切り分け

年代別分析からは、若年層ほどアレンジ性や即飲性を重視する傾向が強く、中高年層では伝統的な飲用、香り、品質といった要素への評価が高いことが確認された。同一国・同一茶種であっても、世代別に訴求軸や商品形態を切り分ける戦略設計が重要と考えられる。

統合サマリー【国別】

- 3か国ともに日本茶への好意度は極めて高く（購入意向8～9割）、市場としてのポテンシャルは十分にある。しかし、「どの種類の茶を」「どのような場面で」「どうやって飲むか」というスタイルは3か国で完全に異なっている。「ASEAN一括」の画一的な商品展開ではなく、各国の「飲用文化」に合わせたローカライズが成功の鍵となる。

シンガポール

「バランス型の堅実派」

抹茶と煎茶の人气が拮抗しており、「リラックス」目的で週数回楽しむスタイル。

- 志向：**簡便な「ティーバッグ」を好み、アレンジよりも「伝統的な飲み方（ストレート）」を好む層が比較的多いのが特徴。
- 市場：**既に成熟しており、抹茶・煎茶それぞれの固定ファンがついている安定した市場である。
- 年代による違い：**若年層ほど抹茶やラテ・RTDなどアレンジ志向が強く、カフェ利用や体験中心の飲用が目立つ。一方、中高年層では煎茶や香ばしさへの嗜好が高く、リラックス用途・スーパー購入・ティーバッグといった日常飲用が中心となっている。

タイ

「抹茶&コンビニ・アレンジ派」

圧倒的な「抹茶」人気市場。若年層・女性が中心で、おしゃれな飲み物として消費されている。

- 志向：**「粉末（パウダー）」や「RTD（ボトル）」を「コンビニ」で買うスタイルが定着し、ラテやフルーツジュースとのミックスなどのアレンジを好む。
- 市場：**「味」や「香り」といった分かりやすい特徴を重視し、手軽さとトレンド性が鍵となる市場である。
- 年代別特徴：**若年～中堅層（25～44歳）は抹茶中心で飲用・購買ともに活発、ラテなどアレンジ需要も高い。一方、最若年層は飲用頻度・購買定着が相対的に低く、中高年層では煎茶比率や健康・リラックス志向が高まる。年代によって飲用目的と価値訴求軸が異なる市場構造となっている。

ベトナム

「煎茶好きのヘビーユーザー」

日本茶＝「煎茶」の認識が強く、朝食時も含めて「ほぼ毎日」飲む習慣が根付いている。

- 志向：**「香ばしさ」を好み、ティーバッグだけでなくリーフ（茶葉）への関心も一定数ある。
- 市場：**購買意欲が最も高く、スーパーや専門店で積極的に購入する熱量の高い市場である。
- 年代別特徴：**若年層では抹茶やラテなどアレンジ志向が強い。一方、45歳以上では煎茶・玉露など伝統系茶種やリーフ形態への支持が高く、本格志向が顕著である。世代間で「利便性」対「伝統・本格」の嗜好分化が明確にみられる。

統合サマリー【茶種別：抹茶、煎茶】

抹茶（Matcha）

抹茶は3か国共通で認知度・関心が最も高く、特に若年層を中心にアレンジ用途での需要が顕著である。日本茶市場への入口商品・体験商品としての役割が大きく、カフェ・外食・業務用との親和性が高い茶種と位置づけられる。

主な有望用途

ミルクを用いたラテ、アレンジ飲料、スイーツ、デザート用途、RTD（即飲）商品

タイ・ベトナム：ラテ需要が特に高く、甘味・乳製品との組み合わせが主流

シンガポール：アレンジ需要はあるものの、伝統的飲用志向も相対的に高く、用途が二極化

煎茶（Sencha）

煎茶は中高年層を中心に飲用頻度が高く、「毎日飲む日本茶」としてのポテンシャルが確認される。アレンジよりも、飲みやすさ、品質、香りといった本格・日常性訴求が有効と考えられる。

主な有望用途

日常的なホット飲用、ティーバッグによる家庭内消費、食事と合わせた提供

ベトナム：飲用頻度が高く、日常飲料としての定着度が最も高い

シンガポール：中高年層を中心に安定需要が見られる

タイ：抹茶優位の中で相対的に存在感は限定的。中高年層では支持がみられる

統合サマリー【茶種別：ほうじ茶、玄米茶】

ほうじ茶 (Hojicha)

ほうじ茶は抹茶や煎茶と比べて全体の飲用比率は高くないものの、25～44歳の女性を中心に支持。「香ばしさ」「苦味・渋味の少なさ」といった評価軸と親和性が高いため、大量消費型ではなく、明確な利用シーンや味を伝えることが重要となる。18～30代を中心とする若年層では、ほうじ茶の認知度・飲用経験はいずれも相対的に低く、抹茶に比べ、積極的に選択される茶種とはなっていない一方で、中高年層において相対的に選好されやすい茶種であることが確認される。また、日本茶専門カフェでは、抹茶ドリンクに次いでほうじ茶ドリンクがメニューの一定割合を占めており、日本茶ファンの間では人気上昇している茶種と言える。

主な有望用途

リラックス用途（夜間・休憩時） カフェインを控えたい層向け 香ばしさを生かしたラテ・デザート

シンガポール：香ばしさ・香りへの評価が比較的高く、日常飲用のティーバッグが主体。

タイ・ベトナム：認知は限定的。粉末・RTDなど即飲・アレンジ形態との相性が良い。

玄米茶 (Genmaicha)

玄米茶は認知度は限定的であるものの、25～44歳の女性を中心に支持。「香ばしさ」「飲みやすさ」「食事との相性」といった点で評価軸との適合性が高い。製法の独自性や日本食文化と結びつけたストーリー性のある差別化展開が有効と考えられる。

主な有望用途

食事中・食後の飲用、和食・日本食レストランでの提供

シンガポール：日本食浸透度が高く、食事対応茶としての導入余地が比較的大きい

タイ・ベトナム：認知度は低いが、香ばしさ・食事適性を軸に段階的導入が考えられる

2.店頭調査

店頭調査概要

本調査の目的は、オンラインアンケート調査により把握した日本茶（抹茶以外を含む）の認知度、嗜好、飲用意向等の定量的結果を補完・深化するため、アンケート調査対象3か国のうちタイにおける店頭調査を実施し、実際の販売現場および消費行動の実態を把握することである。

■ 分析範囲

- ・カフェ／日本茶専門店等における抹茶以外の日本茶の取扱有無および構成比
- ・茶種別の販売価格帯およびメニュー展開
- ・人気メニューおよび季節限定・新商品の位置づけ

■ 調査方法

現地訪問による店頭視察・ヒアリング

■ 対象国

タイ

■ 調査規模

カフェ・スーパー・コンビニ：15店舗

免責事項：

本レポートは、日本貿易振興機構（JETRO）浜松事務所が取りまとめたものです。本レポートは主として2026年2月時点の情報を基に作成しています。本レポートにて提供される情報等については、正確性、完全性、目的適合性、最新性を保証するものではありませんので、当該情報等の採否は、お客様自身の判断、責任において行ってください。本レポートでの提供情報等に関連して、お客様が不利益等を被る事態が生じたとしても、JETROはお客様に対し一切の責任を負わないものとします。

バンコクでの店頭調査（プレミアムカフェ①）

Peace 和 Oriental Teahouse（Chit lom駅）

- 日本・中国・台湾・タイの高品質茶葉を扱う、バンコク発のコンテンポラリー・ティーハウス。
- 抹茶・煎茶・ほうじ茶・烏龍茶などを、モダンで落ち着いた空間で提供している。
- チットロム店はBTSチットロム直結の商業施設「Gaysorn Amarin」2階に立地し、都市型・富裕層／若年層の利用が多い。
- 抹茶以外にも、煎茶、ほうじ茶、玄米茶を使ったラテ・ストレートティーが豊富。茶筌や茶葉も販売している。
- 参考：煎茶の茶葉50g 285タイ・バーツ、抹茶ラテ 165タイ・バーツ（2026年2月時点）



日本産の茶筌が販売されている



店舗の右手にはBTS直通的通路



和菓子とのペアリングのメニューも多い。日本茶、中国茶から選べる



テイクアウト専用の窓口にはひっきりなしに客が来る

2 | バンコクでの店頭調査（プレミアムカフェ②）

Qraft（Ari駅）

- Peace 和 Oriental Teahouseの姉妹ブランド。
- 「お茶+ベーカリー/食事」寄りに進化させた派生ブランド。日本産の抹茶・ほうじ茶、日本の小麦やバターを使った焼き菓子が特徴であり高級路線。
- 参考：ほうじ茶クロワッサン 195タイ・パーツ、抹茶ドリンク（ミルク無し） 145タイ・パーツ（2026年2月時点）



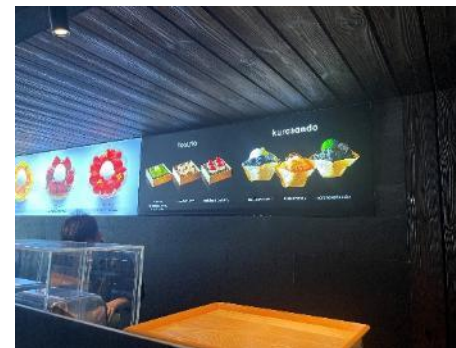
「手」と記載された看板



ほうじ茶クリームクロワッサン



お茶を使ったパン並ぶ



かき氷風アイスやトーストも



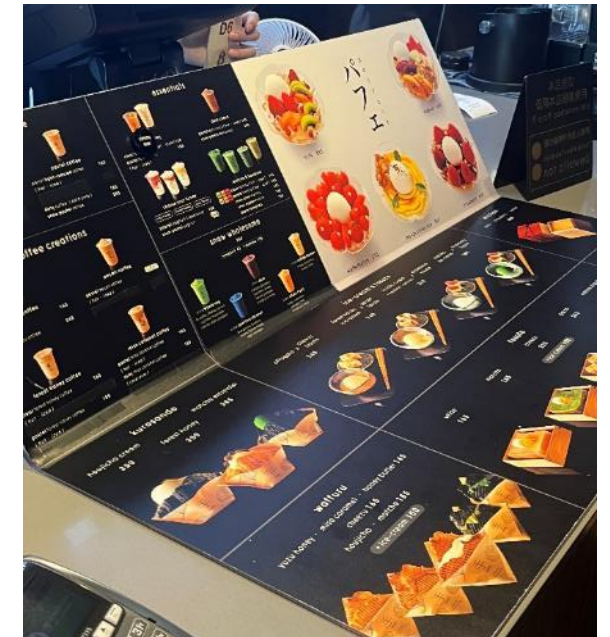
簡単に抹茶が作れるスティック



ほうじ茶、玄米茶、煎茶も販売



店頭茶器も並ぶ



客はローカルばかりだがメニューには日本語も記載されている。

3 | バンコクでの店頭調査（プレミアムカフェ③）

MTCH（Ari駅）

- Single origin/single cultivarの抹茶を扱うスペシャリティ抹茶バー
- 白基調のミニマル・モダンな内装。
- 抹茶の茶葉の種類を選べる。種類によって値段が異なる。抹茶とゆず・ライムなどのジュースをミックスした飲み物、抹茶・ほうじ茶のデザート、ラテ等がある。
- 茶筌や茶葉も販売している。
- ローカルその他、欧米からの観光客も集まっていた。
- 参考：煎茶茶葉50g285タイ・バーツ、抹茶ラテ 150タイ・バーツ（2026年2月時点）



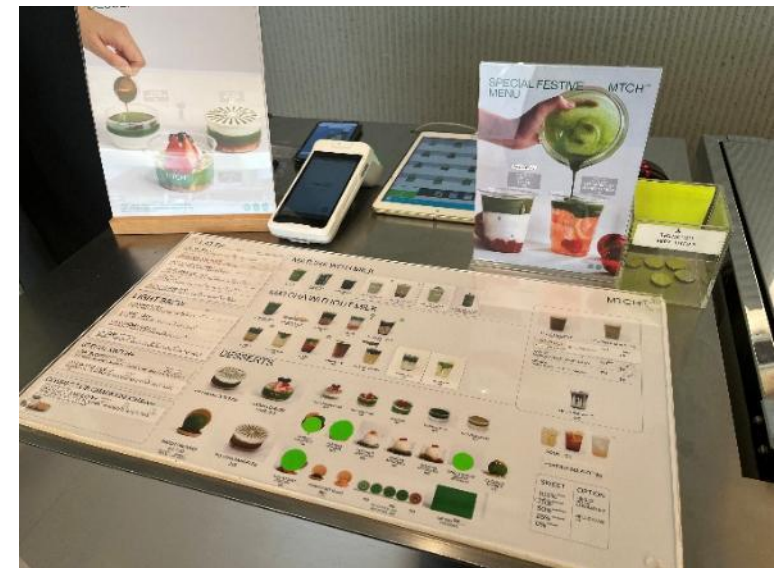
オーダーが入ると一つ一つ茶筌で抹茶をたてる



「奥みどり」「やぶきた」など茶種ごとに商品が並ぶ



ほうじ茶ラテは苦みが濃い

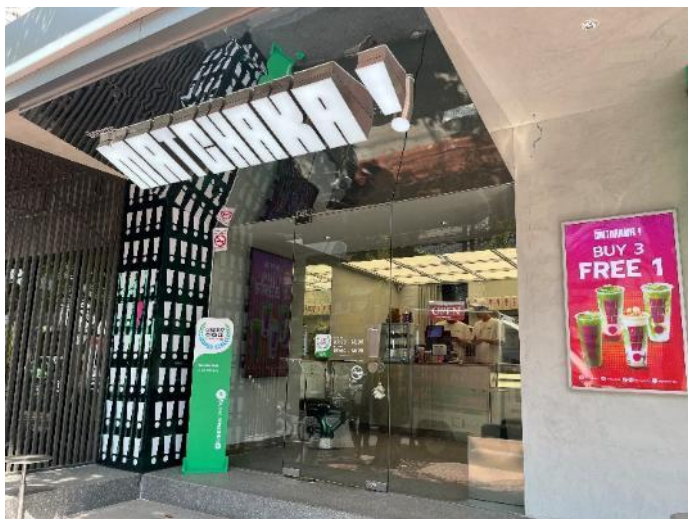


抹茶ドリンクは茶種ごとに値段が異なる

4 | バンコクでの店頭調査（抹茶カフェ 路面店編①）

MATCHAKA! (Ari駅)

- 2025年秋に開業。
- Matcha Caramel Miso（抹茶キャラメルみそ味のRTD）が一番人気。135タイ・バーツ。
- ほうじ茶メニューや抹茶×フルーツジュース、抹茶×ココナッツなど意外性とSNS映えを重視。
- 参考：抹茶ラテ115タイ・バーツ、抹茶ドリンク（ミルク無し）85タイ・バーツ（2026年2月時点）



半年前に開業したてのポップな店舗



味噌、チーズなど意外な組み合わせが多い



ほうじ茶、抹茶の茶葉も販売されている

5 | バンコクでの店頭調査（抹茶カフェ 路面店編②）

mini ミニ oriental speed bar (Ari駅)

- Peace 和 Oriental Teahouseの姉妹ブランド。コンセプトは「良い抹茶を、速く・安く・毎日に」
- BTS直結・商業施設中心に多店舗展開。午後に店舗を訪れたところ、ローカルのOLやデリバリーのドライバーが商品受け取りのため10人以上列をなしていた。
- 店舗には煎茶をはじめとした茶葉なども販売されている。
- 参考：抹茶ラテ 65タイ・バーツ（2026年2月時点）



大勢の方が並ぶ店舗内



ファストフード店のようなメニュー



独自のパッケージの茶葉も販売



ドライバーたちが店舗の外まで並ぶ

6 | バンコクでの店頭調査（抹茶カフェ モール編①）

TOKU Dessert (Siam駅)

- 抹茶中心のカフェ。ほうじ茶もすこしだけある。産地ごとに価格差がある。
- 抹茶やほうじ茶を使ったお菓子も豊富。
- 参考：抹茶ラテ 140~345タイ・バーツ（2026年2月時点）
※八女や宇治の抹茶だとかなり高級



雑貨や洋服のお店があるフロアの真ん中に休憩スペースとして設置された店舗



さえみどり、やぶきた、など茶種によって価格が異なる。

7 | バンコクでの店頭調査（抹茶カフェ モール編②）

MATCHA & More (Siam駅)

- 商業施設立地のカジュアル抹茶カフェ。抹茶を専門文化ではなく「一般的な飲み物の選択肢」として提供。ボリュームゾーン向けだが価格は高め。ビジュアルも高級感あり。
- 別店舗でワークショップも開催している。
- 参考：抹茶ラテ 150タイ・バーツ



抹茶の茶種が白字で記載されている



カウンター越しに茶筌でお茶をたてるスタッフ



デザイン性の高いメニュー

8 | バンコクでの店頭調査（ローカルカフェ編）

- Ari駅周辺のタイのローカルカフェ。抹茶特化型ではないが、どのお店にも抹茶が置いてある。ほうじ茶や玄米茶はない。自宅用のティーバッグや粉末も販売されている。価格帯は抹茶ラテで大体60タイ・バーツ前後（2026年2月時点）

Café Amazon

タイ最大級のコーヒーチェーン。家で手軽に飲める商品がプロモーションされていた。
参考：抹茶ラテ 60タイ・バーツ



Black cat cafe

ローカルカフェ。八女や西尾の抹茶パウダーが販売されている。
参考：抹茶ラテ 60~80タイ・バーツ



Inthanin

タイの大手チェーンカフェ。抹茶ドリンクとアイスが販売されている。
参考：抹茶ラテ 80タイ・バーツ



PUNTHAI Coffee

町中のカフェスタンド。抹茶のキャンペーンを実施していた。
参考：抹茶ラテ 75タイ・バーツ



9 | バンコクでの店頭調査（BTS改札付近）

- バンコク市内の主要交通網であるBTS（モノレール）。改札を出た場所には多くのドリンク店舗が並ぶが、その中でも抹茶を販売している店舗が非常に多い。庶民にも広く根付いており、コーヒーと並ぶ選択肢になっていることがうかがえる。但し抹茶がメインで販売されており、ほうじ茶はごくわずか。

Sybele Café (Ari駅)

抹茶ラテ 85タイ・バーツ



FANE MATCHA (Ari駅)

抹茶ラテ 90~130タイ・バーツ

緑茶の産地が選べる。宇治、八女、鹿児島、静岡等。



10 | バンコクでの店頭調査（小売店）

Gourmet Market（Siam駅）

- 売場：高級スーパーの「TEA ZONE」では日本茶のプロモーションが実施されていた。大企業～中小企業の製品が並ぶ。
- 日本産抹茶が主役。価格帯：抹茶は890-1,300タイ・バーツが中心、上位は3,000-7,000タイ・バーツ（業務用）。
- 海外では抹茶＝プレミアム食材。日本産表示で1,000タイ・バーツ超が許容される市場。



7 eleven（Siam駅）

- 場所：高架下のセブンイレブン（マス向け）。
- 商品：緑茶・烏龍茶のRTD飲料が中心（ITOEN Thailand/Pokka等、「静岡」など産地が記載されているタイの大手メーカーの商品も販売されている）。
- 7割ほどは加糖。
- 価格：20-30タイ・バーツ/本（約400-500ml）日本で購入する価格と変わらない



レポートをご覧いただいたあと、 アンケートにご協力ください。

(所要時間：約1分)

<https://forms.office.com/r/cnS3GTnJrc>



レポートに関するお問い合わせ

日本貿易振興機構（ジェトロ）

浜松貿易情報センター



(053) 450-1021



HMM@jetro.go.jp



〒432-8036

静岡県浜松市中央区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館5階

■ 免責条項

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。
禁無断転載